

広島県薬剤師会誌



2013
No. 248
11
月号

隔月発行

第34回広島県薬剤師会学術大会に参加を

広島県薬剤師会では、第34回の学術大会を「**Toward the most reliable Profession!**」をテーマとし次の要領にて開催いたします。お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますよう、お願ひ申し上げます。

会期：平成25年11月10日(日) 10:00～16:30

会場：広島国際大学呉キャンパス 6号館

〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1

主催：社団法人広島県薬剤師会

共催：広島国際大学薬学部

参加費：予約2,000円 当日3,000円 学生（社会人を除く）は無料
(予約登録の締め切りは11月1日(金)です)

県薬事務局でも受け付けております。

会員発表

特別講演

講演I

ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）と電子お薬手帳

公益社団法人日本薬剤師会理事

社団法人広島県薬剤師会専務理事

豊見雅文先生

講演II

地域における薬剤師、保険薬局、地区薬剤師会の新たな役割

- プライマリ・ケア医の期待 -

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会理事

一般社団法人東久留米市医師会副会長

石橋幸滋先生

機器展示

問い合わせ先：〒730-8601 広島市中区富士見町11-42 広島県薬剤師会館

社団法人広島県薬剤師会 第34回広島県薬剤師会学術大会実行委員会

TEL：082-246-4317（代） FAX：082-249-4589

E-mail：kinoshita@hiroyaku.or.jp

※なお、日本薬剤師会研修センター研修認定薬剤師制度・実施要領により、当大会参加者に4単位の受講シールを申請中です。

広島県 薬剤師会誌目次

No.248

第34回広島県薬剤師会学術大会に参加を	2
第30回広島県薬事衛生大会開催のご案内	5
平成25年度ヒロシマ薬剤師研修会	6
広島県緩和ケア支援センター平成25年度地域在宅緩和ケア推進協議会第1回会議	7
認定実務実習指導薬剤師養成講習会	8
がん検診サポート薬剤師養成研修会	9
平成25年度第1回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会	10
第1回ひろしま医療関連産業クラスター推進会議	14
平成25年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	15
中国・四国薬剤師会会长会	16
第2回広島県治験等活性化検討会	17
第40回認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ中国・四国 in 広島	18
平成25年度在宅医療推進医等リーダー育成研修	18
第3回都道府県会長協議会（会長会）	19
平成25年度全国薬剤師研修協議会実務担当者会議	21
第46回日本薬剤師会学術大会	23
禁煙アドバイザー研修会	26
広島県薬剤師会介護保険研修会（第2回）	29
高度管理医療機器継続研修会	30
中四国ブロック血液センターの見学および勉強会	31
薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修会（第1回）及び一般用医薬品担当者全国会議	32
平成25年度緩和ケア薬剤師研修	34
平成25年度第1回ひろしま食育・健康づくり実行委員会	35
第41回認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ中国・四国 in 岡山	44
福利厚生 Wポイントカード加盟店・指定店一覧	45
広島県立美術館「団体割引会員について」	49
県薬だより 県薬より支部長への発簡 常務理事会議事要旨 県薬日誌 行事予定 会員異動	50
会員紹介 ^⑧ ／行政だより	64
支部だより／諸団体だより	67
研修だより	74
薬事情報センターのページ	88
お薬相談電話事例集 No.85	91
安全性情報 No.304・No.305	92
検査センターだより	93
薬剤師の休日／薬局紹介 ^⑩	94
書籍等の紹介／告知板	96
保険薬局ニュース	色紙
薬剤師連盟のページ	色紙

表紙写真 カワミドリ（藿香）（シソ科）

藿香は中国の広東、雲南に栽培されるパチョリとされるが日本～東アジアに広く分布するカワミドリも藿香として利用されます。主成分は香りの強い精油で香水や浴剤に使われますが抗菌作用があることから鎮痛や解熱に使われてきました。その他、健胃整腸や暑気あたりに利用されてきました。

写真解説：吉本悟先生（安芸支部）
撮影場所：呉市

第34回 広島県薬剤師会学術大会に参加を

広島県薬剤師会では、第34回の学術大会を「Toward the most reliable Profession！」をテーマとし次の要領にて開催いたします。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

会期：平成25年11月10日（日）10:00～
 会場：広島国際大学呉キャンパス 6号館
 〒737-0112 広島県呉市広古新開5-1-1
 主催：社団法人広島県薬剤師会
 共催：広島国際大学薬学部
 参加費：予約2,000円 当日3,000円
 学生（社会人を除く）は無料

※予約登録の締め切りは11月1日（金）です。

県薬事務局でも受け付けております。

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度
 実施要領により、当大会参加者に4単位の受
 講シール申請中です。



プログラム

（敬称略）

受付開始	9:30	司会	常務理事	松村智子
開会の辞	10:00		副会長	木平健治
薬剤師綱領唱和			会長	前田泰則
挨拶		広島国際大学薬学部長		宇根瑞穂
口頭発表	10:15～（発表10分+質疑2分）			
		座長	副会長	野村祐仁
1. 安佐地区での薬局実務実習への取り組み	～現状と課題～			
		安佐支部		青野拓郎
2. 参加型薬局実務実習を意識した、在宅業務・地域連携の試み				
		安佐支部		岡敦子
3. 薬学生から薬剤師への歩み	～半年間～			
		広島支部		春田優

4. 安芸薬剤師会における災害時対策への取組み

安芸支部 長坂晃治

座長 副会長 木平健治

5. オキシコドン塩酸塩徐放錠からフェンタニル貼付剤へオピオイド

ローテーションする際の切り替え換算量に影響を与える要因の検討

広島国際大学薬学部 芳野直矢

6. 質疑応答データベース「薬剤師ノート」の登録およびアクセス状況の分析

広島佐伯支部 荒川隆之

7. 医薬品の安全使用のための業務手順書に対応した薬剤の温度・湿度管理

—温度・湿度データを自動定期メールで取得・記録する—

広島支部 池田博昭

8. 薬事情報センターの利用状況の変化と今後のあり方について

広島県薬剤師会情報センター 原田修江

9. 検査センター業務報告 ~レジオネラ検査~

広島県薬剤師会検査センター 有助美奈子

アイデアプレゼンテーション 12:06~ (発表5分)

1. 市販ソフトと携帯端末を利用した外来がん化学療法施行患者との
情報共有システムの開発

広島国際大学薬学部 古賀順子

2. 広島の若手薬剤師の歴史とこれから

広島県青年薬剤師会 辻哲也

3. 電子製本化システムを利用した、知っピンノートの新しい出版・販売方法

広島県青年薬剤師会 平本敦大

昼 食

ポスター発表 12:30~13:50 (立会時間13:00~13:30)

1. 広島国際大学における6年制実務実習 一开始から3年を経て—

広島国際大学薬学部 三宅勝志

2. 薬学生実務実習の受け入れについて ~現状と課題~

呉支部 濱崎匡史

3. 薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した薬局実習を終えて

広島大学薬学部 石田慶士

4. 薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した病院実習を終えて

広島大学薬学部 田坂るみ

5. より良い実習環境を目指して ～実習生の意見に耳を傾けた取り組み～

広島支部 竹本貴明

6. 平成25年度第Ⅰ期薬局実務実習成果報告

—特別養護老人ホームへの訪問を体験して—

安田女子大学薬学部 池田麻耶

7. 6年制実務実習について ～福山支部での取り組み～

福山支部 井上真

8. 平成25年度福山大学薬学部病院・薬局実務実習

～広島県東部の薬局実習報告～

1) アルツハイマー型認知症の患者さんの服薬指導を通して学んだこと

福山大学薬学部 馬場香織

2) 小児科領域における調剤と服薬指導で工夫していること

福山大学薬学部 杉浦利宗

3) 服薬指導を通して学んだこと

福山大学薬学部 川崎理香子

特別講演 14:00～16:30

講演Ⅰ 14:00～14:50

座長 副会長 村上信行

ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）と電子お薬手帳

公益社団法人日本薬剤師会理事

社団法人広島県薬剤師会専務理事

豊見雅文先生

講演Ⅱ 15:00～16:30

座長 会長 前田泰則

地域における薬剤師、保険薬局、地区薬剤師会の新たな役割

—プライマリ・ケア医の期待—

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会理事

一般社団法人東久留米市医師会副会長

石橋幸滋先生

閉会 16:30

副会長 渡邊英晶

第30回 広島県薬事衛生大会開催のご案内

1 大会の主旨

県民の生命と健康の保持に密接にかかわっている薬事関係者が一堂に会し、薬事衛生大会を開催し、県民の健康増進と薬事衛生の向上に貢献した薬事功労者等の表彰を行うとともに、互いの研鑽に努め、薬事衛生思想の普及を図り、もって県民の保健衛生の向上、並びに医薬品関連産業の振興に寄与するものである。

2 日時 平成25年11月28日（木） 14:00～16:30

3 場所 広島市中区富士見町11-6 エソール広島 2階多目的ホール

4 主催 第30回広島県薬事衛生大会実行委員会

5 共催 社団法人広島県薬剤師会 社団法人広島県医薬品登録販売者協会 広島県医薬品卸協同組合 広島県麻薬協会 広島県薬剤師国民健康保険組合 一般社団法人広島県配置医薬品連合会 広島県製薬協会 広島県医薬品配置協議会

6 後援 広島県 広島県市長会 広島県町村会 社団法人広島県医師会 一般社団法人広島県歯科医師会 公益社団法人広島県看護協会

7 参加予定人員 約200名

8 参加者範囲 県内薬事関係団体構成員等



大 会 次 第

＜第1部＞

開 会 14:00

挨 拶 広島県薬事衛生大会大会長

広島県知事表彰

各大臣表彰受賞者披露

祝 辞 広島県知事
広島県議会議長
広島県市長会会长
広島県医師会会长

来賓紹介
祝電披露
謝 辞
大会宣言
閉 会

＜第2部＞

特別講演 15:00～16:30

演 題 『医療に関する悪質クレーム
への対処法』

講 師 弁護士法人広島メープル法律事務所
弁護士 中 井 克 洋 先生

薬 祖 神 大 祭

日 時：平成25年11月28日（木）
午後5時～

場 所：広島県薬剤師会館 4階

会 費：1,000円

平成25年度 ヒロシマ薬剤師研修会



広島大学薬学部 病態解析治療学 松尾 裕彰

日 時：平成25年6月30日（日）

場 所：広島大学広仁会館

薬剤師と薬学部学生合わせて34名が参加しました。

はじめに、九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学教授の西村英紀先生に、「歯周病を取り巻く最近のトピックスと糖尿病の新たな薬の発見にまつわる話」という題目で講演して頂きました。これまで糖尿病患者は歯周病を合併している割合が高いことが指摘されていましたが、最近になって歯周病が糖尿病を悪化させることがアリゾナ州で生活しているピマインディアンを対象とした研究から明らかにされたそうです。つまり、ピマインディアンは元来糖尿病を発症しやすい体質を持っていますが、歯周病を発症したグループは、歯周病を発症していないグループに比べHbA1cが有意に高いことが示されました。重度の歯周病になると歯周ポケットが拡大し、手のひらサイズの表面積にまで広がったポケットから、プロフィロモナス・ジンジバーリスなどのグラム陰性偏性嫌気性菌が体内に侵入し、全身の弱い炎症を引き起します。この炎症がインスリン抵抗性を上昇させ、糖尿病を悪化させます。このように、歯周病は口腔のみならず全身に影響を与える疾患であることを分かりやすく説明して頂きました。歯肉炎から歯周病に進み、歯周ポケットが深くなると元に戻せなくなることから、歯磨きによる歯周病の予防が重要であることが良く理解できました。また、西村先生が米国コロンビア大学に留学されていた時に、隣の研究室でアメリカドクトカゲからインスリン分泌作用を持つグルカゴン様ペプチド（GLP-1）が発見されたそうです。この発見がきっかけとなりエキセナチド（バ

イエッタ[®]）やDPP-4阻害薬の開発に繋がりました。この話を聞いて、現代においても自然は薬の宝庫であると改めて感じました。

2つ目の講演は、広島大学薬学部長杉山政則先生に、「乳酸菌の保健機能研究と未病改善への挑戦」という題目で、最近話題の植物乳酸菌の機能性について話をして頂きました。プロバイオティックスとしてビフィズス菌を利用したヨーグルトや医薬品が使用されていますが、ビフィズス菌などの動物由来の乳酸菌は腸内に到達するまでに死んでしまいます。一方、植物の葉や果実から分離される植物乳酸菌は、胃酸などの影響を受けにくく生きたまま腸内に届くため、様々な生理活性を発揮することができるそうです。杉山先生は、乳に酒粕を添加することによってこれまで植物乳酸菌では作ることができなかった固形ヨーグルトの製造に成功しました。さらに、植物乳酸菌がピロリ菌感染、高血圧、肥満、肝機能を改善する作用を有することを明らかにされています。また、機能性食品の有効性をヒトで確認するために、臨床評価・予防医学プロジェクト研究センターを大学内に立ち上げ、エビデンスを有した機能性食品の創製を進めているとのことで、効果が明らかな保健機能性食品のみが市場に残っていくと思われます。

今回の歯周病と保健機能食品に関する2つの講演が、聴講された先生方の今後の患者さんへの生活指導や健康指導にお役に立つことを願っています。

広島県緩和ケア支援センター

平成25年度 地域在宅緩和ケア推進協議会第1回会議



常務理事 青野 拓郎

日 時：平成25年8月12日（月）19:00～20:30

場 所：県立広島病院 新東棟 2階総合研修室

- (1) 第2次広島県がん対策推進計画
- (2) 緩和ケア推進体制整備事業について
- (3) 在宅緩和ケア推進事業について
 - 《報告》・東広島地区医師会
 - ・厚生連廣島総合病院
- (4) 今後のスケジュールについて

本家委員長の開会挨拶の後、委員の自己紹介で会議が始まりました。

- (1) 第2次広島県がん対策推進計画

竹田委員（広島県健康福祉局がん対策課課長）より今年度策定した5ヵ年計画について説明がありました。
- (2) 緩和ケア推進体制整備事業について

同じく竹田委員より在宅緩和ケアの充実については、緩和ケア支援センターを中心に人材育成、仕組みづくりや啓発に取り組んできたが、今後ますます質的量的な充実を図るため、「医療・介護・福祉の顔の見える関係づくり」を計画の中に位置

づけ、この事業をたちあげることになったと説明がありました。

- (3) 在宅緩和ケア推進事業について

東広島地区医師会において、厚生労働省モデル事業として取り組まれた在宅医療連携拠点事業の内容が報告されました。次に広島西医療圏のがん診療連携拠点病院である厚生連廣島総合病院の緩和ケアの現状について報告があり、その後、在宅緩和ケアの推進について下記の点について協議しました。

- ・在宅緩和ケアコーディネーター配置
- ・在宅緩和ケアネットワーク会議
- ・資源マップ共通モデル

- (4) 今後のスケジュール

今年度のモデル事業については、東広島地区医師会と廣島総合病院への委託事務手続き等を進めることになりました。また3月上旬に第2回会議を予定し、実績報告と次年度の対象地域の選定等を予定することとなりました。

薬学実践

薬剤師国家試験問題 (平成25年3月2日・3日実施)

問330 保険薬局における内服薬の薬袋の記載に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。

- 1 処方医の氏名を記載しなかった。
- 2 処方せん発行日を記載しなかった。
- 3 薬剤の使用期限を記載しなかった。
- 4 調剤した薬局の所在地を記載しなかった。
- 5 調剤日を記載しなかった。

正答は 97 ページ

認定実務実習指導薬剤師養成講習会



広島支部 井上 映子

日 時：平成25年8月25日（日）10:00～16:30
場 所：広島県薬剤師会館

私が、本講習を受け始めたのは2007年、ついにワークショップの受講も控え、ア：学生の指導について、オ：参加型実務実習の実施方法についての講習を修了いたしました。

開始当時に比べ、業界でワークショップやグループワークの機会が増え、ディスカッションする研修スタイルを経験することができます。現場の私達以上に、学生は問題解決スキルの向上、ディベート力を向上させる教育を受けているようなので、一から教える必要はなく、実地でいかに参加型実習を完結できるかが重要と感じました。まず、GIO（一般目標）を言語化し、目標を明確にすることを学びます。教育とはどういうことが目標か？熱い思いを指導者として学生に伝えるには？学生がやる気になるにはどうしたらよいか？信頼関係が重要である、という所は、後のWSで随所に取り上げられますが、ネタバレはできないので割愛させていただきます。SBOs（到達目標）はたくさんの項目に目が回りそうな気がしますが、1日で行う必要はなく、日常的に繰り返し行い、技能・態度を習得できれば良いとのことです。

次にスケジュール作成と評価方法について学びます。チーム医療において必要なスキルを習得するためのGIO、LS（方略）を明確にし、SBOs（108項目）を実習に盛り込むスケジュール作成を行い、テキストを利用し、1～10までの内容を2.5ヶ月に振り分け、評価についてはネット、手書きを問わずレポートを閲覧し、コメントを記載する。指導者評価を行うには、なるべく統一した様式のネットシステムの利用が効率的であろうと示され

ました。

オ）参加型実習の実施方法について（法律学の見地から）

薬剤師でない学生が実習を行う際の違法性、正当性についての解説を弁護士より聴講します。現場では調剤過誤が起らないような体制作り、大学では学生の資質をOSCE、CBTでチェックすることが調剤を体験していただくための手段の相当性を患者の同意が必要なため、現場においては掲示物、同意書へのサインが望ましいが、緊急時、患者の同意書もなく、医療現場で薬学生の調剤を行わなければならない場面では実習の相当性を示す必要があります。医療における薬学教育で実務実習を行うメリットがあり、実習を行う目的を明確化しておくことで、民事、刑事法上実習における調剤が違法でないとすることができるとのことです。

余談ですが、後のWSで大変難しいお題をいただき、頭を抱えながらプロダクト作成の作業を行いましたが、薬局・病院の垣根を越えた楽しいグループワークができるることは大変有意義でした。ア、オの講習を基に、私たちが体験、実習し身に付けるにはとても時間が足りないのですが、教育者の熱い気持ちは伝わり、自分の考えを意見として出し、人の意見を聞き取り入れ、まとめる一この繰り返しが大事なのだろうと思いました。

がん検診サポート薬剤師養成研修会

(広島会場) 日時: 平成25年8月29日 (木) 19:00 ~ 場所: 広島県薬剤師会館

(呉会場) 日時: 平成25年9月12日 (木) 19:00 ~ 場所: 呉市薬剤師会館

(福山会場) 日時: 平成25年10月3日 (木) 19:00 ~ 場所: 県民文化センターふくやま



—広島会場—

理事 奥本 啓

以前から、がんサポート薬剤師ってどんなことをするのだろう？自分の支部でもまだ受講者は少なく、是非、研修会に参加しておかなくては・・と思ってはいたのですが、機会に恵まれず今回ようやくの参加となりました。

野村副会長司会のもと、5名の講師の方から「広島県内のがん対策の現状」「がん検診受診率向上に向けた対策」「広島市からの情報提供」「肝炎ウィルス検査受検の推奨」「がん検診・治療に対し知っておくべき知識」などのお話を伺いました。

そもそもは平成22年に、地域に必要な医師を確保し、安心できる医療サービスの体制を充実させ、総合的ながん対策日本一の県を目指す『ひろしま未来チャレンジビジョン』を策定した流れから、現状で35%前後のがん検診受診率を50%以上まで引き上げることを目標とした『広島県がん対策推進計画』(平成25年予定)をきっかけに、薬剤師としても、もっと一般の方に「がん検診」というものを身近に認識してもらうようアプローチをかけ、さらにどこで検診ができる、どんな検査をするのか？どのくらいの費用がかかるのか？などといった細かい情報を提供することで、最適ながん医療が受けれるよう、広島県とともに

に事業として取り組むというものでした。

講演では、乳がん・肺がん・肝がん・胃がん・大腸がんの5つを中心に解説が行われました。発症の順位は、女性で乳がん・大腸がん・胃がんの順、男性では胃がん・肺がん・大腸がんの順で多く、肺癌・肝癌は明らかに男性が多いといった性差がある。がんでの死亡率は働き盛りの50～60代が圧倒的に多い。胃がんと乳がんは早期発見・早期治療で生存率を限りなく100%近くに抑えられる。子宮がん・乳がんの受診率は上がっている一方、胃がんの検診は低下傾向にあるなど、いろいろなことを学びました。

死亡リスクを減らすには、とにかく早期発見・早期治療が不可欠で、がん検診が最も有効な手段となります。薬局業務の中で、患者さんへのがん検診の認知度を上げ、受診のための案内役がしっかりとできれば、がんの発症・進行のリスクが抑えられ、その結果、患者さんのQOLの向上にも貢献でき、薬剤師の職能の『見える化』にもつながっていくのでは？と思いました。

またキャンペーンでの広島県がん検診啓発特使『デーモン閣下』の起用は、「がん検診」の認知度や検診への関心にかなりの成果を上げてくれているらしいので、これに負けないようしっかりとPRしていくこうと思います。

平成25年度 第1回 中国・四国ブロック エイズ治療拠点病院等連絡協議会



常務理事 重森 友幸

日 時：平成25年8月30日（金）14:00～17:00
場 所：広島ガーデンパレス

広島県健康福祉局笠松局長のご挨拶に続いて連絡協議会が始まりました。

プログラムは報告2題、症例検討会2題そして特別講演1題

報告1 「中国・四国ブロックエイズ対策の実施状況について」

○広島大学病院エイズ医療対策室長藤井輝久氏からの報告

中四国HIV／AIDS患者数は、全国比率で3.6%と増加傾向（2013年5月末）

広島県	174／81	香川県	42／32
山口県	51／16	徳島県	24／17
岡山県	91／61	愛媛県	63／46
鳥取県	12／9	高知県	28／17
島根県	16／4		

近年の保健所におけるHIV検査件数は減少している。このことがAIDS発症前に確認ができないことの一因になっている。

次に、広島大学病院の患者感染経路別累計では同性／両性間の男性比率が最も多くなっており、1985年から2013年7月までの255名中159名（62%）となっている。

今年の研究計画

1. 研修会の実施

HIV／AIDSに対する医療関係者の理解を深めて早期発見に努め、早期治療のため、また、介護の受け入れをお願いするため実施

- ・医師向け
- ・歯科医師向け

- ・看護師向け
- ・薬剤師向け
- ・心理・福祉職向け
- ・四国地方医療者向け
- ・その他会議、研修会

研修会では次の理由によりエイズ拠点病院以外も対象とした。

- 1) 新規患者の発見が、非拠点病院及びクリニックからの紹介が多いこと
- 2) 慢性療養保有病院等での長期入院が必要となり受入れをお願いする必要。
- 3) 患者の高齢化で、人工透析、在宅施設、訪問看護が必要となりそれらを担当する施設に対する理解が必要。
- 4) 家族のみならず、地域施設（障害者施設）への理解が必要。

広島県臨床心理士会の報告

カウンセリング事業について

○広島大学病院エイズ医療対策室喜花伸子氏から平成24年度の事業報告があった。

1. ブロック派遣カウンセラー
 - ①広島大学病院への週2回派遣49回
2. ピア・カウンセラー（3名）
 - ①電話相談15例（28回）・訪問面接13例（17回）
 - ②事例別内訳 全28例中血液製剤経由と性感染経由半々
3. カウンセリング研修会への派遣
 - ①HIV／AIDS専門カウンセラー研修会2回
 - ②包括的HIVカウンセリング研修会
4. MLによる情報提供

平成25年度事業計画も24年度同様な事業が計画されていることが報告された。

中国・四国ブロックのエイズ対策の実施状況について

○広島大学大学院医歯薬保健学研究院歯周病態学研究室准教授柴秀樹氏

HIV感染症の慢性化による歯科治療内容の変化について述べられた。

ART（多剤併用療法）導入前は不治の病としてとらえられ、歯科治療は口腔カンジダ症・カボジ肉腫・HIV関連歯周疾患（壊死性潰瘍性歯周病など）

ART導入後は慢性疾患としてとらえられ、一般歯科治療、口腔衛生管理（うしょく、歯周疾患予防）が行われるようになった。多くのHIV感染者はライフスタイルに合わせた地域の歯科医院の受診を希望するようになってきた。

広島県の場合は、すでにネットワークが構築されており、広島県歯科医師会の事務局に問合せることで、地域の歯科医院の紹介が可能。また歯科医師会から県内の拠点病院へ紹介方法についての通知が送られている。広島県歯科医師会の会員・準会員のためのHIV感染症に関する講習会の実施し、ライフスタイルに合わせて、かつ安心して歯科診療を受けることのできる体制の確保を行っている。ことの報告がありました。

報告2 「地域におけるHIV診療および福祉連携のあり方について」

○愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター

長高田清式氏

地方の拠点病院と診察協力病院間のHIV診療の充実及び福祉連携について、見直しをするために、アンケート調査が行われた。

回答は：拠点病院18／19（95%）、診療協力病院4／6（67%）

1) 実際に外来に疑わしい患者の来院時の対応は

積極的にHIV抗体を検査するが、双方でほとんどであった。

2) 検査の結果HIV抗体陽性の場合は自院でARTを含め治療を行うは、拠点病院で35%、診療協力病院では0%紹介をするは拠点病院で64.7%、診療協力病院では100%（いずれも愛媛大学附属病院または未定）

3) HIV感染者に対応するスタッフの（医師、看護師、薬剤師、MSW、臨床心理士など）整備について

ほぼすべてのスタッフありが、拠点病院で22%、診療協力病院では0% MSW、臨床心理士などの不足が、拠点病院で72%、診療協力病院では100%

4) 院内感染マニュアルやHIV診療マニュアルなどのHIV感染の位置づけ

治療薬について十分な記載があるが拠点病院で22%、診療協力病院では0%針刺し事故についてのみの記載があるのが拠点病院で72%、診療協力病院では100%

又、高齢者のエイズ難済例が多く、将来を考えると福祉連携など県全体で患者のサポートシステムを組むのが喫緊の課題であることが述べられた。

HIV診療・福祉連携のあり方に関して、平成24年度計画されその実行内容が述べられた。

症例検討会

症例1 「ABC／3TC + DRVrtv + MVCによるcART後に副腎不全が顕在化したAIDS例」について

○川崎医科大学血液内科学教授和田秀穂氏より報告がありました。

同性間性的接触のある男性例について、CMV感染による副腎炎などによる副腎不全を併発していた可能性が見られた症例について、尿中ステロイドプロファイル・血中ステロイド分画測定で副腎不全の原因精査を行った症例の報告がありまし

た。

- 文献的考察として以下のことが示されました。
- ・AIDS患者の剖検時には50%以上の症例にCMV副腎炎が認められる。
 - ・AIDS患者にみられる副腎不全には、以下の原因があげられる。
 - ③CMV副腎炎
 - ④他の日和見感染による副腎炎
 - ⑤HIVによる副腎障害
 - ⑥抗HIV薬による副腎障害

症例2 「Kaposi肉腫と多中心型Castleman病を併発した外国人AIDS例」について

○鳥取県立中央病院血液内科・総合診療科副医長 橋本由徳氏

検診で胸部異常影を指摘されて他病院受診後全身の表在リンパ節腫脹もあり紹介された症例で、組織検査によってKSおよびMCDと診断

MCD、リンパ性間質性肺炎にはステロイド治療で病変の改善

AIDSもART療法でHIV-RNA定量値の改善

本症例の報告例は少ないが注意する必要があることが報告された。

特別講演 「エイズ医療体制の整備について」

九州医療センター AIDS／HIV総合治療センター部長 山本政弘氏

HIV感染症の疫学 副題「増え続けるHIV感染」

わが国におけるHIV感染報告（平成25年度速報）HIV感染者16,144人、AIDS患者6,266人で感染はそれぞれ同性間（男）50%、異性間（男）36%であり、凝固因子製剤によるものは10%以下となっている。

次に九州におけるHIV感染者／AIDS患者累計報告でも増加しており、地方の都市を中心に広がっている。新規に感染が診断された患者の中で薬物の乱用（注射）によるものが出てきた。また、新規感染者判明契機として、ネット、留置場、イ

ベント、その他（献血、免疫低下など）、保健所、STDで発見、AIDS発症して発見

福岡県保健所受検者数と感染者患者報告数の推移では2008年をピークに保健所での血液検査が減少している。それにあわせて感染者及び発症者の増加となっている。その要因として新型インフルエンザ騒ぎにより、保健所での検査相談事業が低調になったこと、一方医療現場での関心の薄れそれに伴い急性期症状の見落とし、結果として発症前に検査で見つかる例の減少となったことが推測される。

AIDSによる死亡者数は1995年頃より劇的に減少しており、長期延命が望めるようになり、慢性のウイルス感染症となった時代、しかし長期薬剤服用に伴う副作用・合併症の問題となった。人生設計の再構築を考える時代にもなったといえる。

長期服用に伴う副作用・長期療養に伴う合併症

抗HIV治療を行っていく上での問題点

- 1) 医療費・・・年間約250万円
- 2) 副作用
- 3) 服用の煩雑さ
- 4) アドヒアランスの低下
- 5) 薬剤耐性
- 6) 薬剤の副作用
- 7) 半永久的に（60年以上）飲み続けなければならない

合併症として、ARTだけでなくHIV感染そのものによる慢性炎症により動脈硬化などのエイジングの進行が進む。また腎臓合併症（慢性腎臓病＝CKD）の有病率が高くなり人工透析患者の増加が問題となる。

これから的问题 老齢化と長期療養

25歳でHIV診断時の平均余命

1996年以前（ART以前）	余命約7年
現 在	余命約40年
健康な人	余命約50年

予後の改善、長期療養に伴い起こってくる問題

- 1) 長期服用に伴う副作用
- 2) 老齢化に伴う介護の必要性
- 3) 独居者が多く、家庭内に介護者がいない
- 4) 代謝内分泌系の障害・心血管系の障害
- 5) 維持透析やリハビリの必要性
- 6) 悪性腫瘍合併の増加
- 7) ホスピスなど緩和ケアの必要性

以上の諸問題に対応するために、二次医療機関、施設の開拓（HIV医療の裾野を広げる）ことが必要

療養・介護環境の問題

問題の起きている理由として

- ①「直ちに死に至らない病気」であり一生付き合っていく慢性疾患である
 - ②合併症や後遺症を持ちながら療養生活する人が増加した
 - ③中高年の感染者が増加 40歳以上60% 50歳以上17%
 - ④感染者の多くが男性 87% 未婚であったり家族支援体制のない人が多い
- 現在、入院の必要な介護が必要な人が急性期の病院で過ごしているHIV感染者の療養環境は

障害者福祉または介護との連携が少なく、本来受けられるはずの制度、及び福祉サービスが受けられない。受け入れ側に正しい知識を知る機会がないなど受け入れ態勢の整備ができていないこと。

全国8ブロック拠点病院のHIV医療体制整備班を中心に歯科診療体制整備班、HIV医療包括ケア整備班、HIV医療のあり方検討班、HIV診療における全身管理のための研究班の連携で医療の均一化をはかりHIV医療体制に対する提言と問題点の解決を行う。

一般病院、二次病院、施設、在宅介護、診療所等への研修会をすることにより、安心して患者が療養できる環境づくりが必要である。その為には行政の支援が重要なことが述べられた。

今回で5～6回目の当連絡協議会への参加である。残念ながら先進国の中で日本はいまだにAIDS患者が増加している現状である。HIV検査を早期にすることの重要性について、我々薬剤師は協力できるのではないだろうか。また、HIV感染者で生活習慣病などの合併症も多いことから、来局されることはあると思われる。HIV検査を初めHIVに関する知識はすべての薬剤師が知っておく必要があると思います。

平成25年度 中四国ブロック

HIV研修会・会議スケジュールおよびエイズに関する問い合わせ先

広島大学病院 エイズ医療対策室

電話・ファックス 082-257-5351

中四国エイズセンターホームページ <http://www.aids-chushi.or.jp/>

第1回 ひろしま医療関連産業クラスター推進会議



会長 前田 泰則

日 時：平成25年9月3日（火）15:00～17:00
場 所：県庁・北館

初めに、湯崎広島県知事の開会挨拶があり、各委員の紹介、議事へと進みました。ひろしま医療関連産業クラスター推進会議は、ひろしま産業新成長ビジョン（平成23年7月策定）に基づき、10年先の本県産業の進むべき方向性や道筋を示す基本方針として取り上げられました。

「強固な経済基盤の確立」と「安心できる医療・福祉サービスの提供」を基本理念としています。

2011年～2013年（基盤造り）2014年～2017年（成長段階）2018年～2020年（拡大段階）10年を3期のステージに分け計画的に推進することとしています。

現状（平成22年）の生産額90億円、企業数30社を、2020年には1,000億円（100社）に目標を定め、国内外企業の誘致（500億円）及び県内企業のビジネス拡大（500億円）を目指します。

壮大な計画を実行するために第1ステップとして、産業界からJMS、モルテン、三菱重工、北川鉄工所、トヨーエイテック、ツーセル。医療福祉関係から県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、

県社会福祉協議会、広島大学、広島国際大学、広島県立大学。支援機関として医工連携推進機構、広島銀行、ひろしま産業振興機構。広島県からは、県健康福祉局、県病院事業局、県商工労働局等々の委員が出席して議論を展開してきました。

目標が目標なので漠然とした議論になりがちですが、日本全国で既に事業展開のお手伝いをされている医工連携推進機構の笠井専務理事が司会進行役になり、会議を進められました。

全員に一言ずつ発言を求められましたが、筆頭に県薬剤師会に話題提供として振って来られましたので、広島県の自然を生かして薬草原料の人工栽培、遺伝子操作可能な栽培事業展開を提案しました。

後発医薬品の安全性チェック。広島駅周辺の再開発と道州制・医療のプロフィット（利潤・利益）を目的に企業として発展させる等々のご意見がありました。総論的な話題で今後は、県行政の計画を具体化させることに期待したいと思います。

薬学実践

薬剤師国家試験問題（平成25年3月2日・3日実施）

問343 35歳男性。一般用医薬品を求めて来局した。胸やけを訴えたので、商品A（ファモチジン製剤、第一類医薬品）又は商品B（制酸を目的とする製剤、第二類医薬品）を使用するのが良いと判断した。この時の対応として、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 登録販売者が、書面を用いて情報提供し商品Aを販売した。
- 2 薬剤師が、口頭で情報提供し商品Aを販売した。
- 3 薬剤師が、書面を用いて情報提供し商品Bを販売した。
- 4 登録販売者が、口頭で情報提供し商品Bを販売した。

正答は 97 ページ

平成25年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会



日薬理事 豊見 雅文

日 時：平成25年9月5日（木）・6日（金）
場 所：あわぎんホール（徳島市）

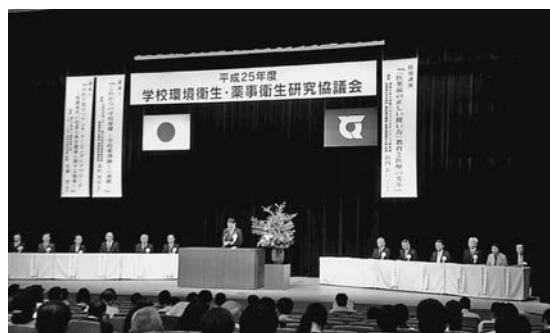
全体会で文部科学省北垣邦彦健康教育調査官は、学校薬剤師に期待する活動として、中学校や高校での薬物乱用防止教室の講師、医薬品に関する授業のサポーターなど、保健教育への参画を推進するよう求められた。近年の調査で小学校の薬物乱用防止教室では、学校薬剤師が外部講師の半数以上を占めるようになっているが、中学校や高校では警察官が講師を務める割合が高くなっている。中学校、高校での薬物乱用防止教室における学校薬剤師の活躍を期待していると述べられた。医薬品の正しい使い方に関する授業に関して「学校薬剤師は、資材の提供、指導案への助言を行うサポーターとして活躍していただきたい。チームティーチングを行うことも可能だが、全学級に同じ授業を行うなど、手間と時間を使うことになるので、現実論としては厳しいだろう。」との事である。

「学校保健の推進には、学校薬剤師の果たすべき役割は大きい。今後は顔の見える学校薬剤師を目指していただきたい。学校保健委員会に参画することが最初の第一歩。学校環境衛生検査等をベースとして、健康に関する指導への参画など幅を広げ、薬剤師が健康に関する専門家として学校・地域に頼られる存在となることを期待している。」と締めくくられた。

国立大学法人鹿屋体育大学佐藤豊教授は「学校で役立つアンチ・ドーピングのアプローチ」と題する講演で、興味深い問い合わせをされた。Q1. あなたの親が大金を出して入試の問題を手に入れたら。あなたはそれを見るか？ Q2. 選手が卒業する前の最後の試合。怪我で痛みが強く試合がで

きない。検査にはかからない禁止された痛み止めがある。選手に使わせるか。

アンチドーピング教育では薬物乱用防止・保健教育との関連からも考える事が可能であるが、ドーピングはフェアプレイの精神に反し、スポーツの文化的価値を失わせ、自らが愛するスポーツに「つばをはく」行為になってしまふことを取り上げる必要がある。将来、その試合を誇りを持って話すことができるよう行動する事を教えるべきであると話された。



翌日は「喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育部会」に指導・助言者として参加し、愛媛県宇和島市上田千秋学校薬剤師の研究発表を担当した。学校薬剤師会と学校保健会養護部会との交流によって、学校薬剤師の活動が理解され、活動の場が広がった事例が紹介された。しかしその近隣地区では教育委員会の無理解により、8校の学校に一人の学校薬剤師が任命され、現実にはほとんど学校訪問ができない地域があることも紹介された。学校薬剤師活動は、学校と学校薬剤師の個々の関係で実行されるものではあるが、学校薬剤師の組織としての活動が大きくその成果に係わる物であることが証明された発表であった。

中国・四国薬剤師会会长会

会長 前田 泰則

日 時：平成25年9月7日（土）15:00～

場 所：高知県・三翠園

残暑厳しき中、広島から新幹線で岡山駅、岡山から土讃線の特急南風5号に乗り換えて土佐の高知に降りたたのは午後12時28分。南国土佐はまだまだ暑くその暑さに負けないように地元の市場の中にある鰐専門店で「鰐たたき定食」をいただきました。

中四国会長会は中四国9県の持ち回りで開催されてきました。特に藤井基之先生（岡山）の国政選挙応援のために発足した経緯もあり、必要に応じて開催され薬剤師に係る時事問題、それぞれの県薬剤師会や日薬・日薬連との関連問題等を議論の遡上に乗せてきました。

此のたびは、最近頻に問題提起されています「分業バッシング」「医薬品のインターネット販売」「大手調剤薬局チェーンのM&A」等の課題について議論しました。

最近の医薬分業バッシング・調剤報酬バッシングに対する日薬の現状認識と対応について集中的に議論しましたが、それぞれの問題・課題に基本的な共通項があるのではないか？

日本薬剤師会・日本薬剤師連盟にしか出来ない事と、都道府県薬剤師会でも間に合う課題と分けて考えないと議論のための議論になって堂々巡りのまま終息すると思いその課題・問題の基本を分けて考えてみました。

例えば、A（保険調剤業務）とB（一般用医薬品販売業務）に分けて考えますと、Aは「分業バッシング、Bは「医薬品のインターネット販売」と考えられます。

薬局の商業別分類は小売業となっていますが、Aは保健医療業務に含まれ、Bは小売業に含まれ

ていてAは医療法、Bは商法とその範疇が異なります。日薬は「薬局」で一括りにしていますが法律的には業務面では明らかに区別されるべき事案であろうと考えます。

「調剤を実施する薬局は医療提供施設」と定義されて久しい訳ですが、実際の薬局は株式会社等の商業法人で運営されています。

「大手調剤薬局チェーンのM&A」は保険医療を主体とした経営基盤に商法でいう株式会社のM&Aを繰り返していますので、資本力の差がその会社の存亡に関わります。

薬局経営は商法で、調剤業務は医療法。最近の調剤バッシング、分業バッシングの根本はこの二足のわらじを履いていることにより経営の基本理念に乖離があるからです。歴史的に考えてみましても医薬分業に基本的に反対の立場を鮮明にしてきた日本医師会は、但し書き条項8ヶ条を医師法、歯科医師法に盛り込み医薬分業を骨抜き法案にしてしまいました。従って、調剤業務は薬剤師の専業ではありませんし法律に沿っていない国家資格は薬剤師だけです。商法では「営業権」は絶大な権限を有しています。医療法では医師の持つ権限は絶大なるものがあります。薬剤師法、薬事関連法に医薬分業を明記出来ない現行法は、それぞれの立場で矛盾を醸し出す要因になりバッシングを受けても正論が言えないのでは？という会長会の議論がありました。

第2回 広島県治験等活性化検討会



広島支部 開 浩一

日 時：平成25年9月9日（月）19:00～

場 所：県庁・本館

広島県健康福祉局医療・がん対策部長が挨拶をされました。

検討事項は（1）広島県治験等症例集積機能向上パイロット事業について（2）次年度事業について（3）その他の3項目でした。

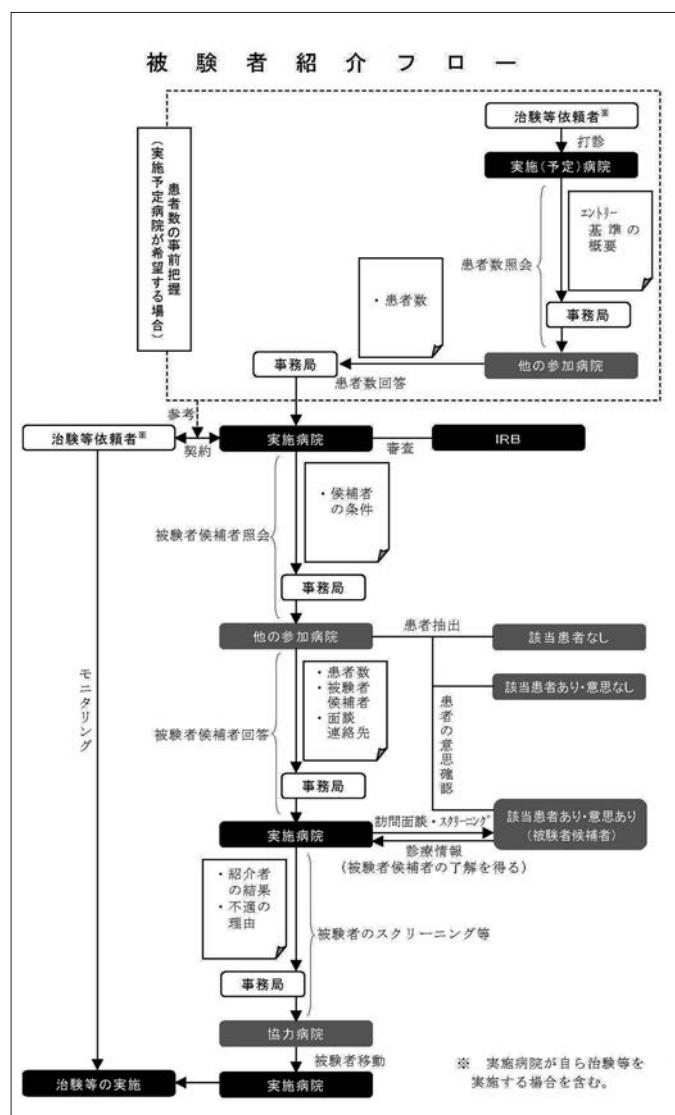
検討会の概要は、「広島県治験等症例集積機能向上パイロット事業について」と「次年度事業について」の審議がなされました。まず、前回の検討会をもとに修正された治験等症例集積機能向上パイロット事業（案）の提示がありました。協議の結果以下の3点が修正されました。

- ①パイロット事業の適用範囲について、「プラセボに係る治験は対象外とする」旨の記述の削除
 - ②実施病院が、協力病院へ直接訪問した際に、患者の同意を得る旨の記述の修正（⇒スクリーニングを実施する旨に変更）
 - ③被験者候補者回答書の被験者候補者の「氏名」ではなく、「年代・性別」で回答する。

次年度事業案は、共同IRBなど、準備が必要なものについて実現性を含め、来年度に検討していく事になりました。

その他として、本年度中にCRC導入研修会が企画されており、医師会、薬剤師会、看護協会、臨床検査技師会などの関係団体へ、機関誌等を利用して周知をお願いする予定となりました。

今後の予定として、協定締結式（広島県治験等症例集積機能向上パイロット事業の実施に関する協定）を行い、今年度パイロット事業実施に向けて動いていくこととなりました。



第40回 認定実務実習指導薬剤師養成のための ワークショップ中国・四国 in 広島



広島支部 若宮 香織

日 時：平成25年9月15日（日）・16日（月）
場 所：安田女子大学薬学部

今回のワークショップでは、ただ座って講義を聴くだけでは得られない貴重な経験ができ、有意義な2日間になりました。

全体のテーマは「カリキュラム・プランニング」で、参加者自身が実習のカリキュラム（目標・方略・評価）を作成することで、指導者としての取り組み方を学びました。おおまかな流れとしては、参加者全員で集まって課題についての説明を受け、10名ずつのグループに分かれてSGD（スマートグループディスカッション）をして意見をまとめて、全体セッションで発表し、他のグループからの質問や改善点の提案の意見を聞いてカリキュラムの改善を行って完成度を深めていきました。

メンバーは、病院薬剤師・薬局薬剤師・大学教員とそれぞれ立場や経験が異なるので、SGDを重ねていく中で、様々な意見を聞くことができました。カリキュラムを作成する中で、どうしたら実

習生に興味を持って取り組んでもらえるかを考えたり、実習の意図を伝える適切な表現を皆で練り上げる過程をとても興味深く感じました。積極的に意見を交わしてくださったグループのメンバーの皆さんに感謝したいと思います。また、それぞれのグループにはタスクフォースと呼ばれるチーフターがついてくださり、話し合いが煮詰まったり、議論の方向性がずれてしまった時に修正してくださって、より中身の濃い話し合いができたと思います。

まとめの講義では、「学習方法によって記憶に残る割合に差があり、体験することは75%、人に教えることは90%残る」という話を聞きましたが、それを実感できた2日間でした。今後は、今回の経験を生かして、実践の中で自分の指導力を高めていきたいと思います。

平成25年度 在宅医療推進医等リーダー育成研修



呉支部 大塚 茂雄

日 時：平成25年9月16日（月）13:00～16:00
場 所：広島国際会議場

開催された研修会は、在宅医療に関する地域の指導者（在宅医療推進医：コミュニケーションリーダー）を育成する為、多職種協働による在宅チーム医療について研修を趣旨としたものです。

医師、歯科医師、看護師、ケアマネジャー、理学療法士、社会福祉士、栄養士など、多くの職種

300名が集まり、34のグループに分かれて講義、グループワークを行いました。（講義15分×2、グループワーク50分×2、発表）

講義は広島県医師会東條環樹先生より、「多職種連携の推進」と題して、2040年には約49万人分の看取り場所が不足する推計より地域包括ケアシ

ステムを早期に地域毎につくり上げなければならぬ事、在宅現場を生活モデルとして考える上で、医療者、介護者の連携は必要、在宅ケアの多面性に対応するにはIPW (inter-professional work) それぞれの専門性が必要であり、医師が主体となって進めていく事で課題に取り組む事と話されました。

その後グループで、連携の問題点、各職種に対する意見を出し合いました。私のグループでは、カンファレンス開催、報告書類など連絡にタイムラグがある点、医師と連絡がとりにくい、電話しにくいなどで、介護職と医療職が互いに配慮する必要があるなど活発な意見がでましたが、薬剤師

に対しての意見がなく、他グループで「もっと薬剤師を活用してほしい」という意見の発表があつただけでした。顔の見える関係から、お互いの役割を理解できる関係に、まだまだアピール不足を感じました。介護制度にも複雑な点が多く利用者も分からぬ、知らされてない事が多いので、地域に知らせる窓口としても、薬局薬剤師として活動していく事が大切であると感じました。

今回、ケースワークも行いましたが、より実践に近いケースを多職種で話し合える事は、各職種について理解できるだけでなくより俯瞰的にみる視点が養われる所以地域での2回目、3回目の開催にも参加していきたいです。

第3回 都道府県会長協議会（会長会）

会長 前田 泰則

日 時：平成25年9月21日（土）13:00～16:45

場 所：大阪国際会議場グランキューブ大阪

新会長、明石文吾（静岡）村松章伊（愛知）赤澤昌樹（岡山）の紹介があり、早速のところ新会長の明石静岡県薬会長が座長に選出され議事の進行に入りました。

児玉会長の挨拶に始まり、会務報告、平成25年度日本薬剤師会賞等選考結果について、日薬を巡る最近の動きについて縷々報告されました。中医協に関する内容は、費用対効果評価専門部会として、「革新的な新規医療材料やその材料を用いる新規技術、革新的な医薬品の保険適用の評価に際し、費用対効果の観点を可能な範囲で導入する事について検討を行うこと」とされ平成24年4月から12回の議論を行ってきた。その方向性として、我が国の医療制度や医療現場の実情を踏まえつつ、質調整生存年（QALY）、生存年（LY）、臨床検査値、治癒率、重症度、発生率等を効果指標とする際の運用方法やそれらの組合せの在り方等

を今後検討する。医療技術の革新的な発展は、ノーベル賞を受賞されたiPS細胞の研究家、京大の山中教授等の医療技術の評価を医療保険の中でどのように位置づけるか今後の課題として厚労省も取り組まなければなりません。その時代に開局薬剤師の役割は？

薬局薬剤師による調剤行為について、日本薬剤師会から以下のような要望が法律改正に係る事項として論点整理されています。

- ◎「計数調剤」及び「計数変更」の定義。
- ◎在宅医療の必要性が高まる中、薬剤師法第22条に基づく厚生労働省令を見直し、一定の範囲内で、処方医への疑義紹介を行った上で、薬剤師が居宅において計数調剤（計数変更）を行うことを認められるることは考えられるのではないか。
- ◎その場合において、どのような範囲で認める事

とするか、居宅において計数調剤（計数変更）を行うことが必要となる具体的な状況等も踏まえ、検討するべきではないか。

また、実技指導を行うに当たっては当該行為自体を薬剤師が行うことが出来ることが前提となるが、現行の薬剤師養成課程において患者の身体に触ることは前提とされておらず、認める事とした場合、養成課程の見直しを合わせて行う必要があるのではないか。

という風にかなり突っ込んだ内容の議論がなされています。

昨今の分業バッシング、調剤バッシング等を考えてみましても、日薬、我々薬剤師を取り巻く環境が決して甘くない事は明明白白の事実ではあります、内閣府、規制改革会議が打ち出す様々な施策に対して、過去日薬は常に後手の対応を余儀なくされてきました。規制緩和がアベノミクスの三本の矢の三番目にあたる説ですが、新経済連盟からは10月4日、安倍総理大臣、田村厚労大臣、甘利経再担当大臣、稻田規制改革担当大臣、菅官房長官宛てにスイッチ直後品目等の扱いに関する意見が出されました。

①28品目について、合理的な理由なく、インターネット販売のみを販売不可にすることは、本年の1月の最高裁判決、日本再興戦略、内閣総理大臣の全面解禁のご発言、本年9月の規制改革会議の意見に反する。

②規制改革会議の意見が示すように、インターネット販売及び対面販売双方に安全性の確保の仕組みを設けたうえで、インターネット販売と対面販売に不合理な差を設けずに、販売経路に関わらず販売を可とするべきである。

といった意見書の内容になっています。この意見と併せてその理由には相当厳しい内容が盛り込まれています。

その1、厚労省主催の検討会で28品目の取り扱いが議論されているが、同検討会は本来品目ごとの特性と留意点を議論するはずにもかかわらずそ

のような議論はほとんど行われていない。インターネット販売のルールを議論する場でしっかりと議論されずに、インターネット販売禁止の方向になっており、議論のプロセス自体が不適切である。本年1月の最高裁判決の趣旨に鑑みれば、立法事実や合理的な理由がないまま規制を行うのは憲法違反である。もし、法律改正を強行し、行政訴訟の結果憲法違反が確定する事になれば、政府にとって致命的な事態になると考える。

理由その2、その3が列記されていますが、法律論で国側が門前払いをされた訳ですが、日薬はただ反対するのみで何らかの対応策があるのか？

以上のような動きは、安倍総理大臣が6月の全面解禁を120周年記念式典の前に表明された時からの懸念材料でありましたので会長会で念を押すつもりで私から質問しました。

相手側は対処手順が速く、理論武装してきている様に見受けられますが、最高裁まで争って敗北した後、法律論以外での対処方法が準備されているのですか？

全国会長会では、様々な対応をすると児玉会長は言われましたが、分業バッシング、調剤バッシング等の対応を含めて相当の覚悟で臨まなければただの言葉遊びで終わってしまいます。

ヨーロッパではすでに実施されていて、その国の薬剤師会が、ロゴマークを適切な薬局にのみ認証発行しインターネットでの医療用の医薬品の流通を認めています。

インターネットの利用は、条件をその国の薬剤師会が認証権を持っているのです。

平成25年度 全国薬剤師研修協議会実務担当者会議



常務理事 谷川 正之

日 時：平成25年9月22日（日）12:25～

場 所：大阪大学中之島センター

第46回日本薬剤師会学術大会が大阪で開催され、それに合わせて上記全国会議が開催され、参加した。当日は、開会式に参加し第3部建築家安藤忠雄先生の大会記念講演「人生100年一人を元気にする」を、途中で抜け徒歩で会場に向かった。会議は定刻に、浦山隆雄学術担当理事の司会で始まり、豊島聰代表理事、佐藤啓常務理事の紹介があり開会され、豊島代表理事（理事長）の挨拶と続いた。続いて、下記の議事に移った。

①研修認定薬剤師制度の現況について

●認定制度現状報告

資料を基に説明があり、広島県の現状は薬剤師数5,087人（平成22年12月31日現在の医療従事者数（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査結果」より））に対し、有功認定薬剤師数1,245名（24.5%）である。また、平成24年度の研修会件数は454件であり、参加予定者数35,340名であった。また、研修認定薬剤師新規認定証発行数の推移（資料1-2）では、薬学生6年制以降により平成23年度・24年度と減少しているが、24年度に新規申請者が4,572名であり内6年制卒業者が60名含まれていると報告された。また、認定証発行数の推移（資料1-3）では、平成6年度に発足した研修認定薬剤師制度で平成24年度に50名が更新6回目であると報告があった。

研修モニター報告数（資料2）では、平成24年度76件（広島県1件）であった。それ以外に、「薬剤師研修支援システム」個人情報登録者数（累計）、平成24年度集合研修、グループ研修、自己研修の受付状況、などの報告があった。

②薬剤師研修支援システム（PESS）の運用状況について

資料3・4を基に報告された。

③その他

●認定実務実習指導薬剤師制度について

認定実務実習指導薬剤師数（資料5）を基にした報告では、平成25年8月末で全国22,018名（病院7,102名・薬局14,916名）であり、その内広島県では595名（病院157名・薬局438名）であった。

●漢方薬・生薬認定薬剤師制度について

漢方薬・生薬認定薬剤師認定証発行数の推移・都道府県別実数（広島県44名：平成25年8月末現在）とのことであった。

●小児薬物療法認定薬剤師制度について

小児薬物療法認定薬剤師の都道府県別実数（広島県は病院4名・保険薬局2名の6名：平成25年8月末現在）とのことであった。

●その他

来年、日本薬剤師研修センター25周年記念事業として、更新6回目の人を表彰することなどを検討中である。

続いて質疑応答があり、下記のようなやりとりがあった。

Q) 各協議会（各県）から、事前に議題を挙げて協議をするようにして欲しい。

A) 来年度からは、そのように進めたい。

Q) PESSが使いづらい。

A) 違った形態を検討しているが、このような方法があると提案があれば、変更すること

も考えている。

Q) 各学会で専門薬剤師が認定されていることについて。

A) ジェネラル・ファーマシストの育成は、どこも研修をスタートして欲しい。そして、認定が乱発されるようになれば、薬学会・病薬などと実務者で協議し一本化に向け検討する。

Q) 認定実務実習指導薬剤師の更新について。

A) 更新については、現在検討中であり今年中には結論を出す。

などの質疑応答があり、最後に宮崎長一郎日本薬剤師会常務理事（長崎）より、JPALSは自己学習として、研修認定薬剤師は集合研修への参加と棲み分けし両立させたいなどの発言があり閉会

となった。

= 資料 =

1. 研修認定薬剤師数の都道府県別実数および割合／認定証発行数の推移
 2. 研修モニター報告数
 3. 「薬剤師研修支援システム」個人情報登録数
 4. 平成24年度集合研修、グループ研修・自己研修の受付状況
 5. 認定実務実習指導薬剤師数
 6. 漢方薬・生薬認定薬剤師の都道府県別実数／認定証発行数の推移
 7. 小児薬物療法認定薬剤師の都道府県別実数
- 日本薬剤師研修センター 要覧

TO-TSU-Navi 「患者様が本当に満足する疼痛管理」を
先生とともに考える 》 医療従事者向け会員サイト
詳しくはウェブサイトへ 》 <http://www.e-paincontrol.com/> 《新規会員募集中!》

登録
利用は
無料

疼痛ナビ 検索

日本標準商品分類番号 871141

アセトアミノフェン製剤
力口ナール®
解熱鎮痛剤
原末 / 細粒20%・50% / 錠200・300
日本薬局方 アセトアミノフェン
薬価基準収載

小児用解熱鎮痛剤
シロップ2% / 坐剤小児用50・坐剤100・200
薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等につきましては「製品添付文書」をご参照ください。

■ カロナール®の学術情報に関するお問い合わせ先: 0120-050-763 ■ その他に関するお問い合わせ先: 0120-369-873
(受付時間) 月~金曜日 9:00~17:30 (祝祭日・当社休日を除く)

製造販売元 (資料請求先)
Showa 昭和薬品化工株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-11
<http://www.showayakuhihinkako.co.jp>
2011年1月(AC)

第46回 日本薬剤師会学術大会

日 時：平成25年9月22日（日）・23日（月）

場 所：大阪国際会議場



報告 I

常務理事 吉田 亜賀子

「薬剤師の新たな使命～120年の歴史を踏まえて～」をテーマに開かれました。

日薬剤師会創立120周年の記念大会ということもあり、全国から多くの参加がありました。

会場は水都・大阪を感じることができる川沿いの3施設にありました。

日中の陽射しは猛暑の夏のごとくジリジリと厳しいものでしたが、時折川から吹く風に水都ならでの良さを実感しました。

児玉孝日本薬剤師会会长による大会開会挨拶で始まり、日本薬剤師会賞・日本薬剤師会功労賞の表彰式まで滞りなく行われました。



大会長挨拶（児玉孝日本薬剤師会会长）

特別記念講演では、建築家・安藤忠雄氏が「人生100年一人を元気にする」というテーマで講演されました。

安藤氏の斬新な建築物は有名ですが、安藤氏が日本を元気にされている活動を恥ずかしながら今

回初めて伺いました。講演の中で「自分の心に希望を育てる」というフレーズに心ときめきました。

ランチョンセミナーは、「古くて新しい薬剤メトホルミンを紐解く—新たな知見もふくめて—」に出席しました。

この中でSU剤の低血糖は3日間継続観察が必要、適度な運動（20～30分の筋肉運動）は血糖降下作用が認められる、との内容が印象的でした。

メトホルミンは夜間糖新生を抑えること、低血糖副作用を考慮した第1選択薬だとの話がありました。また有名な副作用“乳酸アシドーシス”的起こりやすい状態を知ることで、予め予測対応ができると感じました。

糖尿病患者さんは自覚症状のないという事を理解させることができが、私達薬剤師が患者さんに行う初めの指導だと感じました。

ランチョンセミナーでの満腹（？）を消化するため、ポスター発表会場へ移動しました。会場は川を挟んだ向かい側にありました。川沿いのため心地良い風が吹いていましたが、真夏を思わせる強い陽射し…バスという移動手段を選んだのはご理解いただけだと思います。示説時間ではありませんでしたが、多くの方で賑わっていました。

22日最後に 分科会15～リスクマネジメント能力を高めるために～へ参加しました。その前に行われた分科会14～ドーピング防止活動と公認スポーツファーマシスト～の基調講演がロンドンオリンピックの銅メダリスト伏広治さんだったこともあり、終了後の写真撮影で会場に人が溢れていきました。

分科会の基調講演・シンポジウムの演者に昨年の広島県学術大会で講演をしていただいた大津、

赤羽根先生もいらっしゃいました。この分科会に参加して医療における薬剤師の責任というものが明確化されてきたように感じました。今まででは、調剤過誤は投薬する薬が間違っている（数量間違いも含めて）でしたが、今後は薬物治療においても責任があると感じました。それは、私達薬剤師は投薬時の責任でなく、服用時を含む服薬期間にも責任があるということです。そのため薬歴がいかに重要か、自分の身を守る為書面が必要かということ、毎日（毎回）同じことでは信頼性が乏しい、連続性で信頼性が上がるということでした。この分科会で最も印象的な言葉は「責任のとれる喜び・薬物治療の責任者」というものです。非常に重いこの言葉を深く受け止めたいと思います。

23日は、分科会19～医療安全推進への医薬品情報の関わり、薬剤師会とあなたに何ができるか？～へ参加しました。ここでは医療安全には医療情報もかかわっていること、私達薬剤師の情報源がかたよっていることを聞きました。また、意外にも知らないことをそのまま放置している薬剤師もいるという事実でした。ヒヤリハット報告が増えない原因は、ミス報告を恥と感じ隠蔽していたり、この報告は普及啓発活動で医療安全を感じていないということでした。報告手続きが面倒なのにメリットいわゆるフィードバックがないのも原因だということでした。これらへの関心の低さ＝医療安全意識の低さと捉え今後の活動に積極的に参加したいものです。

薬剤師のリスクが変化していることは、社会における薬剤師の立場が変化してきていると感じました。私達薬剤師は医療人です。医療の中で責任がとれる立場になれることを喜びに日々の業務に励みたいと思います。



報告Ⅱ

常務理事 二川 勝

今回の会場は、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪、リーガロイヤルNCB、堂島リバーフォーラム。安芸薬の長坂、平賀、土井、各先生と広島を出発して9時過ぎに大阪国際会議場に到着しました。

大阪国際会議場では開会式から第1会場～第7会場、第13会場～第16会場、書籍展示、医薬機器展示。リーガロイヤルホテル大阪では第8会場～第12会場と懇親会場。リーガロイヤルNCBでは第17会場～第20会場。堂島リバーフォーラムではポスター会場と分かれて開催されました。



大阪国際会議場12階 特別会議室
(円形の会議室です)



大阪国際会議場12階 書籍展示

10時～の式典では12時10分まで、第1部：式典、第2部：表彰式、第3部：大会記念講演「人生100年一人を元気にする」建築家安藤忠雄氏がありました。私は大会記念講演を聞かないで、11時10分～スポンサードセミナー1の脳梗塞治療

における抗血栓療法について、演者：豊田一則国立循環器病研究センター脳血管内科部長。12時30分～13時30分までランチョンセミナー1の二酸化塩素ガスによる革新的感染対策、演者：柴田高大幸薬品株式会社代表取締役医学博士。この冬に役立ちそうなお話しでした。

13時45分～15時までは、分科会2、薬剤師の新たな使命 基調講演「薬剤師の将来ビジョン—すべては国民のために—」と題して、生出泉太郎日薬副会長。「これから的是非カルアセスメント」と題して、白川晶一神戸学院大学薬学部臨床薬学部門。「薬剤師に望むこと」と題して、増山ゆかり全国薬害被害者団体連絡協議会。薬剤師の新たな使命「病院医師の立場から薬剤師に期待すること」と題して、吉村千恵大阪赤十字病院呼吸器内科。この四題の発表の後、四氏に会場からディスカッションの時間がありました。サリドマイドの被害者の増山ゆかり氏からの薬剤師へのメッセージです。「患者のための医療と言われる現代であっても、患者にとっては病は理不尽で苦しいことには変わりないように思います。最終的には病気がよくなるという結果を得ることでしか、医療のありがたみを実感できないのではないでしょう。それでも多くの病に苦しむ人々の期待に応えるために、病気に立ち向かわなければならぬ厳しい世界に身を置く薬剤師という職務を負う人々は、不安でいっぱいの患者を支え切る力強さも身につけていって欲しいと思っています。」

16時～18時は分科会5で、大規模災害時に備えての薬剤師の活動として 講演「災害時に薬剤

師会に期待すること」と題して、茂松茂人一般社団法人大阪府医師会から、東日本大震災の医療救護活動を中心にして発表されました。講演「高知県の災害薬事コーディネータの活動」と題して、西森郷子高知県健康政策部医事薬務課から、南海トラフ巨大地震対策を東日本大震災からの課題を含めて発表されました。最後に、講演「災害時の業務継続計画（BCP）を考える」と題して、永田泰造日薬常務理事より発表されました。ここまでビデオ撮影してあります。朝11時～夕方6時まで立ちづめでギックリ腰に……。編集して県薬に残しておきます。会場はどこも薬剤師だらけで1万5,000人が集合したと聞いています。夕食は新阪急ホテルで安芸薬の細田、長坂、土井の各先生とフルコースの食事です。ビールがとても美味でした。来年は10月12日・13日と山形で開催されます。大学時代の友人が居ますので参加するつもりです。



分科会5（盛況で立見です）

禁煙アドバイザー研修会



薬剤師禁煙支援アドバイザー認定委員会 村上 信行

日 時：平成25年9月28日（土）14:30～

場 所：広島県薬剤師会館

平成23年10月に認定禁煙支援薬剤師制度を制定し平成24年3月に新制度による初めての認定会を開催し104名のアドバイザーと新たな「薬剤師禁煙支援マスター」12名を認定し、それぞれに認定シールと薬局内啓発グッズの「禁煙しませんか？」POPを配布いたしました。平成23年10月には「広島県禁煙支援ネットワーク」研修会において新制度の発表を行い、平成24年10月の研修会は広島県薬剤師会が当番団体として、薬剤師会館において開催し、宮城ファルマネット提唱の「ひと声運動」への参加結果報告を行った。しかしながら平成23年7月に医薬食品局から禁煙補助薬チャンピックスの副作用において「自動車等の危険を伴う機械操作の禁止」レベルの注意が発せられ成功率60%を超える補助剤の処方は皆無に近くなっている。今回は先般開催いたしました講習会2題と「25年度第1回アドバイザー認定」のご案内を加えた3題を寄稿いたします。

【薬剤師のための禁煙支援実践ガイドブックについて】

日本薬剤師会常務理事藤原英憲先生を講師にお招きし、日薬と国立がん対策情報センターたばこ政策研究部で25年5月に共同発行した標記ガイドブックについて講演いただきました。ただ、藤原先生は日薬において「ネット販売」「健康日本21（第2次）」に深くかかわられていて、ガイドブックの解説の前に「医療を取り巻く社会的環境の変化」「一般用医薬品販売制度と規制緩和」「医薬分業バッシング」「これからの健康増進施策と薬局の在り方（第2次健康日本21への参画）（薬局が担う健康支援の役割）（地域における健康支援拠



点としての薬局のありかた）」など薬局・薬剤師の置かれている対場と将来像に関して熱く語っていただきました。日薬が健康日本21（第2次）が目指すものの基本的な方針の中で「健康を支え、守るために社会環境の整備」に対して「身近で気軽に専門的な支援・相談が受けられる拠点」として薬局の活用を提案し「街角相談薬局」「健康介護まちかど相談薬局」等事業を「健康寿命の延伸」に向けてさらに発展させ、その一部事例として生活習慣病の予防観点からも「禁煙補助剤の活用により、相談・連携に留まらず、医薬品等の供給を通じて解決までを含めた健康支援を行うことができる」などを明示、提案している。保険調剤が主であり、一般用医薬品の取り扱いが少ない薬局においても、調剤する医薬品とタバコとの併用相互作用が考えられ、薬物療法を行なながら疾病にマイナス要因が喫煙にある場合も多く、禁煙支援などは薬局薬剤師の誰もができる健康支援であり、その活動だけ取り上げても十分に「健康支援拠点」となり得る。この度の「薬剤師のための禁煙支援実践ガイド」は従来から積極的に取り組んでこられた方々だけでなく、これから取り組まれる方にも大いに活用いただけるよう編集されている。表紙を含めて全48頁になりますが、是非とも

日薬ホームページからダウンロードしていただき、カウンターに置かれての活用をお薦めいたします。

目 次

禁煙支援における薬剤師の役割

- * 予防（防煙）教育
 - * 禁煙誘導（動機付け）
 - * 禁煙支援
 - * 多職種連携の中の薬剤師
- 禁煙支援のための基礎知識
- * 喫煙の健康被害
 - * 禁煙治療の基本を知る
- 禁煙支援実践
- * 禁煙誘導（動機付け）から禁煙方法の選択まで
 - * 禁煙補助剤と服薬指導
 - * 薬剤師による禁煙支援の実践例
(禁煙日記等参考ツール)

教育実施も推進する。前述の禁煙支援プログラム（インターネット禁煙マラソンの活用）は禁煙途上における意思脱落に対して、問い合わせられるだけでなく、日々禁煙経験者からのアドバイスが配信され、再喫煙衝動へのブレーキとなっている。基本的には有料サイト（約1万円）だが、このキャンペーンに沿っての申込みであれば「広島県」が500円程度の預かり金によっての参加を応募している。前項における薬局・薬剤師の健康支援であればこのようなキャンペーンの積極的紹介も十分にその機能は発揮できると思います。

キャンペーン応募方法

(モバイル版はこちら)



【禁煙宣言1万人キャンペーン】

広島県健康対策課が「たばこ対策」の具体的な取り組みの一つに「たばこをやめたい人への禁煙支援」を施策として、ブリクマン指数からニコチン依存症が疑われる人に対しては禁煙外来受診を勧奨、非受診者には禁煙支援プログラム（インターネット禁煙マラソンの活用）による支援を実施する禁煙支援フローを作っている。

健康診断、特定健診時に喫煙状況や禁煙の意思を把握し、妊婦などの禁煙インセンティブの高い状況においては、その配偶者も対象とした働きかけをおこなう。また職域を対象とした禁煙環境づくりを促進する等の施策が挙げられている。一方「新たな喫煙者を増やさない対策」も提示され、喫煙防止、禁煙教育を小・中・高「すべての学校で実施」計画としている。さらにたばこを吸い始める年代への働きかけとして大学、専門学校での健康診断等の場所を活用しての禁煙教育実施について働きかけ、県内企業の新卒採用者対象の禁煙

■お問い合わせ

〒730-8511 広島市中区基町10番52号
広島県 健康対策課 「禁煙宣言1万人」係
電話：082-513-3076 Fax：082-228-5256

【認定禁煙支援薬剤師】

制度実施後、要綱の周知が不十分であり、初回認定は随時行っていましたが、これまで申請がありました。したがって認定委員会も開催されない状態が続いていましたが、日薬での健康支援拠点施策や第二次の健康日本21での取り組みは必ず、県、市、町での施策に反映されます。県薬委員会としてもその対応として、この機会に集中認定委員会を開催いたします。別添の実施要綱にそってポイント計算をしていただき、「アドバイザー」か「マスター」の申請を行ってください。委員会開催を12月初旬といたしますので、11月末までに申請いただければ幸いです。

新認定禁煙支援薬剤師制度 実施要綱

1. 目的

喫煙による健康被害は喫煙者本人のみならず、副流煙や施設、設備に滞留しているたばこからの有害化学物質による非喫煙者への影響も示唆されている。広島県薬剤師会は薬剤師の、「公衆衛生の向上及び増進に寄与すべき責任」において、その有害性の啓発と依存症からの離脱支援のために、その「知識」の取得、「技能」の習得、「態度」の向上を目指して「禁煙支援薬剤師認定制度」を実施する。

2. 認定の種類

認定は「薬剤師禁煙支援アドバイザー」と「薬剤師禁煙支援マスター」の2種とする。

3. 認定及び認定更新

認定及び認定更新はポイント制とし、認定更新は3年毎とし最大4カ月の猶予を認める。

ア. 「薬剤師禁煙支援アドバイザー」

認定は広島県薬剤師会指定講習会終了後と定例認定委員会（概ね年3回開催）

認定	5ポイント以上
----	---------

認定更新	15ポイント以上（3年間）
------	---------------

イ. 「薬剤師禁煙支援マスター」

認定は定例認定委員会（概ね年3回開催）

認定	10ポイント以上
----	----------

認定更新	30ポイント以上（3年間）
------	---------------

4. ポイントの種類

【知識研修】

(指定研修)

ア. 広島県薬剤師会開催講習会（年1回）	5ポイント
----------------------	-------

イ. 広島県薬剤師会認定講習会	5ポイント
-----------------	-------

薬事衛生指導員研修会等での禁煙関連講習会など

(自己研修)

ウ. 禁煙支援関連講習会の受講証明書添付申請書	5ポイント
-------------------------	-------

【態度研修】

エ. 健康祭り等禁煙支援活動の参加レポート	10ポイント
-----------------------	--------

オ. 地域、学校における禁煙支援研修会等の企画、講師	30ポイント
----------------------------	--------

【技能研修】

カ. 薬局においての禁煙補助剤対応レポート	5ポイント
-----------------------	-------

禁煙に資する為、補充剤を持って対応した実例（販売、授受の有無は問わない）

キ. 薬局においての禁煙支援継続レポート	10ポイント
----------------------	--------

薬局、薬剤師による禁煙継続支援の経過（販売、処方の有無は問わない）

ク. 薬局においての禁煙支援課題レポート	20ポイント
----------------------	--------

禁煙支援の継続が困難となった事例（問題点、副作用、改善点など）

ケ. 学会等、6時間以上の禁煙関連研修会（参加証の写）	20ポイント
-----------------------------	--------

(優秀研修)

コ. 薬局においての禁煙支援成功レポート	30ポイント
----------------------	--------

6か月以上の禁煙成功例のレポート

5. レポートの活用

提出レポート、企画講演資料等は禁煙支援特別委員会において、広く活用できるように編集、公開、運用することを前提とする。

6. 認定期間

認定期間は年度単位（4月1日～3月31日）を一年とする。

（1）初回認定はその年度内に随時申請できる

（2）更新認定は初回認定の翌年度から2年度とし、2回目以降は3年毎とする。

7. その他

ア. 認定薬剤師は広島県薬剤師会ホームページの認定名簿に名前を掲載できる。

イ. 要望により、認定薬剤師の所属する薬局掲示用に「薬剤師禁煙支援アドバイザー」或いは「薬剤師禁煙支援マスター」のシールを交付する。合わせて啓発グッズとして「禁煙しませんか?」シールを供給する。シールは認定及び更新には無料配布とする。（破損、汚染時の要望には実費対応）

ウ. 認定薬剤師の所属する薬局は「健康生活応援店」として広島県のホームページに薬局名を掲載できる。

本制度は平成23年10月2日より実施する。

広島県薬剤師会介護保険研修会（第2回）



広島支部 岩本 義浩

日 時：平成25年9月29日（日）13:00～15:15

場 所：広島県薬剤師会館

7月21日の第1回に続き、第2回も150人を超える参加があり、在宅医療に対する意識の高さがうかがえました。

今回は、折口内科医院院長高橋浩一先生とマツダ病院退院支援室室長津田友美先生のお二人が講義されました。



最初の高橋先生のお話の中で、2025年に団塊の世代が後期高齢者となり、病人や死亡者が増えることが予想されます。年間の死亡者は現在より40万人増えて、看取る場所が病院だけでは対処できず、自宅の看取りも多くなり、在宅医療を整備する必要性があると言われてました。

その中で、在宅医療に役立つ他職種連携・情報共有ネットワークとして、医師、歯科医師、訪問看護師、ケアマネジャー、薬剤師等が、各自の立場からの患者情報をクラウド環境にアップして、パソコンやスマートフォンなどで簡単に情報共有が出来るシステムの在宅・施設医療ネットワーク広島を紹介されました。

次に、以前テレビで取材された時のビデオを上映され、往診は薬剤師である奥さんと2人で行っていることや、地域の人に知られたくない患者に配慮して、白衣を着ないとか車にクリニックの名前が書かれてないなどの注意点を解説されました。

最後に在宅医療で薬剤師に望むこととして、
 ①薬を届けて玄関に置いて帰るのではなく、薬の置き場所や残薬の有無、保管状況を確認したり、食べる・寝る・トイレ・風呂など生活の場の事も聞く。

②話はオープンクエスチョンで聞く。

→医師には言えないことも他の職種には相談されるケースもよくあるそうです。

③在宅というのは病室・治療の場ではなく、生活の場であると理解する。

→患者や家族に極力負担をかけないように、麻薬の継続皮下注射は内服か貼付に、インシュリン注射は可能な限り内服に切り替えることを提案して下さいと言われてました。

④薬剤師も在宅チームの一員。

→退院前カンファレンスには出来るだけ参加して、薬の管理や残薬チェック等、薬剤師の意義や必要性をアピールして定着させて下さいと言われました。

次に津田先生のお話の中で、病院側が薬剤師に期待することを話されました。

①薬を内服できているか？の確認。

出来ていない→その理由と改善方法の提示。

出来ている→食事・排泄・睡眠・運動・認知症様症状等、患者の生活に影響を与えてないかの確認。

②これらの情報を医師・看護師・ケアマネジャー等と共有する。

①は高橋先生の『在宅医療で望むこと』に、②は『在宅医療に役立つ他職種連携・情報共有ネットワーク』に似通ったところがあると思いました。

今後更に薬剤師が在宅医療に関わる機会が多くなると思います。その中で、患者を中心に同じ方向を向いて、各自の職種がどんなことが出来るかを理解し、相談できる『顔の見える』関係を作るために、他職種との合同勉強会に参加する等していきたいと思います。

高度管理医療機器継続研修会



東広島支部 島崎 瞳子

日 時：平成25年9月29日（日）10:00～12:00
場 所：エソール広島

医療機器販売業等の営業管理者、医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修会が行われました。毎年1回受講することが義務付けられており、毎年受講しています。



広島県健康福祉局薬務課
細川知穂技師による講義では、「薬事法について」「医療機器の分類」「製造販売業、製造業、販売業・賃貸業の関係」「修理業について」「高度管理医療機器等の販売業・賃貸業者」「最近の話題」について話されました。今まで何回も聞いていますが、忘れてしまっていることを再認識させられました。また、最近、医療機器にまつわる事故および事件であるマッサージ器の死亡事故や注射器の不正使用などがあったことから、適正な使用方法の説明や販売を行わないといけないという注意喚起がなされました。

さらに、もうすぐ薬事法の改正があるという報告もされました。

引き続き、広島県薬剤師会
大塚幸三副会長による講義では、医療機器を安全に使用してもらうために、適正な使用方法の説明および情報を見ること、管理記録簿の記入をきちんとすることが、管理者の役割だと話されました。



医療機器の不具合とか回収とかあった時に、迅速に対応するためにも、管理記録簿に医療機器の情報および利用者の情報をきちんと記載されていることが、必要であり、実践して欲しいと言われました。

情報収集の手段として、医薬品・医療機器の情報配信サービスであるPMDAメディナビを利用すれば、安全性情報のお知らせが早く届くので、活用して欲しいとのことでした。

今後、今回の研修会を活かして、業務に取り組んでいきたいと思います。



中四国ブロック血液センターの見学および勉強会

広島国際大学学生 木村 隼人

日 時：平成25年10月3日（木）

場 所：中四国ブロック血液センター

最初に中四国ブロック血液センターについての説明を伺いました。中四国ブロック血液センターは中四国地方特に中国地方の輸血用血液製剤を各部門にわかつて包括管理を行っている施設です。

供給部門では、365日24時間体制での各医療機関の依頼に対する血液製剤の供給、また医療機関に供給されるまでの血液製剤の保存を行っており、このように地方ごとに輸血用血液製剤の包括管理を行うことによって、輸血用血液製剤の過不足を抑えることができ、各施設に設備を設置するよりもコストを抑えることができています。

品質管理部門では、中四国地方9県で献血された血液を安全な輸血用血液製剤として医療機関に供給するための血液型検査、感染予防のための抗体抗原検査及びHLA検査等を行っています。このときにウイルスが検出または存在が疑われるときは京都に輸送され専用の検査が行われています。それだけでなく献血にこられた方への生化学検査・血球計数測定検査などの検査を行いお知らせしています。

製剤部門では中国地方5県で献血された血液の調製を行っています。四国地方4県で献血されたものは中四国ブロック血液センター香川製造所で調製されています。

現在の輸血医療は血液中の必要な成分である、赤血球・血漿・血小板だけを輸血する成分輸血が主流であるために、全血輸血による血液は各成分の比重の違いにより赤血球・血漿に分離を行われます。そして調整後に行う各検査に合格したもののみ、輸血用血液製剤として医療機関に届けられます。血液製剤において、白血球は核を有するために増殖能を持ち輸血後にGVHD（移植片対宿主病）の原因と

なるため細菌などとともに除去します。白血球の除去は近年放射線の照射によりかなり精度が高くなっています。GVHD発症をほぼ0に抑えることができているとのことです。また近年では輸血によるC型肝炎・HIVの発症はほぼ0件でB型肝炎に関しても基準が改定されたため、発症率を抑えることが出来ています。

その後、センター内の見学を行いました。センターでは一日



に約1,500～1,700もの献血された血液が搬入され臨床検査技師、薬剤師によって調整が行われていました。また今後は施設内に新たな機械を備え付ける予定になっているとのお話をでした。

最後に質問の時間が設けられていて多くの方がご質問されており、どの質問もとても勉強になりました。例えば、献血された血液は全てが血液製剤として使用できるのか？という質問がありました。回答としてはまず献血の問診などの段階で、2割くらいの方が落とされてしまい献血が出来ないそうです。

そして、献血されたもののうち約95%は血液製剤として使用できますが5%程度が製剤として使用できないそうです。使用できない原因としてウイルスが検出されたり、献血中に提供者の不調などで献血を中断してしまい血液製剤として容量不足になってしまふことなどが主な要因になるとのことでした。

今回の見学会を通じて、血液製剤・献血に関してとても勉強になり、関心が高まったように思います。

献血など自分にできることを積極的に行っていきたいと思います。

薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修会 (第1回) 及び一般用医薬品担当者全国会議

常務理事 吉田 亜賀子

日 時：平成25年10月6日（日）12:00～16:15

場 所：慶應義塾大学薬学部

厚生労働大臣官房審議官（医療担当）成田昌稔様、公益財団法人日本薬剤師研修センター豊島聰理事長の挨拶で始まりました。

「臨床判断と薬剤師～症候学とトリアージを学ぼう（腹痛編）～」が昭和大学薬学部木内教授の「薬局薬剤師の業務の変遷、第2ステージの医薬分業が始まった」とのワクワクする一言から始まりました。今までの医療は分担医療のため情報の共有化がなく、重複される項目（問診も含め）が多く医療の無駄もあった、また医師不足により医療が崩壊する恐れもある、そのため真のチーム医療を行うことが最も重要である。そのチームの中で私達薬剤師の出来る事は…①適切な処方箋調剤・服薬指導の実践、②来局者（地域住民）の健康相談、軽疾患の適切な対応、③在宅患者の病状の把握と変化時の適切な対応が挙げられました。

今回の研修ではプライマリーケアの窓口としてトリアージとセルフメディケーションの支援をワークショップ形式で学びました。

参加者の中から2名がモデルとして、症状を訴え来局されOTC購入される方への対応をされました。通常私達が窓口でするのとほぼ同じ対応と思えました。

ここで私が対応する時になんだかわからないが、すっきりしない理由がわかりました。それは症状より疾患を予測できていないということでした。私達薬剤師は疾患より症状を考えることがあっても、症状より疾患を予測することがないのではないか？ここから頭痛・腹痛・発熱・咳・下痢・めまいを示す疾患を挙げる作業に入りました。意外に出てこないものでした、日ご

ろと違う思考回路…（CMで見た $1 + \bigcirc = 3 \rightarrow \square + \triangle = 3$ と考える力が大切みたいな。）しかし、症状から疾患を予測することは大変重要なことです。なぜなら来局された方は「頭痛がする」とは言いますが「緊張性頭痛がする」とは言いませんから。

次に「あなたの薬局に胃薬を求める患者が来局しました。どのように対応しますか？」という内容で、「腹痛」を取り上げ進めました。

①腹痛を訴える疾患を20疾患挙げ、症状の特徴を整理する。

疾患を整理するために医療面接の標準的な手順があることを学びました。L Q Q T S F Aの順で症状を質問するということです。

L (Location) : 部位 どこが？

Q (Quality) : 性状 どのように？

Q (Quantity) : 程度 どのくらい？

T (Timing) : 時間と経過 いつ？いつから？

S (Setting) : 状況 どのような状況で？

F (Factor) : 寛解・増悪因子 どんな場合に悪く（良く）なる？

A (Associated manifestation)

: 障伴症状 同時にどんな症状があるか？

医師も上記の手順で問診をされているとのことでした。

L Q Q T S F Aなどの得られる情報を活用し疾患の鑑別を行いました。L Q Q T S F Aでの医療面接には時間がかかるのでは？と思われがちですが實際見ていると5分位で終わりました。訊く内容が頭にあるかないかで違うのではないか？

②腹痛鑑別のアルゴリズムを作成する。

アルゴリズムとはYes／Noの質問を繰り返し、疾患鑑別する方法です。どんな質問で鑑別していくかを考えました。疾患を1つに絞る行為は大変リスクが高いため、2～3疾患になるように質問を考えます。最後にとどめ（確認）の質問で疾患を予測します。

実際に自分たちで作成したアルゴリズムを使ってのロールプレイが行われました。

③トリアージプラン作成

とどめの質問を行ったあと、同じ疾患において重症度・緊急度の見落としがないよう心掛け、その疾患に対して経過観察・生活改善勧告・OTC薬推奨（選択する）・受診勧告・緊急対応など作成しました。受診勧告、緊急対応時には薬局より紹介状を書けばよりスムーズな診察、治療に繋が

ることでした。これこそがチーム医療への貢献かもしれません。

今回の研修内容を行われている大学も既にあるとのことでした。

現場で働いている私達も避けては通れないのと共に、責任ある判断と行動をする本当のプロの医療人としての第一歩になるのではないでしょうか？

引き続き行われた会議にて、研修の実施背景・研修内容・研修の展開・今後のスケジュールの説明が行われました。

今後のスケジュールとして研修会の収録DVDを作成、それを用いて都道府県薬剤師会等にて伝達研修の実施、平成27年度までの中央研修会の開催予定が伝えられました。



平成25年度 緩和ケア薬剤師研修

三原支部 植田 紀江

日 時：平成25年10月10日（木）・11日（金）9:00～16:30
場 所：広島県緩和ケア支援センター

今回このような研修会に参加する機会を与えていただきましたことを、心より御礼申し上げます。

まず1日目はコミュニケーション技術の講義を受けてその後グループに分かれて薬剤師役、患者役、観察者になりロールプレイを行いました。不快な感情を経験している癌患者とのコミュニケーションは大変難しく、まずは「思いやり」を基盤としさらに感情に対処するスキルが必要とされます。言語的情報は勿論、非言語的情報（身振り、表情、声の抑揚など）を意識してコミュニケーションの質を高めていきます。コミュニケーション技術を学ぶこともロールプレイを行うことも初めてでしたが、薬剤師以外の第三者の立場から客観的に評価することが出来、とてもいい経験になりました。

午後からは在宅緩和ケアの実際として在宅薬剤師、在宅医、訪問看護師の立場からそれぞれお話を頂き、在宅での緩和ケアは患者さんやその家族へ寄り添ってケアやサポートを行い、さらに患者さんが亡くなった後も残された家族へのケアは継続することを学びました。人生の中で1番大切な時間を共有させて頂くことの有り難さと共に責任の重さを痛感させられた1日となりました。

2日目は緩和ケアの動向とその概念について講

義をして頂きました。以前は緩和ケアは治癒・延命が出来ないから苦痛緩和を行う為のものであるという考え方が主流でしたが、最近は時期ではなく苦痛に合わせて緩和ケアを行うように広がりつつあること、そして緩和ケアが体と気持ちの辛さをやわらげて患者と家族のQOLを改善するためのアプローチであることも学びました。また患者さんやその家族は医療用麻薬に対して誤解や不安を持たれている方が多いようですが、薬剤師が自信を持って説明するようにと御指導して頂きました。

午後からは「在宅緩和ケアにおける自分の役割、これからのお課題」というテーマでグループワークを行いました。その中で病院と薬局間の薬薬連携を積極的に行うことやお薬手帳の活用について、また退院前カンファレンスに薬局薬剤師が参加出来るように病院薬剤師が働きかける等の具体策についても意見を出し合いました。

私の勤務する薬局には県東部では珍しく無菌調剤室があります。広島市内で行われている在宅緩和ケアをそのまま三原市内で行うには資源が乏しく難しいのが現状ですが、今回の研修で学んだことを日々の業務に生かし、緩和ケアの一助になれるよう努めたいと思いました。

平成25年度 第1回ひろしま食育・健康づくり実行委員会

常務理事 二川 勝

日 時：平成25年10月11日（金）11:00～12:00
場 所：県庁本館

次 第

- 1 開会あいさつ
- 2 協議事項
 - (1) 役員の選出について
 - (2) 平成24年度事業報告について
 - (3) 平成24年度収支決算報告について
 - (4) 平成25年度事業計画の変更について
 - (5) その他
- 3 閉会

【配布資料】

委員名簿、配席表

資料1 平成24年度ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業報告（案）

資料2 平成24年度ひろしま食育・健康づくり実行委員会収支決算（案）

資料3 平成25年度ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業計画（案）〈変更計画〉

参考資料1 平成24年度食育活性化支援事業報告書（6圏域分）

参考資料2 平成25年度ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業計画（当初計画）

参考資料3 減塩の推進について～ひろしま食育ウィークの取組～

1. 開会あいさつ

布施広島県健康福祉局対策課長のあいさつで始まりました。

2. 協議事項

（1）役員の選出では、広島県国民健康保険団体連合会の宇都宮委員を委員長に、広島県医師会の渡邊委員を副委員長に選出。宇都宮委員長から監事に、広島県歯科医師会の山崎委員、広島県社会福祉協議会の宇根委員の指名がありました。

（2）平成24年度事業報告、（4）平成25年度事業計画の変更を載せておきます。

資料 1

平成24年度ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業報告(案)

1 ひろしまフードフェスティバルでの普及啓発

「ひろしまフードフェスティバル」に参画し、関連団体の出展により食育・健康に関する普及啓発活動を実施した。

- (1) 実施日:平成24年10月27日(土), 28日(日)
- (2) 場 所:広島城及び中央公園周辺(広島市中区基町)
- (3) 参加者:80万5千人(2日間延べ)
- (4) ブース出展内容

23年度に続き、健診セクションと相談セクションを一体化し、広島県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会広島支部における健診結果をもとに健康相談を行い、(公社)広島県栄養士会は栄養相談を担当する、という体制で実施した。

また、広島県食生活改善推進員団体連絡協議会が提供する試食及び(公財)広島県地域保健医療推進機構が実施するがん検診普及啓発活動等も大変好評であった。

担当団体名	内容	備考(結果等)
広島県国民健康保険団体連合会 ◎	<ol style="list-style-type: none"> ① 受付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 20歳以上の特定健診等に関するアンケート実施 ・ パンフレット配布 ② 骨密度測定 ③ 血管年齢測定 ④ 健康相談 	<ol style="list-style-type: none"> ① 受付来場者 987名 ② 骨密度測定 882名 ③ 血管年齢測定 718名 ④ 健康相談 適宜
全国健康保険協会広島支部	<ol style="list-style-type: none"> ① 血圧測定 ② 体脂肪測定 ③ アルコールパッチテスト ④ 健康相談 ⑤ 被保険者・被扶養者の健診案内 ⑥ ジェネリック医薬品の促進、配布等 ⑦ アンケート調査 	<p>来場者 土日計 610名</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 血圧測定 330名 ② 体脂肪測定 502名 ③ アルコールパッチテスト 304名 ④ 減塩指導・その他 27名
(公社)広島県栄養士会	<ol style="list-style-type: none"> ① 栄養相談 ② 減塩啓発モデル展示 ③ サンプルの配布 ④ 生活習慣病予防のパンフレット配布 ⑤ 野菜の摂取パネル展示 	<p>来場者</p> <p>土曜日 250名</p> <p>日曜日 350名</p> <p>※男女とも中高老年期の方が多く、採血の検査結果用紙を持参する来場者もいた。</p>
広島県食生活改善推進員団体連絡協議会	<ol style="list-style-type: none"> ① カルシウムたっぷりで骨太に! ～小魚の一口ピザの試食～ ② しおり、パンフレットの配布 	<p>試食数</p> <p>土曜日 700食</p> <p>日曜日 600食</p> <p>※パンフレットも同数配布した</p>
(公財)広島県地域保健医療推進機構	<ol style="list-style-type: none"> ① がん検診普及啓発活動 (肺がん無料体験検診、乳がん自己触診法、肺がんフィルム展示) 	<p>・クーポン券 27枚</p>
広島県	<ol style="list-style-type: none"> ② 禁煙相談(健康大使) ③ 乳がん無料クーポン券の発行 ④ 健康づくり情報提供(リーフレット配布) 	<p>・リーフレット配布は、(社)広島県歯科医師会からも提供有</p>

※「◎」は、主担当団体(以下、同じ)。

2 食育に関するコンクールの開催

食育の実践の支援として、小学生・中学生を対象に、ひろしま県お弁当3・3コンクールを開催した。書類審査と実演審査を行い、優れた作品の表彰を行うとともに、最優秀賞には県知事賞を授与した。

この取組については、作品及びバランスのとれたお弁当づくりのポイントを掲載したポスターを作成・配布することで、県民の食育の実践を促す。



審査団体名	(公社)広島県栄養士会 ◎ (社)広島県歯科医師会 広島県農業協同組合中央会 (社)広島県食品衛生協会 広島県スーパー・マーケット協会 (財)広島県地域保健医療推進機構 広島県															
募集内容等	(1)部門 ①小学5・6年生の部 ②中学生の部 (2)条件 ア 参加者自身が作ること。 イ 弁当箱に収める形で作ること。(形は問わない。) ウ 広島県産の食材を1品以上使用すること。 (自宅等で収穫した食材も該当する。) エ 材料費は、1人分に換算して500円以内とすること。 (3)審査基準 ア 栄養のバランス(主食(黄):主菜(赤):副菜(緑)=3:1:2) イ オリジナリティのある工夫 ウ 盛り付けの工夫(見た目の鮮やかさ) エ 調理の工夫(材料が容易に入手できるもの) オ おいしさ カ 簡便性(所要時間は1時間以内) キ 衛生的な取扱い (4)募集期間 平成24年7月19日(木)~9月7日(金) (5)応募作品数 3,443作品															
3次審査会 及び表彰式	(1)日時 平成24年10月20日(土) 審査会 9:30~11:40 / 表彰式 12:15~12:45 (2)場所 県立広島大学広島キャンパス															
入賞作品	<table border="1"> <tbody> <tr> <td></td><td>小学5・6年生の部</td><td>中学生の部</td></tr> <tr> <td>最優秀賞</td><td>村井 流 (東広島市立久芳小学校6年)</td><td>村中 美幸 (東広島市立高屋中学校3年)</td></tr> <tr> <td>優秀賞</td><td>中山 希乃香 (吳市立白岳小学校6年)</td><td>引地 進之助 (東広島市立黒瀬中学校3年)</td></tr> <tr> <td></td><td>小川 瑞月 (三原市立西小学校6年)</td><td>浅岡 大樹 (東広島市立高屋中学校3年)</td></tr> <tr> <td>審査員特別賞</td><td>木村 健人 (吳市立白岳小学校6年)</td><td>川口 武志 (東広島市立高屋中学校2年)</td></tr> </tbody> </table>		小学5・6年生の部	中学生の部	最優秀賞	村井 流 (東広島市立久芳小学校6年)	村中 美幸 (東広島市立高屋中学校3年)	優秀賞	中山 希乃香 (吳市立白岳小学校6年)	引地 進之助 (東広島市立黒瀬中学校3年)		小川 瑞月 (三原市立西小学校6年)	浅岡 大樹 (東広島市立高屋中学校3年)	審査員特別賞	木村 健人 (吳市立白岳小学校6年)	川口 武志 (東広島市立高屋中学校2年)
	小学5・6年生の部	中学生の部														
最優秀賞	村井 流 (東広島市立久芳小学校6年)	村中 美幸 (東広島市立高屋中学校3年)														
優秀賞	中山 希乃香 (吳市立白岳小学校6年)	引地 進之助 (東広島市立黒瀬中学校3年)														
	小川 瑞月 (三原市立西小学校6年)	浅岡 大樹 (東広島市立高屋中学校3年)														
審査員特別賞	木村 健人 (吳市立白岳小学校6年)	川口 武志 (東広島市立高屋中学校2年)														

団体賞	2次審査通過者には、次の実行委員会構成団体から団体賞を交付した。
	広島県歯科医師会 (噛ミング30賞)
	広島県国民健康保険団体連合会 (コッピー賞)
	広島県農業協同組合中央会 (よい食プロジェクト賞)
	公益社団法人広島県栄養士会 (公益社団法人広島県栄養士会賞)
	広島県食品衛生協会(社団法人広島県食品衛生協会長賞)
	広島県スーパーマーケット協会 (広島県スーパーマーケット協会賞)
	広島県地域保健医療推進機構 (お弁当カラフル賞)
ポスター	健康保険組合連合会広島連合会

3 食育活性化支援事業

地域特性を生かした食育推進圏域連絡会議の取り組みを、ひろしま食育・健康づくり実行委員会が支援することで、食の関係者によるネットワークの構築を促進するとともに、地域における食育の推進を図ることを目指し、次のとおり事業を実施した(参考資料1 参照)。

圏域名 (市町名)	事業概要
広島(海田) (海田町)	海田町の食育に係る人材育成のため、講習会を実施。
広島(芸北) (安芸高田市)	成人式において、市民から募集した朝食レシピや野菜レシピをおすすめ一品として掲載した「わが家のおすすめ一品」冊子を作成し、配布。併せて、ポスター掲示により、生活習慣病予防の啓発を行った。
広島中央 (東広島市)	東広島市の健康福祉まつり、生涯学習フェスティバルにおいて、食育スタンプラリー、アンケートを実施。
広島中央 (竹原市)	竹原市ふくし健康まつりにおいて、地場産物を使用した男子対象の料理教室「男子厨房に入ろう！おばあちゃんの家庭料理教室」を開催。
広島中央 (大崎上島町)	「子や孫へ伝えたい島の味わい」としてメニュー・レシピの作成。まつりの会場等において料理展示、試食、レシピの配布。
福山・府中 (福山市)	福山市の郷土料理を掲載した「福山市版食事バランスガイド」のリーフレット作成。

4 食育・健康に関する情報提供

情報収集や分析、発信などについて効果的なアプローチを行うため、広島県食育実践強化委員会を開催するとともに、成果品を関係団体における普及啓発に使用した。

(1)広島県食育実践強化委員会

区分	日時	場所	内 容
第1回	平成24年 4月24日(火) 16:00~17:30	県立広島大学 広島キャンパス 1215 会議室	・食育の新しい方向性とこれからの課題について ・第1回広島県食育サミット(仮称)について ・その他

(2)成果品の使用状況

団体	成果品	使用内容
広島県歯科医師会	第2回ひろしま県 お弁当3・3コンクール 入賞作品	中国新聞「食育応援キャンペーン」への写真掲載
広島県西部東保健所		食育推進圏域連絡会議における紹介

5 会議開催

次のとおり、実行委員会及びワーキング会議等を開催した。

(1)実行委員会

区分	日時	場所	内 容
第1回	平成24年 6月14日(木) 13:30~15:00	広島県自治会館 会議棟201会議室	・役員の選出について ・平成23年度事業報告について ・平成23年度収支決算報告について
第2回	平成25年 3月28日(木) 13:30~15:00	広島県自治会館 会議棟301会議室	・平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

(2)ワーキング会議等

区分	日時	場所	内 容
フードフェス ティバル打 合せ会	平成24年 9月18日(火) 10:30~12:30	県庁本館 601会議室	・フードフェスティバル出展団体により、出店内容について協議

資料3

平成25年度ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業計画（案）

1 普及啓発活動

（1）ひろしまフードフェスティバルでの普及啓発

ア 事業内容

「ひろしまフードフェスティバル」に参画し、関連団体の出展により食育・健康に関する普及啓発活動を実施する。

イ 開催日時等

（ア）実施日：平成25年10月26日（土）、27日（日）（予定）

（イ）場 所：広島城及び中央公園周辺（広島市中区基町）

ウ 担当団体

◎広島県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会広島支部、（公社）広島県栄養士会、広島県食生活改善推進員団体連絡協議会、（財）広島県地域保健医療推進機構

エ 予算

項目	金額
ブース出展料（備品込み）	1,100千円
スタッフ昼食代、ブース材料費等	100千円
合 計	1,200千円

オ スケジュール

時 期	事 項
7月～8月	参加希望団体の出展取りまとめ
8月中旬	フードフェスティバル実行委員会への出展申込み
9月	打合せ会議

*打合せ会議は必要に応じて開催

（参考）平成24年度の出展状況

実行委員会として参加していることのメリットを生かしたブース出展の方法として、健康チェックセクションと相談セクションを一体化するとともに、相談を終えた参加者ががんの体験や試食等のコーナーに立ち寄れる配置として実施した。

団 体 名	内 容
広島県国民健康保険団体連合会	アンケート、パンフレット配布 骨年齢・血管年齢チェック、健康相談
全国健康保険協会広島支部	血圧測定、体脂肪測定、アルコールパッチテスト 健康相談、パンフレット等配布
（公社）広島県栄養士会	栄養相談、減塩啓発モデル、野菜摂取パネル展示 サンプル、パンフレット等配布
広島県食生活改善推進員団体連絡協議会	レシピ配布、試食 パンフレット等配布
（財）広島県地域保健医療推進機構	肺がん無料体験検診、乳がん自己触診法 乳がん無料クーポン、パンフレット等配布 肺がんフィルム展示、禁煙相談コーナー
広島県	第8回食育推進全国大会のチラシ等の配布

*構成団体からのリーフレットの提供：広島県歯科医師会

(2) 食育チャレンジカードによる普及啓発

ア 事業内容

家庭における共食の取組を促進するため、家庭で取り組むことを決めて実践し記録する「食育チャレンジカード」を作成・配布する。

イ 担当団体

◎ (一財) 広島県環境保健協会、(公社) 広島県栄養士会、広島県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会広島支部、健康保険組合連合会広島連合会、広島県PTA連合会、広島県高等学校PTA連合会

ウ 予算

項目	金額
食育チャレンジカード作成に係る経費	200千円
合計	200千円

エ スケジュール

時期	事項
10月から1月中旬	内容の検討・確定
1月下旬	カード印刷
2月	カード配布

2 食育に関するコンクールの開催

(1) お弁当3・3コンクール

ア 事業内容

食育の実践の支援として、小学生・中学生を対象に、ひろしま県お弁当3・3コンクールを開催する。

書類審査と実演審査を行い、優れた作品の表彰を行うとともに、最優秀賞には県知事賞を授与する。また、作品を掲載したポスター等を作成・配布することで、県民の食育の実践を促す。

イ 担当団体

◎ (公社) 広島県栄養士会、(公社) 広島県医師会、(公社) 広島県歯科医師会、広島県農業協同組合中央会、(公社) 広島県食品衛生協会、広島県スーパーマーケット協会、(財) 広島県地域保健医療推進機構

ウ 予算

項目	金額
募集及び第1・2次審査に係る諸経費	100千円
会場費や調理商品、参加者の旅費等、第3次審査に係る経費	150千円
副賞、表彰状など、表彰式関係に係る経費	250千円
ポスター作成	200千円
合計	700千円

エ スケジュール

時期	事項
5月	打合せ会議(実施要領、役割分担、スケジュール及び3次審査の運営等の確認)
6月	県内小学校、中学校等に通知
7月中旬から9月上旬	募集期間
9月上旬から9月中旬	1次審査及び2次審査

9月下旬	結果通知
9月下旬から10月中旬	参加者との調整
10月中旬	3次審査及び表彰式
10月下旬	結果の周知（各団体のHPや機関紙など）
12月	ポスター作成

*打合せ会議は必要に応じて開催

*募集期間は、学校の要望により、夏休みを挟んだ約2ヶ月とする。

（2）伝えよう ひろしまの味コンテスト

ア 事業内容

郷土料理や伝統料理など、地域の魅力的な料理への取組を行っている団体等を募集し、募集した取組事例や料理レシピを啓発に活用することにより、県民の食文化への関心を高め、継承活動に取り組む団体や県民を増やす。

イ 担当団体

◎広島県食生活改善推進員団体連絡協議会、(公社)広島県栄養士会、広島県農業協同組合中央会、広島県スーパーマーケット協会、株式会社中国新聞社

ウ 予算

項目	金額
募集及び審査に係る諸経費	50千円
副賞、表彰状など、表彰式関係に係る経費	50千円
作品を収録した啓発用資料作成	250千円
合計	350千円

エ スケジュール

時期	事項
10月から11月	打合せ会議（実施要領、役割分担、スケジュール等確認）
12月上旬	県内市町等に通知
12月上旬から1月中旬	募集期間
1月下旬	審査
2月上旬	結果通知
2月中旬	表彰式
3月	啓発用資料作成

*打合せ会議は必要に応じて開催

3 食育活性化支援事業

県内の二次保健医療圏毎に、食育推進圏域連絡会議が開催されており、関係者により、地域における食育の推進について協議している。ひろしま食育・健康づくり実行委員会が支援することで、食の関係者によるネットワークの構築をより促進するとともに、地域における食育の推進を図ることを目指す。

（1）事業内容

各圏域から提出された申請書を審査し、趣旨に合致する事業に対し、必要に応じ事業協力及び事業費の支出を行う。

（2）担当団体

◎広島県、(社)広島県薬剤師会、(社)広島県看護協会、(財)広島県環境保健協会、健康保険組合連合会広島連合会

(3) 予算

項目	金額
1圏域の事業費 10万円×8圏域	800千円
合計	800千円

(4) スケジュール

時期	事項
4月	各保健所（支所）に通知
4月から3月（随時）	申請書受付
	担当団体による審査（FAX、メール）及び助言
	決定通知
	事業報告
	事業費の支出

4 食育・健康に関する情報提供

食育・健康づくりに関する包括的な情報収集・分析及び情報発信を行う。

(1) 事業内容

- ① 新聞広告等広報

新聞や各団体のHP及び機関紙などで食育・健康づくりに関する記事を掲載し、県民に周知する。
- ② 食育実践強化事業

情報の収集・分析・発信及び実践支援のための効果的なアプローチの研究等を行う。

(2) 担当団体

- ① ◎広島県、(社福)広島県社会福祉協議会、(社)広島県生活衛生同業組合連合会、(社)広島県食品工業協会、(株)中国新聞社、広島県PTA連合会、広島県高等学校PTA連合会
- ② ◎広島県、(社)広島県医師会

(3) 予算

項目	金額
新聞広告等広報経費	30千円
食育実践強化事業	60千円
合計	90千円

5 会議開催**(1) 事業内容**

会議名	回数・時期
実行委員会	2回（6月、3月）
ワーキング会議	事業に応じ随時開催

(2) 担当団体

◎広島県、各事業に関する団体

第41回 認定実務実習指導薬剤師養成のための ワークショップ中国・四国 in 岡山

福山支部 小林 沙織

日 時：平成25年10月13日（日）・14日（月）

場 所：就実大学

今回のワークショップは、「教育」とは「学習者の行動（知識・技能・態度）に価値ある変化をもたらすこと」と捉え、「教育」についてひたすら考え体験する2日間でした。

「薬学教育の問題点」「学習目標・方略・教育評価法の作成」「問題点への対応」という複数のテーマの下、グループごとにディスカッションと発表を繰り返し行ったのですが、グループには大学教員・病院薬剤師・保険薬局の薬剤師と異なる職種が含まれており、別の視点から出てくる意見は大変興味深いものでした。そして話し合う中で人の意見を尊重し受け入れながらグループで1つの考えに到達するという作業は、大変でしたが達成感がありました。また同じテーマでもグループが違えば別の考えに到っており、それも面白かったです。

このワークショップには2つの意味があるのだと思いました。1つは薬学教育について考え実務実習にのぞむ教育者としての自覚を身につけること。もう1つはカリキュラム作成がただできるようになるだけでなく、SGD（Small Group Discussion）・K・J法・二次元展開法を実際に体験することでその方法の教育の中での有用性を理解し指導手段に取り入れ活かせるようにすることだと思いました。

とはいえば学んですぐできるようなものではありません。これから学生を受け入れる中で取り入れていき、学生と共に学び成長できるよう頑張っていきたいと考えています。

薬学実践

薬剤師国家試験問題（平成25年3月2日・3日実施）

問345 小学校から担当の学校薬剤師に対して、ノロウイルス感染対策として給食室の調理台や調理器具の消毒に関して質問があった。

塩素濃度200 ppmの次亜塩素酸ナトリウム液を3L準備するには、6w/v%次亜塩素酸ナトリウム消毒液が何mL必要か。1つ選べ。

- 1 1
- 2 3
- 3 10
- 4 30
- 5 100

正答は 97 ページ

◎広島県薬剤師会会員証(会員カード) ◎ 新規受付は平成21年8月末をもって終了しました。

会員カードでWポイントがつきます。

Wポイントカードに **株和多利** 広島本社 Wポイントカード事務局
に関するお問い合わせは ☎ 082-830-0230 平日10:00~18:00 ホームページ <http://www.watari.biz/>

Wポイント会員サイト OPEN! ケータイも パソコンも <http://www.wpoint.co.jp/>

Wポイントカードシステムでは、2,000ポイント貯まると翌月2,000円分のWポイント金券がお手元に届きます。



広島県Wポイントカード加盟店

平成25年10月1日現在

店舗名の後の数字は100円に対するポイント数です。(一部異なる場合があります。) 例) ②…100円につき2ポイント加点されます。

店舗名①	TEL.	店舗名②	TEL.	店舗名③	TEL.
広島市安芸区					
Edabrielek①	082-822-6667	住吉屋 楽々園店①	082-943-4960	広島風お好み焼き・鉄板居食家 德兵衛	082-247-2260
ちから 船越店②	082-824-0301	ちから 五日市店②	082-922-8661	紙屋町店②	082-247-2260
ちから 矢野店②	082-888-5246	徳川 五日市店②	082-929-7771	福助タクシー(株) 本社営業所②	082-232-3333
マダムジョイ 矢野店 直営食品売場①	082-889-2441	マダムジョイ 楽々園店 直営食品売場①	082-943-8211	ボウル国際①	082-244-4151
広島市安佐北区					
大野石油店 高陽町SS①	082-842-1890	バー・サード・ウェーブ②	082-247-7753	星ビル2F 知育玩具とオルゴール②	082-249-3592
大野石油店 可部バイパスSS①	082-819-0210	英国式足健康法 リフレックス②	082-248-7722	星ビル3F ベビーワールド②	082-249-6181
キャン・ドゥ 可部店②	082-814-7008	えびすの宴②	082-243-6166	星ビル4F アンティークドール②	082-246-0026
山陽礦油 かめ山SS①	082-815-6211	えひめでいあ②	082-545-6677	星ビル5F オルゴールティーサロン②	082-249-1942
ちから 高陽店②	082-841-4377	大野石油店 牛田大橋SS①	082-221-1511	星ビルB1F メディカルフィットネス②	082-242-0011
ちから マルナカ可部店②	082-810-0877	大野石油店 大手町SS①	082-243-8351	マダムジョイ 江波店 直営食品売場①	082-532-2001
徳川 サンリブ可部店②	082-815-2775	大野石油店 西白島SS①	082-221-8834	マダムジョイ 千田店 直営食品売場①	082-545-5515
広島市安佐南区					
エコール古市ショールーム①	082-830-6161	大野石油店 八丁堀SS①	082-221-3643	焼肉達人の店 黒②	082-234-8929
エコール本部①	082-877-1079	okashimo②	082-231-3221	横田印房⑩	082-221-0320
大野石油店 高取SS①	082-872-7272	釜飯醉心 本店②	082-247-4411	広島市西区	
大野石油店 緑井SS①	082-877-2008	寿司道場醉心 支店②	082-247-2331	井口家具百貨店①	082-232-6315
釜飯醉心 毘沙門店②	082-879-2211	惣菜醉心 立町店②	082-247-9581	大野石油店 旭橋SS①	082-272-3766
カメラのアート写真 高取店①	082-830-3588	芸州 胡店②	082-243-6165	大野石油店 井口SS①	082-276-5050
ちから 西原店②	082-832-5520	桜井花店 本店①	082-247-1808	大野石油店 観音SS①	082-231-6209
ちから 八木店②	082-830-0235	山陽礦油 相生橋SS①	082-232-0145	大野石油店 商工センターSS①	082-277-1266
徳川 安古市店②	082-879-9996	しなとら パセーラ店②	082-502-3382	大野石油店 横川SS①	082-237-1864
広島第一交通 上安営業所②	082-872-5410	体育社 本店①	082-246-1212	釜飯醉心 アルパーク店②	082-501-1005
広島風お好み焼き・鉄板居食家 德兵衛		ちから 本店②	082-221-7050	サイクルショップカナガキ 横川本店①	082-231-2631
徳兵衛 毘沙門台店②	082-879-0141	ちから 上八丁堀店②	082-211-0122	サイクルショップカナガキ 己斐店①	082-272-2631
福助タクシー(株) 古市営業所②	082-877-0004	ちから そごう店②	082-512-7854	サカイ引越センター②	0120-06-0747
広島市佐伯区					
阿藻珍味 銘店舎五日市店①	082-942-3266	ちから タカノ橋店②	082-544-0002	車検の速太郎①	082-238-0100
AUTO GARAGE うえるかむ①	082-927-2510	ちから 十日市店②	082-503-1089	車検の速太郎 カーケアプラザ①	082-238-3939
大野石油店 五日市インターSS①	082-941-5020	ちから 中の棚店②	082-504-6646	ちから アルパーク天満屋店②	082-501-2701
大野石油店 造幣局前SS①	082-923-6029	ちから 舟入店②	082-294-7503	ちから 井口店②	082-278-3666
カフェ&ダイニング わらうかど庭②	082-929-5368	ちから 堀川店②	082-241-8230	ちから 観音店②	082-232-5686
釜飯醉心 五日市店②	082-922-8663	ちから 本通 4丁目店②	082-245-0118	ちから 己斐店②	082-507-0505
サイクルショップカナガキ 五日市店①	082-924-5525	中華そばちから八丁堀店②	082-502-6008	ちから 商工センター店②	082-270-0390

店舗名①	TEL.	店舗名②	TEL.	店舗名③	TEL.
徳川 南観音店②	082-503-3039	安芸郡府中町		山陽石油 多治米町SS①	084-957-2601
広島第一交通㈱(第一) ②	082-278-5511	ちから サンリフ府中店②	082-890-2510	山陽石油 深津SS①	084-922-5750
広島第一交通㈱(平和) ②	082-278-5522	ちから 向洋店②	082-581-4321	山陽石油 福山東インターSS①	084-923-7835
ホテルプロヴァンス21 スパラーザ広島②	082-235-3930	中華そばちから府中店②	082-287-0933		
マダムジョイ アルパーク店 直営食品		広島第一交通㈱ 府中営業所②			
売場①	082-501-1112		082-281-1191		
マダムジョイ 己斐店 直営食品売場①	082-271-3211	大竹市			
横川 ちから①	082-292-5822	果子乃季 ゆめタウン大竹店②	08275-7-0757	三原市	
広島市東区		カメラのアート写夢 本店①	0827-57-7700	ごはんや 広島空港店②	084-860-8215
アリモト 本店②	082-264-2929	カメラのアート写夢 油見店①	0827-53-5911	徳川 三原店②	0848-62-8824
大野石油店 広島東インターSS①	082-508-5030	尾道市		三次市	
サイクルショップカナガキ 戸坂店①	082-220-2031	瀬戸田すいぐん丸②	08452-7-3003	さざん亭 三次店②	0824-64-0375
ちから 尾長店②	082-506-3505	大野石油店 熊野団地SS①	0823-30-1042	平田観光農園①	0824-69-2346
ちから 光町店②	082-568-6855	大野石油店 呉SS①	0823-21-4974	広島三次ワイナリー 喫茶ヴァイン①	0824-64-7727
徳川 戸坂店②	082-220-1818	体育社 呉店①	0823-22-8880	広島三次ワイナリー バーベキューガーデン①	0824-64-0202
広島市南区		ちから 呉駅店②	0823-32-5532	広島三次ワイナリー ワイン物産館①	0824-64-0200
大野石油店 エコストーション出島①	082-254-1015	徳川 呉中通り店②	0823-23-8889	その他	
大野石油店 東雲SS①	082-282-3993	徳川 広店②	0823-70-0600	リースキン 家庭用事業部	
大野石油店 皆実町SS①	082-251-9108	広島風お好み焼き・鉄板居食家 徳兵衛		広島市店②	082-233-1141
釜飯酔心 新幹線店②	082-568-2251	吳駅ビル店②	0823-24-0222	広島北営業所②	082-845-2882
釜飯酔心 広島駅ビル店②	082-568-1120	庄原市		広島西営業所②	0829-31-6161
惣菜酔心 アッセ店②	082-264-6585	総商さとう ウィー東城店①③	08477-2-1188	広島東営業所②	082-824-1411
銀河(えひめでいあ) ②	082-253-1212	神石郡神石高原町		国内すべて対応	
ごはんや 広島店②	082-253-0300	総商さとう 本店①③	08478-2-2011	アート引越しセンター①	0120-08-0123
サイクルショップカナガキ 東雲店①	082-288-9101	廿日市			
山陽礦油 大州SS①	082-282-4478	大野石油店 廿日市インターSS①			
車検の速太郎 向洋店①	082-890-9500	キヤン・ドウ 廿日市店②	0829-20-1189		
ちから 広島駅店②	082-568-9121	ジョイ薬局①	0829-32-3387		
ちから 福屋駅前店②	082-568-2330	徳川 廿日市店②	0829-32-3077		
ちから 本浦店②	082-286-1119	東広島市			
ちから 的場店②	082-262-6594	大野石油店 西条インターSS①	0829-32-1111		
ちから 皆実4丁目店②	082-250-0804	大野石油店 高屋ニュータウンSS①	082-423-3701		
ちから 皆実町店②	082-253-3363	大野石油店 東広島SS①	082-434-4411		
ちから ゆめタウンみゆき店②	082-250-2125	カギのひゃくとう番⑤	082-423-9197		
中国トラック①	082-251-0110	髪処 ふくろう②	082-424-3110		
豆匠 広島本店②	082-506-1028	住吉屋 西条プラザ店①	082-497-3337		
徳川 南区民センター店②	082-505-1620	体育社 東広島店①	082-423-7878		
徳川 ジャスコ宇品店②	082-250-0480	徳川 西条プラザ店②	082-422-5050		
徳川 ビックカメラ・ベスト店②	082-567-2388	八本松タクシー①	082-424-0300		
広島風お好み焼き・鉄板居食家 徳兵衛		福山市			
広島新幹線店②	082-263-0200	一心太助 福山本店②	082-428-0023		
ホテルセンチュリー21広島 京もみじ②	082-263-5531	エコール福山ショールーム①			
ホテルセンチュリー21広島 フィレンツェ②	082-568-5270	山陽石油 住吉町SS①	084-981-3733		
安芸郡海田町		山陽石油 セルフ神辺SS①	084-922-0939		
徳川 海田店②	082-824-0111	山陽石油 セルフ福山平成大学前SS①	084-962-0693		
			084-972-7940		

※ご利用額100円に対するポイント価は、加盟店により異なります。 ※換算率は、1ポイント=1円となります。

※次のお取り扱いにつきましては、予め、ご利用加盟店へ直接お問い合わせください。

- 1.クレジットカード支払のお取り扱い
- 2.クレジットカードご利用時のポイント付加の有無
- 3.ポイント付加対象外商品の有無
- 4.団体・パーティーご利用時のポイント付加の有無

指 定 店 一 覧

平成25年10月1日現在

部 門	指 定 店	会 員 價 格	営 業 日 時	定 休 日	所 在 地	電 話 番 号
ゴム印・印鑑	株式会社江明正堂	現金25%引、クレジット20%引	9:30～19:00	日曜、祝日、(8月の土曜)	広島市中区新天地1-1	(082)244-1623
ホテル	株式会社呉阪急ホテル	宿泊20%引、宴会5%引、婚礼5%引、料飲10%引外優待有	年中無休		呉市中央1-1-1	(082)20-1111
	ANAクラウンプラザホテル広島	宿泊23%引、料飲5%引、婚礼5%引、宴会5%引	年中無休		広島市中区中町7-20	(082)241-1111
	広島東急イン	宿泊シングル1,500円引・ツイン3,000円引、婚礼10%引、レストラン5%引	年中無休		広島市中区三川町10-1	(082)244-0109
	福山ニューキャッスルホテル	宿泊17%引、レストラン5%引、宴会料理5%引、婚礼、料飲5%引	年中無休		福山市三之丸町8-16	(084)922-2121
リース会社	日立キャピタル株式会社	オートローン3.6%、リフォームローン3.9%外	年中無休	年末年始、夏期休暇等当社指定定休日を除く	広島市中区国泰寺町1-8-13 あいおい損害保険広島TYビル6F	(082)249-8011
家具	株式会社河野家具店	店頭表示価格から5～20%引	9:00～19:00	毎週火曜日 (火曜日が祝日の時は営業)	呉市中通4-10-17	(082)22-2250
	森本木工 西部	25～60%引き 赤札より10～15%	平日 8:30～18:00 年中無休	8/13～15、 12/29～1/4	広島市安佐南区中須2-18-9	(082)879-0131
看板	株式会社サインサービス	見積額の10%割引		毎週土・日曜日、祝日	安芸郡府中町柳ヶ丘77-37	(082)281-4331
警備	ユニオンフォレスト株式会社	機械警備10,000円／月～、ホームセキュリティ4,000円／月～、保証金免除	平日 9:00～18:00	無休	呉市中央2-5-15	(082)32-7171
	株式会社全日警広島支店	月額警備料金10,000～15,000円 (別途相談)、機器取付工事代20,000～30,000円、保証金免除	(土・日曜及び祝祭日を除く)	土・日・祝日	広島市中区幟町3-1 第3山県ビル5F	(082)222-7780
建物	株式会社北川鉄工所 広島支店	特別価格	平日 8:45～17:30	毎週土・日曜日、祝日	広島市南区東雲本町2-13-21	(082)283-5133
時計・宝石・メガネ・カメラ	株式会社ナカオカ	15～20%引(企画品、相場価格商品は除く)		毎週水曜日、夏期年末年始	広島市中区堀川町5-10	(082)246-7788
	株式会社下村時計店	現金のみ店頭表示価格から10～20%引(一部除外品あり)	9:00～19:00	月曜日	広島市中区本通9-33	(082)248-1331
自動車	株式会社広島トヨペット(株)Volkswagen南広島	特別価格			広島市中区吉島西2-2-35	(082)541-3911
書籍	株式会社フタバ図書	現金のみ定価5%引(直営店のみ)		定休日不定	広島市西区観音本町2-8-22	(082)294-0187
	株式会社紀伊国屋書店 広島店 ゆめタウン広島店	現金のみ定価の5%引			広島市中区基町6-27 広島バスセンター6F 広島市南区皆実町2-8-17 ゆめタウン広島3F	(082)225-3232 (082)250-6100
食事・食品	株式会社お好み共和国ひろしま村	全店全商品5%引			広島市中区新天地5-23	(082)246-2131
	株式会社平安堂梅坪	5%引	対象店舗(デパートを除く直営店)年中無休9:30～19:00	日・お盆・年末年始休業	広島市西区商工センター7-1-19	(082)277-8181
レジャー	株式会社国富(株)広島営業所	Cカード取得コース45,000円、商品購入:店頭価格より5%off、器材オーバーホール:通常価格より5%off	8:30～20:00	なし	広島市西区観音町13-9	(082)293-4125
	Diving Service海蔵	スクーバダイビング体験講習会¥8,400 Cカード取得講習会¥5,000引き・器材修理店頭価格より5%引き	11:00～20:00	なし	広島市中区南千田西町1-8-101	(082)209-7422

部 門	指 定 店	会 員 価 格	営業日時	定 休 日	所 在 地	電 話 番 号
進物	株進物の大信	5~20%割引(但し弊社特約ホテル式場にての結婚記念品の場合を除く)(個別配達費 広島県内無料(2,000以上商品))	6~9月 10:00~18:30 10~5月 9:30~18:00 年中無休・24時間営業	毎週火曜	広島市中区堀川町4-14	(082)245-0106
	有中山南天堂	5~25%(但し一部ブランド品食品を除く)	年中無休・24時間営業		広島市中区猫屋町8-17	(082)231-9495
総合葬祭	セルモ玉泉院 長束会館	祭壇金額定価2割引、 葬具(柩外)1割引	年中無休		広島市安佐南区長束2-4-9	(082)239-0948
	株玉屋	葬儀・花輪20%引、 生花5%引	年中無休		広島市南区段原南1-20-11	(082)261-4949
	百貨店・婦人服・ 複写機・ファックス	ひつじやサロン ミノルタ販売(株)	店頭表示価格より10%引(一部 除外品有) 特別会員価格	平日 9:00~17:30 年中無休	広島市中区本通9-26 広島市中区小町3-25 (ショールーム)	(082)248-0516 (082)248-4361
仏壇・ 仏具	株三村松本社	仏壇平常店頭価格より30~40% 引、仏具平常店頭価格より10~ 20%引(但し、修理費・工事費等 店頭販売品以外は除外する。)			広島市中区堀川町2-16	(082)243-5321
旅行	ひろでん中国新聞 旅行(株)本社・呉営業所・三次営業所・福山営業所	本人のみ 現金のみメープル・トピック 自社主催商品3%引	平日 10:00~19:00 土・日・祝 10:00~17:00		広島市中区八丁堀16-14 第二広電ビル1F	(082)512-1020
	株日本旅行 広島八丁堀支店 (県内各支店)	赤い風船3%引、マッハ5%引、 ペスト3%引			広島市中区堀川町5-1 大内ビル1F	(082)247-1050
装飾	青山装飾(株)	特別価格	8:30~17:30	日・祝日、第2・ 4土曜日	広島市西区商工センター 5-11-1	(082)278-2323
介護用品	坂本製作所(株) 介護事業部 福山営業所	車いす(アルミ製55%・スチール 製60%)、歩行補助ステッキ40% 引き	9:30~18:00	日曜・祝日休業	福山市鈴町11-1	(084)920-3950
家電	株エディオン外商部	エディオン店頭価格より家電製品 10%引、パソコン関連5%引	9:30~18:30	土・日・祝日	廿日市市木材港南8-22	(0829)34-2508
保険	アリコジャパン 広島第一エイジェンシーオフィス	無料保険診断サービス実施中	9:00~18:00 (平日)	土・日・祝日	広島市中区紙屋町2-1-22 広島興銀ビル9F	(082)247-3473 担当:小原(オハラ) 丸本(マルモト)
引越	株サカイ引越センター	通常価格より15%割引	年中無休(但し 11~13は休み)		広島市西区福島町2丁目36-1	0120-06-0747
会員制福利厚生サービス(中小企業向け)	株福利厚生俱楽部 中国(中国電力グループ会社)	入会金(一法人)31,500円→無料、 月会費1,050円/人 サービス内容(一例)全10,000アイテムが会員特別料金◆宿泊施設: 約4,000ヶ所 2,000円~、◆公共の宿:1泊2,500円/人補助◆パックツアーアー:10%OFF、◆フィットネス:1回500円~、◆映画:1,300円等	9:00~18:00 (平日)		広島市中区国泰寺町1-3-22 E R E 国泰寺ビル6階	(082)543-5855
設備	株式会社クラタ コーポレーション	特別価格	サービスにつ いては24時間 365日受付対応	土日祭休	広島市中区橋本町7-27	(082)511-1110 (代) 担当:桑田昭正

ご利用の際は、広島県薬剤師会会員証をご提示ください。

◆ 県薬だより ◆



県薬より支部長への発簡

- 8月20日 平成25年度薬事功労者及び薬事厚労団体の知事表彰に係る被表賞候補者の推薦について(依頼)(各支部長)
- 9月2日 在宅医療における患者紹介等について(通知)(各支部長)
- 9月2日 医療事故情報収集等事業平成24年年報の公表について(通知)(各支部長)
- 9月2日 新聞への広告掲載について(通知)(各支部長)
- 9月11日 日薬中国ブロック会議の開催について(通知)(各支部長)
- 9月13日 平成25年度「薬と健康の週間」における全国統一事業～医薬分業対策に係る会員一斉行動～の実施について(通知)(各支部長)
- 9月26日 支部長・理事合同会議の開催について(通知)(各支部長)
- 9月27日 医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.82」の提供について(通知)(各支部長)
- 10月2日 医療事故情報収集等事業第34回報告書の公表について(各支部長)
- 10月7日 平成25年度「薬と健康の週間」における全国統一事業～医薬分業対策に係る会員一斉行動～の資料について(通知)(支部長)
- 10月7日 広島県薬剤師会認定「基準薬局」の認定更新について(依頼)(各支部長)
- 10月7日 薬剤師会認定基準薬局の平成25年度第3次認定について(依頼)(各支部長)
- 10月11日 新聞への広告掲載について(各支部長)

◆平成25年7月定例常務理事会議事要旨

日 時：平成25年7月18日（木）午後6時～午後9時

場 所：広島県薬剤師会館

出席者：前田会長、木平・大塚・村上・野村・

渡邊各副会長、豊見専務理事、有村・井上・

小林・重森・谷川・豊見（敦）・中川・二川・

政岡・松村・吉田各常務理事

議事要旨作製責任者：小林啓二

1. 報告事項

(1) 6月定例常務理事会議事要旨（別紙1）

(2) 諸通知

ア. 来・発簡報告（別紙2）

イ. 会務報告（〃3）

ウ. 会員異動報告（〃4）

(3) 委員会等報告

(前田会長)

ア. 第67回医療と倫理を考える会・広島例会

6月27日（木）於 広島大学・広仁会館

元県医師会副会長の桑原先生より依頼があり講演した。「大丈夫か？薬剤師」という質問が多く、医師から見た薬剤師の有り様が厳しく問われているようであったと報告された。

イ. 二葉の里移転に係る歯科医師会との打合せ

7月2日（火）於 広島歯科医師会館

歯科医師会を代表として、無事入札ができ、土地は東西に分けて、東側の約5分の2が薬剤師会となる予定であると報告された。

ウ. 日本赤十字社広島県支部創立125周年記念赤十字大会

7月3日（水）於 広島国際会議場

高円宮様が来られて、表彰式と活動発表があった。

エ. 移転融資に係る広島銀行との打合せ

7月8日（月）土地の取得に関しては、広島銀行とすることにしたと報告された。

オ. 笠松広島県健康福祉局長訪問

7月9日（火）於 県庁

（豊見日薬理事）

ア. （公財）友愛福祉財団第1回評議員会（資料1）

6月21日（金）於 KKRホテル東京

イ. 日本学校保健会平成25年度第1回定期評議員会（資料2）

6月27日（木）於 日本消防会館

ウ. 日本学校保健会平成25年度第2回理事会（資料3）

6月27日（木）於 日本消防会館

エ. 日本薬剤師会第3回理事会（資料4）

6月28日（金）於 東京・日薬

「とくダネ！」の放送についてフジテレビに抗議文を提出、後日回答があつたが、医薬分業や薬剤師を否定しているわけではないという内容であつたと報告された。

オ. 日本病院薬剤師会インタビューフォーム検討会
(資料5)
7月12日（金）於 日本病院薬剤師会
新医薬品のインタビューフォームについて検討した。わかりにくいものが多く、新薬に関しては、修正ができるので、気づいたことがあつたら一報いただきたいと報告された。

（木平副会長）

ア. 平成25年度病院診療所薬剤師研修会
6月22日（土）・23日（日）於 広島国際会議場
参加者は370名であった。
イ. 第37回病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構会議（資料6）
7月9日（火）於 就実大学平成25年度の実習の進捗状況について、概ね大きな問題なく進んでいるとのこと、トラブル事例の報告があった。ふるさと実習を推進するために、中国四国地区内での配属を例年より早くし、中央へ受け入れ可能な枠を報告するようにした。
ウ. 広島県薬剤師会「地対協WG」
7月11日（木）地域包括ケアセンターにいかに薬局・薬剤師が入り込み、チーム医療の担い手として認知してもらうためのアンケートを計画していると報告された。

（大塚副会長）

ア. 認定基準薬局新規申請及び更新薬局、保険薬局指定申請薬局との共同研修会
6月23日（日）於 広島県薬剤師会館
広島県薬剤師会のみの認定となったこと、制度が変わったことのPRをしたと報告された。

（野村副会長）

ア. 「薬草に親しむ会」現地下見
7月2日（火）於 三次市（甲奴町・ジミー・カーターシビックセンター）
当初9月の予定であったが、10月20日となり、場所も変更になったと報告された。

イ. 広島キッズシティ2013打合会
7月10日（水）青年商工会議所の主催で広島県・広島市が関係していたため、協力することとしたが、割り当ての場所も屋内の予定が屋外になり、機材の設置に不安があり、やめることも考えたが、日も迫っており、迷惑がかかるのではと参加を決めた。来年度以降については、内容をよくみてまた検討したい。

ウ. 業務分担⑦担当役員打合会

7月18日（木）
中国新聞の広告掲載日をこちらで指定できることになったので、第1希望を8月6日、第2希望を8月31日、第3希望を8月24日とすることとしたと報告された。

（村上副会長）

ア. 平成25年度広島県高等学校保健会総会
6月28日（金）於 三原市ゆめきやりあセンター

事業報告・事業計画の報告があった。

イ. 日本薬剤師会第81回定時総会

6月29日（土）・30日（日）於 ホテルイースト21東京
142名の出席。処方せんを持たないと入れない薬局への批判、医薬分業に関して、第3者機構を作つてはどうか、JPALSのレベル6以上についての取り扱い等、ブロック質問もあった。神奈川県より年金に附帯条件・事項をつけてほしいとの緊急動議があり、採択となつたが却下された。報告事項・議案については全て承認されたと報告された。

ウ. 平成25年度日本薬剤師会学校薬剤師部会中国ブロック会議

7月6日（土）於 サンラボームラカモ
日薬の学薬部会における将来ビジョン、名簿の整理、お薬教育の充実、若手学校薬剤師の育成、などを検討しているとの報告があつた。

エ. 薬剤師禁煙支援アドバイザー認定制度特別委員会
(資料7)

7月12日（金）

健康対策課より、1万人の禁煙支援を行うための協力依頼があつた。禁煙マラソンに県を通して応募すると、無料となる。申込金500円が必要だが禁煙が達成すると返金されるシステムにするとの報告があつた。

オ. 第39回認定実務実習指導薬剤師養成のためのワーキングショップ中国・四国 in 福山

7月14日（日）・15日（月）於 福山大学薬学部医療薬学教育センター
参加者総数50名であり、参加者が若返ってきたようで、医療倫理についてが重荷になっているようだと報告があつた。

（渡邊副会長）

ア. 第57回中国地方社会保険医療協議会広島部会

6月27日（木）於 中国四国厚生局
保険医療機関および保険薬局の指定・更新に対する協議で、異議を唱えることができる。
新規指定：医科5件・歯科2件・薬局3件指定更新：医科11件・歯科3・薬局12件であった。

イ. 第462回薬事情報センター定例研修会

7月6日（土）於 広島県薬剤師会館
オメガ3製剤と他の高脂血症治療薬との併用には注意を要する場合があると報告された。

ウ. 広島県医療安全推進協議会

7月12日（金）於 県庁・北館
過去5年間の医療事故・苦情・相談の開示があつた。相談の中で、6%は医療裁判になっている。相談内容については、医療行為についてが主で、処方薬については4%で、日数過多、処方内容の説明不足・副作用等についてであった。薬事情報センターの医薬品副作用の相談業務について、アピールをしたことが報告された。県民に対する医

療・健康に関する講習会を開催してほしいとの協力依頼もあった。また、医療事故に関しては求められれば開示するとの報告があった。

エ. 第13回中国地方社会保険医療協議会総会事前説明
7月18日（木）

（豊見専務理事）

ア. ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）打合会

6月26日（水）・7月17日（水）

レセコンに関するアンケートをとり、上位5社（E M・三菱・コスモシステムズ・パナソニック・日立）のメーカーと、医師会との担当者とで打合をした。

（青野常務理事）

ア. 日本薬剤師会平成25年度医薬分業対策担当者全国会議（資料8）

7月7日（日）於 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

「患者から見た薬剤師に対する期待」としての基調講演等があり、医薬分業本来の薬剤師のあるべき姿・後発品の使用促進等グループディスカッションが行われた。今後、支部での伝達をどのようにするか、検討する予定である。

（重森常務理事）

ア. ひろしま健康づくり県民運動推進会議総会

5月27日（月）於 広島県健康福祉センター

24年度の事業報告・収支決算、25年度の事業計画が協議された。昨年度の事業としてひろしま健康コンクール等が開催されたことの報告。25年度の計画としては、ひろしま食育健康づくり実行委員会・がん健診にいこうよ推進会議・禁煙支援ネットワーク等から報告があったと報告された。

（谷川常務理事）

ア. 広報委員会

7月3日（水）9月の会誌の原稿依頼についての会議があった。

（二川常務理事）

ア. 第8回食育推進全国大会

6月22日（土）・23日（日）於 広島市南区民文化センター外

開会式に10名程度で参加し、県立広島大学では医師会・歯科医師会等と同じブースでポスター展示をしたと報告された。

（松村常務理事）

ア. ピンクリボンキャンペーン in 広島実行委員会

7月18日（木）於 本通ドムス

ピンクリボンdeカーブへの協賛のお礼と報告があった。引き続き10/26に開催されるピンクリボンdeサンフレッヂへの協力要請があった。サンフレッヂの時は、会員へも広報して参加協力をお願いすることも検討したいと報告された。

【指導】

ア. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担

当者の個別指導

6月26日（水）於 広島合同庁舎（豊見専務理事）

一包化について薬剤師が必要と認めて医師の了解を得た場合に算定できるということを主張しておいたので、今後の立ち会いに反映されるであろうと報告された。

イ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導

7月4日（金）於 広島合同庁舎（重森常務理事）

残薬確認をした結果について記載がないこと。タケプロンやビタミン剤の長期使用・長期投与について確認をするようにとの指導があったと報告された。

ウ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導

7月11日（木）於 広島合同庁舎（松村常務理事）

取り組み方・姿勢等が、完璧であるとされた薬局があったと報告された。

（石原事務局長）

ア. TPPについて考えるシンポジウム（資料9）

7月5日（金）於 広島県民文化センター

TPP反対の世論形成に向けてのシンポジウムで、ほぼJA関係者であった。

イ. 平成25年度第1回広島県保険者協議会（資料10）

7月10日（水）於 国保会館会長・副会長の選任議事の通り進行した。

特定健診受診率が広島県はワースト1なので、広報し、啓発していく必要があるとの報告があった。

2. その他の委員会等報告事項（野村副会長）

（1）薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック講演

6月21日（金）於 三原薬剤師会館

原田情報センター長が出席した。

（2）第62回“社会を明るくする運動”広島県推進委員会街頭広報活動

7月5日（金）於 エールエール広場

中尾主任が出席した。

（3）支部等総会報告

ア. 尾道支部総会6月22日（土）於 しまなみ交流館

イ. 広島佐伯支部総会6月25日（火）於 ミスズガーデンパンケットルーム

ウ. 三次支部総会6月28日（金）於 三次グランドホテル

エ. 広島県青年薬剤師会総会6月30日（日）於 広島県薬剤師会館

3. 審議事項

（1）広島県食育推進功労者表彰の実施について（資料

- 11) (野村副会長)
提出期限：7月29日（月）
(初めて) 推薦しないこととされた。
- (2) ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）について（豊見専務理事）
広島県と医師会がネットワークを作るにあたり、薬局の調剤データをサーバーにあげてほしいとの依頼があり、レセコン業者を招いて協議をしていくが、維持費もかかり、メリットがないと出来ないので、良いアイデアを募集したいと報告があった。
- (3) 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会特別会員の入会について（資料12）
入会金・年会費：不要（野村副会長）
(医師会：内諾、歯科医師会：入会する、看護協会：依頼中) 入会することとする。将来的に費用が発生するようであれば再度協議することとする。
- (4) ひろしまフードフェスティバル2013における出展について（資料13）（野村副会長）
日時：10月26日（土）・27日（日）午前10時～午後5時
場所：広島城周辺及び中央公園（広島市中区基町）参加しないこととする。
- (5) 後援、助成及び協力依頼等について
ア. 平成25年度がん征圧月間の後援について（資料14）（野村副会長）
期間：9月1日（日）～30日（火）
主催：（公財）日本対がん協会、（公財）広島県地域保健医療推進機構外
後援：厚生労働省、文部科学省、日本癌学会、日本癌治療学会、広島県外
(毎年：承諾済)
後援することとする。
- イ. 健康サポートフェア2013の後援名義使用について（資料15）（野村副会長）
日時：9月14日（土）・15日（日）
会場：広島グリーンアリーナ大アリーナ・中会議室
主催：中国新聞社
特別協賛：ハーティウォンツ
(平成22年承諾、平成23年・24年断る)
後援しないこととする。

4. その他

- (1) 次回常務理事会の開催について（野村副会長）
8月22日（木）午後6時（議事要旨作製責任者【予定】重森友幸常務理事）とする。
- (2) 広島県緩和ケア支援センター地域在宅緩和ケア推進協議会（新設）委員の推薦について
推薦者：青野拓郎常務理事（野村副会長）
(報告済み)
- (3) ひろしま食育・健康づくり実行委員会の委員の推薦について（野村副会長）

- 推薦者：同委員二川勝常務理事
同ワーキング会議委員井上映子常務理事
(報告済み)
- (4) リカバリー・パレード「回復の祭典」inヒロシマ
開催における協賛・後援名義の使用について
日時：9月23日（月・秋分の日）（野村副会長）
場所：広島市青少年センター外
(医師会・歯科医師会へ確認：協賛金1口1,000円
×10口=10,000円送金済み、名義後援済み)
- 村上副会長より、入会申請を保留にしている会員への対処について、日本薬剤師会、広島県薬剤師会としての方針を伺いたいと話があり、まず、広島県薬剤師会として日本薬剤師会に会員資格についての質問書を出すこととした。

◆平成25年8月定例常務理事会議事要旨

日 時：平成25年8月22日（木）午後6時～午後7時15分
場 所：広島県薬剤師会館
出席者：前田会長、木平・大塚・野村・渡邊各副会長、有村・井上・谷川・豊見（敦）・中川・二川・政岡・松村・吉田各常務理事
欠席者：村上副会長、豊見専務理事、小林・重森各常務理事
議事要旨作製責任者：谷川正之

1. 報告事項

- (1) 7月定例常務理事会議事要旨（別紙1）
- (2) 諸通知
ア. 来・発簡報告（別紙2）
イ. 会務報告（〃3）
ウ. 会員異動報告（〃4）
- (3) 委員会等報告
(前田会長)
ア. 桑原正彦氏旭日双光章受章記念祝賀会並びに記念講演会
7月21日（日）於 ANAクラウンプラザホテル広島
イ. 広島県地域保健医療推進機構来会
7月23日（火）
ウ. 二葉の里移転に係る歯科医師会との打合せ
7月30日（火）於 広島歯科医師会館
- 工. 平成25年度広島県薬物乱用対策推進本部会議
7月31日（水）於 KKRホテル広島
- オ. 広島県健康福祉局医療政策課来会
8月1日（木）
- カ. 平成25年度第3回広島県地域医療再生計画推進委員会
8月2日（金）於 県庁・北館
- キ. 広島市原爆死没者慰靈式並びに平和祈念式
8月6日（火）於 平和記念公園

(木平副会長)

- ア. 平成25年度抗HIV薬服薬指導研修会
7月28日（日）於 広島県薬剤師会館参加者52名

イ. 広島県薬剤師会「地対協WG」

7月30日（火）
8月21日（水）

ウ. 地対協医薬品の適正使用特別委員会
8月9日（金）於 広島医師会館

(大塚副会長)

ア. 認定基準薬局運営協議会
7月25日（木）

(野村副会長)

ア. 「薬草に親しむ会」打合会
8月1日（木）

現段階で歩くコースが短いといったことから、参加人数が増えた時の問題等もあり、後日あいさつも兼ね、再度現地に行って検討することとなった。また、三次支部へも協力ををお願いすると報告された。

イ. 広島キッズシティ2013

8月3日（土）・4日（日）於 広島市中小企業会館両日120名

当日は、屋外での催しとなったが、当初予測していたよりも倍近い多くの参加者があり、盛況に終わったと報告された。

ウ. 便益労務提供改善の取り組みについて（資料1）
8月19日（月）

医療用医薬品卸売業公正取引協議会より、便益労務無償提供見直しの取り組みについて、当面凍結するとの連絡があった。広島県薬剤師会に於いては、会長名で便益労務無償提供の自肅のお願いをし、約8割ほどの改善も報告されているため、現段階では、報告を受けるまでとした。

(渡邊副会長)

ア. 第13回中国地方社会保険医療協議会総会
7月29日（月）於 広島合同庁舎

イ. 第58回中国地方社会保険医療協議会広島部会

7月30日（火）於 中国四国厚生局
問題となっている事例について意見が交換され、一部薬局が実施している医療費のポイント制については、中国四国厚生局による個別指導の強化をお願いすると報告された。

(青野常務理事)

ア. 広島県緩和ケア支援センター平成25年度地域在宅緩和ケア推進協議会第1回会議
8月12日（月）於 広島県緩和ケア支援センター（資料2）

(有村常務理事)

ア. 広島県薬剤師会介護保険研修会
7月21日（日）於 広島県薬剤師会館参加者159名

(谷川常務理事)

- ア. 平成25年度広島県合同輸血療法委員会
7月27日（土）於 KKRホテル広島

イ. 広報委員会

8月8日（木）・21日（水）

(豊見常務理事)

- ア. 日本薬剤師会医薬分業対策委員会（資料3）
7月24日（水）於 東京・日薬

10月17日からの一週間「薬と健康の週間」が始まるが、それに向け、全国統一事業の一環として医薬分業をきちんとやっているといったアピールを行っていくこととなった。きちんとおくすり手帳を確認すること等、初歩的なことが出来ていない薬局があることが問題であるため、それを出来るようにしていくことが主眼である。9月12日には各支部の担当者に集まっていただき協議することになっており、薬局に貼るポスターと文書、ハガキについては50枚づつ発送し、各薬局で取り組んでもらう施策である。なお、期間としては「薬と健康の週間」での取り組みとなっているが、年内いっぱいは進めていく方針であると報告された。

【指導】

- ア. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導

7月24日（水）於 広島合同庁舎（村上副会長）

- イ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の集団的個別指導

7月28日（日）於 KKRホテル広島（吉田常務理事）

- ウ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導

8月8日（木）於 広島合同庁舎（村上副会長）

- エ. 中国四国厚生局及び広島県による集団指導

8月18日（日）於 西区民文化センター

(石原事務局長)

- ア. 平成25年度北方領土返還要求運動広島県民会議総会（資料4）

7月25日（木）於 メルパルク広島

(有村常務理事)

- 協会けんぽより依頼があり、健康保険委員会の各委員に対して、ジェネリックの説明をしてほしいとの要請があったので了承したとの報告があった。

- 主に、後発医薬品調剤体制加算をとっている薬局について、中国四国厚生局のホームページに掲載されていることを報告された。

(木平副会長)

- 広大の院外処方箋が9月20日よりA4サイズになると報告された。

2. 審議事項

- (1) 支部長・理事合同会議の開催について（野村副会長）

開催日：11月16日（土）午後3時～

- 上記、日時で開催することとする。
- (2) 入会金について (資料5) (野村副会長)
会員委員会を8月27日(火)19時から開催し、審議することとされた。
- (3) 第34回広島県薬剤師会学術大会会員発表の演題募集について (木平副会長)
日時: 11月10日(日) 午前10時~ (予定)
場所: 広島国際大学吳キャンパス
申込数: 2題 (8月22日現在)
締切: 8月31日(土)
9月号県薬会誌にも演題募集を掲載することとし、締切り日を9月5日に変更することとされた。各支部へもすでに依頼しているが、口頭発表、ポスター、学生実習等について、演題を増やすようお願いされた。
- (4) 平成25年度薬事功労者及び薬事功労団体の知事表彰に係る被表賞候補者の推薦について
推薦締切: 9月5日(木) (資料6) (野村副会長)
各支部長、各役員へはすでに文書にて依頼済みである。9月9日(月)に選考委員会を開催することとする。
- (5) 第30回広島県薬事衛生大会実行委員の推薦について (資料7) (野村副会長)
推薦人数: 4名
推薦締切: 8月28日(水)
(昨年度委員: 大塚・加藤・野村各副会長、中川常務理事)
今年度は、渡邊副会長を新たに推薦することとし、大塚・野村各副会長、中川常務理事は昨年度に引き続き推薦することとされた。
- (6) 薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修会
(第1回) 及び一般用医薬品担当者全国会議の開催について (資料8) (野村副会長)
主催: 日本薬剤師会、日本薬剤師研修センター
日時: 10月6日(日) 正午~午後4時15分
場所: 慶應義塾大学薬学部(芝共立キャンパス)
(昨年度: 大塚副会長、奥本理事出席)
東部からは村上先生に出席者を決めていただくこととされ、西部からは吉田常務理事が出席することとされた。
- (7) 新聞広告について (資料9) (谷川常務理事)
9月7日(土) 中国新聞朝刊掲載
10月19日(土) 開催の「県民公開講座」と、10月20日(日) 開催の「薬草に親しむ会」について新聞広告を掲載することとする。また、県薬会誌9月号の裏表紙にもカラーで掲載するとされた。
- (8) 第2回リカバリー・パレード「回復の祭典」inヒロシマの周知及び参加について (資料10)
日時: 9月23日(月・秋分の日) 午後0時30分~2時 (野村副会長)
「依存症等心の病からの回復を祝う市民フォーラム」
- (広島市青少年センターにて入場無料)
集合場所・集合時間
: ハノーバー庭園(広島市中区基町) 正午
パレードコース
: ハノーバー庭園→相生通り→紙屋町→金座街→本通り→ハノーバー庭園
(名義後援・協賛¥10,000-済み)
当日は、大阪で日本薬剤師会学術大会が開催されているため、参加しないこととする。

3. その他

- (1) 次回常務理事会の開催について (野村副会長)
9月19日(木) 午後6時 (議事要旨作製責任者
【予定】重森友幸常務理事)
- (2) 平成25年度広島県四師会役員連絡協議会の開催日変更について (野村副会長)
日時: 10月25日(金)
[変更後]↓
日時: 10月9日(水) 午後6時30分~
場所: ANAクラウンプラザホテル広島
- (3) 平成25年度老人保健福祉月間の主唱について (資料11) (野村副会長)
期間: 9月1日(日)~9月30日(月)
主唱: 広島県ほか
(前年度主唱承諾: 本年度承諾済み)
- (4) 広島リウマチ・膠原病市民公開講座の後援名義使用について (資料12) (野村副会長)
日時: 9月29日(日)
場所: 広島国際会議場ヒマワリ
(前年度承諾: 本年度承諾済み)
- (5) ひろしま医療関連産業クラスター推進会議委員の就任について (野村副会長)
推薦者: 前田泰則会長
(報告済み)
- (6) 広島県がん対策推進協議会に係る委員の推薦について (野村副会長)
広島県がん対策推進協議会委員: 大塚幸三副会長
(継続)
〃 緩和ケア推進部会委員: 青野拓郎常務理事
(継続)
- (7) 第46回日本薬剤師会学術大会薬学生による公開シンポジウムについて (チラシ)
日時: 9月22日(日) 午後2時45分~6時 (野村副会長)
会場: 第17会場リーガロイヤルN C B 2階「松」
主催: 薬学生シンポジウム実行委員会

日付	行事内容
8月20日 火	保険薬局部会担当理事打合会
21日 水	<ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師会医薬品試験委員会（日本薬剤師会） ・広報委員会 ・広島県薬剤師会「地対協WG」
22日 木	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省医薬品第一部会（厚生労働省） ・第58回中国地区学校保健研究協議大会（島根） ・常務理事会
25日 日	認定実務実習指導薬剤師養成講習会
26日 月	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省医薬品第二部会（厚生労働省） ・ひろしま医療関連産業クラスター推進会議事前説明
27日 火	<ul style="list-style-type: none"> ・広島銀行来会 ・会員委員会
28日 水	<ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師会年金委員会（東京） ・日本薬剤師会学校薬剤師賞等選考委員会（東京） ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導（広島合同庁舎）
29日 木	<ul style="list-style-type: none"> ・便益労務提供改善の取り組みについて ・第59回中国地方社会保険医療協議会広島部会（中国四国厚生局） ・平成25年度第2回広島県医療審議会（県庁北館） ・がん検診サポート薬剤師養成研修会
30日 金	平成25年度第1回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会（広島ガーデンパレス）
31日 土	第39回広島県国保診療施設地域医療学会（広島市文化交流会館）
9月1日～30日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度がん征圧月間 ・平成25年度老人保健福祉月間 ・平成25年度食生活改善普及運動

日付	行事内容
1日 日	広島大学病院新診療棟開院記念式典（広島大学病院新診療棟・リーガロイヤルホテル広島）
2日 月	(株)健翔大木社長来会
3日 火	<ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師会平成25年度第3回情報システム検討委員会（日本薬剤師連盟会議室） ・第2回ひろしま医療関連産業クラスター推進会議（県庁北館）
4日 水	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県一斉防災訓練 ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導（広島合同庁舎） ・業務分担⑦担当役員打合会
5日 木	<ul style="list-style-type: none"> ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導（広島合同庁舎） ・広島県健康福祉局高齢者支援課来会 ・第4回認知症疾患医療センター研修会（ホテルグランヴィア広島）
5日・6日	平成25年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（あわぎんホール）
6日 金	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回呉生活習慣病地域連携パス研究会（呉阪急ホテル） ・広報委員会
7日 土	中国・四国薬剤師会会長会（高知）
8日 日	広島県女性薬剤師会総会
9日 月	<ul style="list-style-type: none"> ・広島リビング新聞社取材（お薬手帳について） ・会員委員会 ・選考委員会 ・第2回広島県治験等活性化検討会（県庁本館）
9月10日～12日	薬事情報センターおよび検査センター見学（実習生）
9月10日～16日	平成25年度自殺予防週間
10日 火	<ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師会第6回理事会（東京） ・業務分担①（県民の福祉・医療・保健衛生向上のための活動）担当理事打合会

日付		行事内容
11日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)打合会 ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導(広島合同庁舎)
12日	木	<ul style="list-style-type: none"> ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導(広島合同庁舎) ・平成25年度毒物劇物取扱者試験(安田学園キャンパス) ・中国四国厚生局指導監査課来会 ・第30回広島県薬事衛生大会実行委員会 ・がん検診サポート薬剤師養成研修会(呉市薬剤師会館) ・保険薬局部会支部担当者会議
13日	金	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省医薬品第二部会(厚生労働省) ・第52回(平成25年度)広島県身体障害者福祉大会(府中市文化センター) ・第779回社会保険診療報酬支払基金広島支部幹事会(支払基金広島支部)
9月15日～21日		平成25年度敬老の日・老人週間
15日・16日		<ul style="list-style-type: none"> ・第40回認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ中国・四国 in 広島(安田女子大学薬学部) ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013 in 広島(広島市立広島特別支援学校)
16日	月	平成25年度在宅医療推進医等リーダー育成研修(広島医師会館)
9月17日～19日		薬事情報センターおよび検査センター見学(実習生)
18日	水	<ul style="list-style-type: none"> ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導(広島合同庁舎) ・平成25年度アディクション(嗜癖)問題研修(三原市総合保健福祉センター) ・二葉の里移転整備に係る歯科医師会との打合会(広島県歯科医師会館) ・広島県警察本部来会

日付		行事内容
19日	木	<ul style="list-style-type: none"> ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導(広島合同庁舎) ・正・副会長会議 ・常務理事会
21日	土	<ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師会第3回都道府県会長協議会(会長会)(大阪) ・第46回日本薬剤師会学術大会歓迎セレブレーション(ウェルカムパーティー)(大阪)
22日	日	平成25年度全国薬剤師研修協議会実務担当者会議(大阪)
22日・23日		第46回日本薬剤師会学術大会(大阪)
23日	月	第2回リカバリー・パレード「回復の祭典」inヒロシマ(広島市青少年センター)
24日	火	平成25年度第2回公益社団法人会特別委員会
26日	木	<ul style="list-style-type: none"> ・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導(広島合同庁舎) ・第34回広島県薬剤師会学術大会実行委員会
27日	金	<ul style="list-style-type: none"> ・「薬草に親しむ会」現地挨拶(甲奴支所)(三次市) ・第60回中国地方社会保険医療協議会広島部会(中国四国厚生局)
28日	土	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度薬剤師禁煙支援アドバイザー講習会 ・中国四国医師会連合総会医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウム(リーガロイヤルホテル広島)
29日	日	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県薬剤師会介護保険研修会(第2回) ・高度管理医療機器継続研修会(エソール広島)
10月1日～11月30日		広島県麻薬・覚せい剤乱用防止運動

日付		行事内容
10月1日	火	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度第3回公益社団法人化特別委員会 第34回広島県薬剤師会学術大会会場下見（広島国際大学吳キャンパス6号館）
2日	水	中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導（広島合同庁舎）
3日	木	<ul style="list-style-type: none"> 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導（広島合同庁舎） 広島県薬剤師会学術大会出展打合会 第34回広島県薬剤師会学術大会打合会 日本赤十字社中四国ブロック血液センター見学会（日本赤十字社中四国ブロック血液センター） がん検診サポート薬剤師養成研修会（県民文化センターふくやま）
4日	金	広報委員会
6日	日	薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修会（第1回）及び一般用医薬品担当者全国会議（慶應義塾大学薬学部）
7日	月	広島県薬剤師会「地対協WG」
8日	火	<ul style="list-style-type: none"> 日本薬剤師会第7回理事会（東京） 平成25年度第1回がん対策協議会（県庁北館）
9日	水	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度広島県四師会社会保険担当理事連絡協議会（ANAクラウンプラザホテル広島） 二葉の里地区医療連携機関の懇談（ANAクラウンプラザホテル広島） 平成25年度広島県四師会役員連絡協議会（ANAクラウンプラザホテル広島）
10日	木	第780回社会保険診療報酬支払基金広島支部幹事会（支払基金広島支部）
10日・11日		平成25年度緩和ケア薬剤師研修（広島県緩和ケア支援センター）

日付		行事内容
11日	金	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度第1回ひろしま食育・健康づくり実行委委員会（県庁本館） 日本薬剤師会平成25年度医療安全対策全国会議（東京） 広島県高齢者支援課来会 医療・介護・保健情報等の活用による健康づくりの推進に向けた連携協力協定締結式（県庁北館）
13日	日	平成25年度広島県介護支援専門員実務研修受講試験（広島大学（東広島市鏡山））
13日・14日		認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ「第41回薬剤師のためのワークショップ中国・四国 in 岡山」（就実大学）
15日	火	薬局実習受け入れ実行委員会
10月17日～23日		薬と健康の週間
16日	水	中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導（広島合同庁舎）
17日	木	<ul style="list-style-type: none"> 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導（広島合同庁舎） 常務理事会
18日	金	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会法人設立15周年記念式典・講演会・記念コンサート・祝賀交流会（ホテルセンチュリー21広島） 広報委員会
19日	土	県民公開講座
20日	日	<ul style="list-style-type: none"> 薬草に親しむ会（三次市） 平成25年度学校薬剤師研修会（山口）

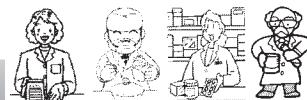
行事予定（平成25年11月）

- 11月3日(日) 島根県薬剤師会浜田支部「調剤事故防止研修会」(浜田)
- 11月6日(水) 全国健康保険協会広島支部「健康保険委員研修会」(はつかいち文化ホール(さくらピア))
- 11月7日(木) 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導(広島合同庁舎)
- // 第63回全国学校薬剤師大会(秋田)
- // } 第63回全国学校保健研究大会(秋田)
- 11月8日(金) } 第63回全国学校保健研究大会(秋田)
- 11月9日(土) 第37回福山大学薬学部卒後教育研修会(福山大学宮地茂記念館)
- 11月10日(日) 第34回広島県薬剤師会学術大会(広島国際大学)
- // 第66回広島医学会総会(広島医師会館)
- // // 会頭招宴(うを久)
- 11月12日(火) 日本薬剤師会第8回理事会(東京)
- // 広島県後期高齢者医療広域連合平成25年第1回運営審議会(国保会館)
- 11月13日(水) 日本薬剤師会第4回都道府県会長協議会(会長会)(東京)
- // 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導(広島合同庁舎)
- 11月14日(木) 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導(広島合同庁舎)
- 広島県配置医薬品連合会設立40周年記念祝賀会(広島市文化交流会館)
- 11月16日(土) 支部長・理事合同会議
- 11月19日(火) 全国健康保険協会広島支部「健康保険委員研修会」
(ふくやま芸術文化ホールリーデンホール、末広殿)
- 11月20日(水) // (ピューポートくれホテル)
- // 第54回広島県公衆衛生大会～健やかな暮らしをつくる人々の集い～
(はつかいち文化ホール)
- 11月21日(木) 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の新規個別指導(広島合同庁舎)
- // 常務理事会
- // 全国健康保険協会広島支部「健康保険委員研修会」
(広島市西区民文化センター、広島市南区民文化センター)
- 11月22日(金) 全国健康保険協会広島支部「健康保険委員研修会」(広島県民文化センター)
- 11月23日(土) } 一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定薬剤師
- 11月24日(日) } 短期集中研修会(広島大学病院管理棟)
- // 安田女子大学薬学部OSCE直前講習会(安田女子大学安東キャンパス9号館)

行事予定（平成25年11月～平成26年1月）

- 11月25日(土) 平成25年度青少年育成広島県民運動推進大会(広島県民文化センター)
- 11月26日(火) 全国健康保険協会広島支部「健康保険委員研修会」
(東広島商工会議所、三原リージョンプラザ)
- 11月27日(水) 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導(広島合同庁舎)
// 認定基準薬局運営協議会
// 全国健康保険協会広島支部「健康保険委員研修会」(三次市文化会館)
- 11月28日(木) // (庄原市民会館)
// 平成25年度独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議
(ひろしま国際ホテル)
- 11月29日(金) 平成25年度ドーピング防止ホットライン担当者研修会(仮称)(東京)
- 12月1日(日) 安田女子大学薬学部OSCE(安田女子大学安東キャンパス9号館)
- 12月5日(木) {
12月6日(金) } 日本薬剤師会平成25年度試験検査センター技術研修会(東京)
- 12月7日(土) 平成25年度薬事衛生指導員講習会(西部)
// {
12月8日(日) } 第18回広島県理学療法士学会(広島市南区民文化センター)
// 平成25年度薬事衛生指導員講習会(東部)(県民文化センターふくやま)
// 山口県薬剤師フォーラム2013(山口)
- 12月10日(火) 日本薬剤師会第9回理事会(東京)
- 12月15日(日) 第5回広島国際大学OSCE(広島国際大学呉キャンパス6号館)
- 12月19日(木) 常務理事会
- 12月22日(日) 2013年臨床漢方薬理研究会大会(第108回例会)(京都)
- 1月11日(土) 公益財団法人広島がんセミナー第2回先端的がん薬物療法研究会
(グランドプリンスホテル広島)
- 1月15日(水) 日本薬剤師会第10回理事会(東京)
// 日本薬剤師会第5回都道府県会長協議会(会長会)(東京)
// 日本薬剤師会新年賀詞交歓会(会場未定)
- 1月16日(木) 日本薬剤師会議事運営委員会(東京)

会員紹介 ⑧1



広島支部

宇根崎 里華
うねざき りか

4月から初めての仕事で日々奮闘しています。一日でも早く患者さんに信頼され、

安心を与えられる薬剤師になれるように努力していこうと思います。

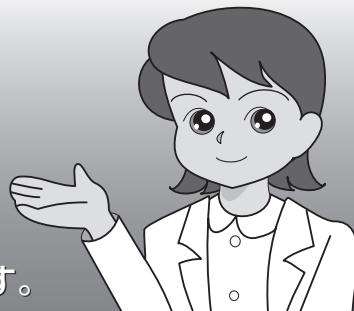
趣味は音楽を聞く事とホルンを吹く事です。よろしくお願いします。



会員紹介

原稿募集中

「会員紹介」への投稿をお待ちしております。



「Pharmacist's Holiday ~薬剤師の休日~」の募集で~す

広島県薬剤師会誌をもっともっと充実させようと、楽しい企画を登載しています。

タイトルは「Pharmacist's Holiday ~薬剤師の休日~」で、テーマはあなたが自由に描いてください。どのような企画かと申しますと、趣味や特技があってもそれをなかなか披露したり発表したりする場所がありません。そこで会誌の1ページを使い、絵画・写真・書道・得意料理のレシピ（お菓子も可）・俳句・サークル活動・休日の過ごし方など紹介して会員同士の交流に役立てていただき、また2カ月に1度の会誌を少しでも首を長く待っていただこうと考えてみました。趣味や特技は問いませんので、ドシドシ応募をお待ちしております。（できれば思い出やエピソードを添えてください。）

応募数を見て少しでも多く登載させていただこうと思っておりますので宜しくお願ひいたします。

作品は広島県薬剤師会事務局までお願いいたします。（とにかくなんでも応募してみてください。）



平成25年10月4日

社団法人広島県薬剤師会会长 様

広島県健康福祉局長
〒730-8511 広島市中区基町10-52
薬務課

麻薬取扱者年間届及び麻薬取扱者免許（継続）申請 に係る広報について（依頼）

薬務行政の推進については、日頃から御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、これらの事務の手続については、各対象者に対して別途連絡をしますが、貴会におかれましても、別紙により広報誌への掲載を行うなど、会員の方々に周知していただきますようお願いします。

担当 麻薬グループ
電話 082-513-3221 (ダイヤルイン)
(担当者 平本)

別紙

麻薬取扱者年間届出書及び麻薬取扱者免許申請について

1 麻薬取扱者年間届出書について

麻薬小売業者及び麻薬管理者は、麻薬及び向精神薬取締法第47条及び第48条の規定により、前年の10月1日から当年の9月30日まで1年間の麻薬取扱状況を県知事に届け出なければなりません。平成25年度の届出については、次のとおり行ってください。

○提出期限 平成25年12月2日（月）

○提出先

麻薬業務所の所在地	提出先
広島市	広島市保健所環境衛生課・各区分室
呉市	呉市保健所保健総務課
福山市	福山市保健所総務課
上記以外	県立保健所生活衛生課（保健所支所の場合は衛生環境課）

○提出部数 2部

○その他 期間内に麻薬の取扱いがない場合も届出が必要です。

不明な点等については、広島県健康福祉局薬務課又は管轄する県立保健所（支所）にお問い合わせください。

（広島市に麻薬業務所がある場合は広島県健康福祉局薬務課、呉市にある場合は広島県西部保健所呉支所、福山市にある場合は広島県東部保健所福山支所）

2 麻薬取扱者免許申請（継続）について

平成24年中に免許になった麻薬小売業者・管理者免許については、平成25年12月31日で有効期間が

満了します。平成26年1月1日以降も引き続き免許を必要とされる方は、次のとおり免許申請を行ってください。

○申請期限 平成25年11月15日（金）

（提出先により申請期限が異なる場合もありますので、御確認ください。）

○提出先

麻薬業務所の所在地	提出先
広島市	広島市保健所環境衛生課・各区分室
呉市	呉市保健所保健総務課
福山市	福山市保健所総務課
上記以外	県立保健所生活衛生課（保健所支所の場合は衛生環境課）

○提出書類

（麻薬小売業者）

- ・免許申請書
- ・組織規程図又は業務分掌表（法人の場合のみ。業務を行う役員は、薬事法で届け出た役員と同じ者とすること。）
- ・診断書（法人の場合は業務を行う役員全員）
- ・登記事項証明書（法人の場合のみ）

注：法人の場合で、全役員の診断書を提出する場合は、組織規程図又は業務分掌表の提出は不要です。

（麻薬管理者）

- ・免許申請書
- ・診断書
- ・勤務証明書（申請者が麻薬診療施設に勤務している場合）

○その他 免許証の有効期間を確認のうえ、手続を行ってください。

不明な点等については、広島県健康福祉局薬務課又は管轄する県立保健所（支所）にお問い合わせください。

（広島市に麻薬業務所がある場合は広島県健康福祉局薬務課、呉市にある場合は広島県西部保健所呉支所、福山市にある場合は広島県東部保健所福山支所）

3 その他

麻薬取扱者年間届出書あるいは麻薬取扱者免許申請（継続）に必要な書類は、広島県のホームページからも出力できます。

広島県ホームページ（<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>）「トップページ>健康・福祉>健康・医療>医療機関・医療人材>麻薬、覚せい剤原料等の申請および届出について」内にあります。

【問合せ先】

広島県健康福祉局薬務課	TEL082-513-3221
広島県西部保健所生活衛生課	TEL0829-32-1181
広島県西部保健所広島支所衛生環境課	TEL082-228-2111
広島県西部保健所呉支所衛生環境課	TEL0823-22-5400
広島県西部東保健所生活衛生課	TEL082-422-6911
広島県東部保健所生活衛生課	TEL0848-25-2011
広島県東部保健所福山支所衛生環境課	TEL084-921-1311
広島県北部保健所生活衛生課	TEL0824-63-5181

支部だより

大竹支部／広島佐伯支部／廿日市支部



〈大竹支部〉



大竹支部研修会

支部長 竹下 武伸

9月27日（金）大竹支部で、在宅服薬管理研修会が開催されました。

講師に、山口県薬剤師会在宅医療委員会の戸田康紀先生を、お招きして、『在宅での服薬支援』と、題して講演をしていただきました。

戸田先生は、在宅を実際に行っています。この研修は、これから私たちが在宅に、どのように取り掛かり、どのように働けばよいかを理解するためです。

在宅介護、在宅医療から始まり、管理指導を開始するためには、医師の指示型、薬局提案型、ケアマネ提案型、多職種提案型の四つのパターンがあることや、戸田先生が行っている訪問指導のきっかけや入る前に行うべきことについても話していただきました。

依頼のうちの2～3例をお話していただき、ケアマネジャーとのかかわり、医師とのかかわり、医師にお願いをすること、ケア会議の話もありました。そして、介護依頼者宅では、写真を交えてまず、薬の数がそろっていない残薬、医院、病院など数件で出ている薬、それを、自分のところで調剤していないものについては、そこに、連絡をして一包化の了承をとり、すべて一包化をしての写真、お薬カレンダー、服薬カレンダー、時計など小道具を使ってなど工夫もたくさん見せていただきました。

計画書、指示書、薬歴の書き方と、ためになることも多くあり、在宅訪問では、介護依頼者だけでなく、家族に注意することも話をされました。戸田先生のようには動けないかもしれませんのが、

とてもいい勉強になりました。

大竹支部でも、多職種連携が始まり研修会も始まったばかりです。薬剤師の役割を発信していくかなければならないと思いました。

大竹市多職種連携協議会



井上 善照

10月10日（木）大竹市多職種連携協議会研修会がサントピア大竹で開催されました。薬剤師会からは10名の参加で、全体で60数名が参加していました。

6月にこの協議会が設立され、今回が第1回目の研修会です。設立の時、「多職種が連携することの課題は？」と、グループワークでの意見交換がありました。その時の結果が今回示され、第一に「他の職種の業務内容について知りたい。情報交換がしたい」でした。今回の研修会は、その結果での内容です。

まず、職種の紹介です。医師、薬剤師、訪問看護師、社会福祉士そして介護支援専門員、今回はこの5種の仕事について代表が話をしました。薬剤師代表はふれあい薬局奥本先生でした。

その後、グループワークです。6人ずつのグループに分かれます、そして、各自、自己アピール個人ワークに記入します。それから、一人2～3分の持ち時間で発表をします。全員が終わるとグループの入れ替えです。次のグループでも2～3分ずつで同じことを発表します。全員が済むと、また、グループの入れ替えです。今回は、3回繰り返し行いました。

この研修会で、多くの職種の人と話ができたのは初めてです。日ごろ、薬局の中にいるときは、

医師、看護師くらいしか話をしません。今回の出席者の仕事でも知らない職種もあり、いい勉強になりました。また、それと同時に、自分たち薬剤師の仕事を知ってもらうためにも良い機会でした。

次回からの研修会にも、薬剤師、薬局の仕事を知つてもらうために続けて参加していきたいと思います。

＜広島佐伯支部＞



理事 池田 和彦

10月17日（木）に佐伯区民文化センターで開催された第152回広島佐伯薬剤師会集合研修会に参加しました。広島市薬剤師会理事でノムラ薬局管理薬剤師の岩本義浩先生による「医薬品を構造式からみる」と題してのご講演でしたが、薬剤師は街の科学者であるという原点に立ち返る意味でもとても意義のある研修会でした。

そして、10月20日（日）は広島市佐伯区民文化センターで市民公開講座が開催されました。広島市佐伯区地域保健対策協議会・広島市佐伯区医師会・佐伯歯科医師会・広島佐伯薬剤師会・看護協会広島西支部が主催する市民向けのイベントで、今回はシリーズ“健康生活設計”「健康とスポーツ」～運動器疾患と予防～と題してロサンゼルスオリンピック金メダリストでコメンテーターとしてもご活躍の森末慎二さんをお招きし「緊張とプレッシャー 私のスポーツ人生」の特別講演を、また広島大学大学院保健学研究院統合健康科学部門保健学専攻運動器機能医科学教授出家正隆先生には「スポーツによる障害とその予防 運動器を長く上手に使うために」をご講演いただきました。

話は変わって、9月22日（日）・23日（祝）に大阪市で行われた第46回日本薬剤師会学術大会にも参加しました。今回は日薬120周年記念ということもあり、1万5,000名を超える参加者でこれ

までにない大規模な大会となりました。分科会14（9月22日 13:45～15:45 リーガロイヤルホテルウエストウイング2階山楽I）ドーピング防止活動と公認スポーツファーマシストーその活動と将来展望ーの中で、日本アンチ・ドーピング機構アスリート委員会委員（アテネオリンピックハンマー投げ金メダリスト）室伏広治氏が「次世代に伝えたい“スポーツの精神とは”」という演題で基調講演をされていたことがとても印象的でした。2020年の東京オリンピック開催も決定し、今後更なる盛り上がりが期待されます。

また11月10日（日）には、さえき区民まつりが佐伯区民文化センター周辺で開催される予定です。例年同様おくすり相談コーナーをはじめ様々な催しを行います。今年は奇しくも広島県薬剤師会学術大会と日程が重なり、スタッフ不足に悩まされておりますが少数精銳で頑張りたいと思います。



たこ焼きも倍返し?? (大阪・道頓堀にて)



中之島にある日本銀行大阪支店

〈廿日市支部〉

～糖尿病～多職種による情報交換会

亀島 朋美

平成25年10月9日（水）JA広島総合病院糖尿病センター会議室にて
保健福祉士、看護師、栄養士、薬剤師、歯科衛生士、などの多職種コメディカルたちが集まって、糖尿病についての意見交換会をしました。

これは年に3回ほど開催されている、JAの医師が主催する、西部地区地域連携糖尿病研修会がきっかけで、コメディカルにも情報交換会があったら・・・という思いでJAのスタッフの方々が立ち上げたものです。前回1回目はまだ手探り状態で何から始めましょうか？というところからでした。今回2回目は、テーマをインスリンに絞りました。



メーカーさんの協力で、実際にインスリンを打ってみる、ただ打つだけでなく、リウマチ疾患のある患者さんや、視野狭窄、白内障のある患者さん、耳の不自由な患者様の疑似体験ができる小道具をつけて、インスリン注射の体験をさせて頂きました。リウマチ体験ではごわごわとした大きな軍手をはめて、右手首に重りをつけ、ひじにがっちりとしたサポーターをつけた状態で打ちました。視野狭窄や白内障は特殊なゴーグルをつけました。やはりハンディーを持ちながらの自己注射は難しいと思いました。とても貴重な体験でした。そのあと各専門分野に分かれての情報交換。保険薬局ではどうしても患者さんの深いところまでは聞けないことも多く、日ごろ疑問に思っていることなど、症例を用意して行き、いろいろ教えて頂きました。逆に病院勤務の薬剤師の立場から保険薬局の業務について聞かれたりしました。最後にまとめとして、各分野で話しあったことを発表しました。

栄養アドバイスはどのようにしているのか？看

護師はどのような指導をしているのか？歯科衛生士も患者さんの糖尿病の状態を知りたい。事例も含めて指導の方法の検討会などもやってみたい、など他の施設、ほかの専門分野についてもっと知りたいという思いを感じました。

薬剤師の参加が少なかったので、次回興味がある方は足を運んでみてはいかがでしょうか？

最後に有意義な意見交換会を企画して頂いたJAスタッフの方々へ、ありがとうございました。

諸団体だより

広島県青年薬剤師会



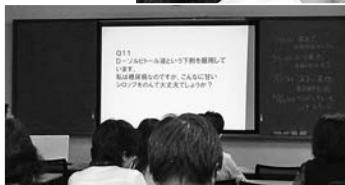
副会長 佐々木 薫英

初めまして。広島県青年薬剤師会・会計委員長の佐々木と申します。理事になって早5年（薬剤師になっても5年ですが…）、この度初めて「諸団体だより」に投稿させていただきます。

さて私事ですが、この度初めて「第46回日本薬剤師会学術大会 in 大阪」へ参加させていただきました。何もかも新しく、色々と刺激になりました。特にポスター発表では、薬局で取り組まれている業務や在宅への取り組みに関する内容を見て、自分だったらどうするだろうか…と考えさせられる2日間でした。参加された皆様はいかがでしたか？

そんな学会シーズン真っ只中の9月、広島県青年薬剤師会も知っピン月イチ勉強会を行いました。「CKD（慢性腎臓病）一維持血液透析を中心にして」と題して、中島土谷クリニックの権田恵子先生にお話しいただきました。前半の「この薬には要注意！」や、後半の「透析期の薬剤Q&A」は特に分かりやすく、実践的な内容でした。たくさん

んの方にご参加いただきました。ありがとうございました。



そして11月、12月は企画満載でお送りいたしますので、ご参加いただければと思います。

○安佐薬剤師会・広島県青年薬剤師会・安田女子大学 共催研修会

日時：11月7日（木）19時より

場所：安田女子大学にて

演題：「外来化学療法」

講師：広島赤十字・原爆病院 上野千奈美先生

昨年の秋に引き続き、今年も安佐薬剤師会にお声がけいただき、共催での勉強会を行うこととなりました。今年のテーマは、がんの外来化学療法。昔は副作用の管理が難しかったため入院での治療が一般的でしたが、最近では外来療法ができるようになります。患者さんにはQOLの向上になったと思います。皆さんとともに勉強させていただこうと思います。

○知っピン月イチ勉強会

日時：11月13日（水）19時半より

場所：広島県薬剤師会館 2階研修室にて

演題：「漢方の基礎」

講師：広島漢方研究会 木原敦司先生

毎回わかりやすいお話が好評の木原先生の勉強会。今年も、次の日から漢方の見方、勉強の仕方が変わると思います。皆様のお越しをお待ちしております。

○広島県青年薬剤師会忘年会 日程決定！

12月7日は毎年恒例の青年薬剤師会忘年会を行います（場所・参加費未定）。

「普段、青薬の勉強会は参加していないけど…」そんなことは気にされなくて大丈夫です。楽しく盛り上がって、様々な方との交流の場にしていただけたらと思います。

広島県女性薬剤師会

会長 松村 智子

第59回総会を9月8日（日）13時から薬剤師会館で開催しました。広島県健康福祉局薬務課 海嶋照美課長と広島県薬剤師会 前田泰則会長を来賓にお迎えしてご祝辞をいただきました。薬剤師に課せられているものが重くなってきたということは、それだけ期待されてきたということで、今後どうあるべきか、何をすればよいのかと考えさせられました。引き続いての特別講演は「腎臓のはなし—特にくすりによる副作用」と題して大阪薬科大学名誉教授・横浜薬科大学元教授 玄番宗一先生にお話しいただきました。時折気持ちをほぐしながらの先生の軽快なお話に、あっという間に2時間が過ぎました。腎臓はなぜ2つあるのかという疑問は、どうやらその働きと発生学的なところに答えがありそうです。懇親会には玄番先生にも参加していただき、「食べる」・「喋る」・「笑う」の繰り返しでした。



9月14日（土）19時から役員会をしました。今後の活動について、特に講師との距離を近くした「すすめ勉強会」を充実させることを話し合いました。最近では薬務課から「脱法ドラッグ」の話や、在宅医療に取り組んでいる先生に「地域における在宅」をお話いただきました。女性薬剤師会は様々な環境にいる薬剤師の集まりです。薬剤師の専門性を活かして、まちかどの救急箱であるということを前提にテーマを見つけていこうと思います。興味あるかたはご連絡下さい。一緒に勉強しましょう。また、11月17日（日）の日帰り旅行は岡山の由緒ある料亭で秋を楽しみます。歴史と紅葉が目と心に沁みること間違いなしです。



広島漢方研究会

第19回吉益東洞顕彰会報告及び 大好評！漢方初級講座のお知らせ

理事長 鉄村 努

広島出身で江戸時代の有名な漢方医である吉益東洞を顕彰する第19回吉益東洞顕彰会が、9月8日（日）に東洞碑（石碑）のある広島大学医学部広仁会館において広島漢方研究会が主催（共催：日本生薬学会、後援：東亜医学協会・日本東洋医学会・日本医史学会）して開催されました。

午前中は全国から公募した一般演題発表が行われ、当研究会からは木原敦司先生が「広島藩侍医・野坂完山～貧しい人々を救った我が村の吉方派～」と題して、文政5年（1822年）に広島で大流行したコレラの予防薬（漢方薬）一万五千貼以上を自費で各村に無料配布して人々を病から救つ



特別講演会場

た賀茂郡寺家村出身の英雄的医師の生涯について紹介した。

午後からは医学部内にある東洞碑前にて顕彰式を行いました。引き続き日本大学文理学部教授館野正美先生をお招きして特別講演「吉益東洞と中神琴渓」を聴聴し、東洞の影響を受けた琴渓の医術や思想について学びました。

当日は、琴渓の子孫にあたる中神源一先生も出席され会を盛り上げていただきました。

今年は全国から会員以外の方が20名以上出席され、当顕彰会の知名度が徐々に上がってきていることを実感しました。



東洞碑前にて

毎月第2日曜日に薬剤師会館2階で開催しています月例会1時限目の“漢方初級講座”は、「漢方初心者にもわかりやすい！」と大変好評で会員以外の方も多数出席されています。

【11月以降の講座予定】 1時限目 9:30～11:00
11月10日 血の不足がもたらす病態～西洋医学の貧血との違い（補血剤Ⅰ）

12月8日 体液不足からくる諸症状（滋陰剤）～
代表方剤・麦門冬湯

2月9日 当帰と柴胡を含む処方の幅広い適応症
状（補血剤Ⅱ）～加味逍遙散など

平成26年1月は新年シンポジウム開催のため初
級講座はお休みです。

“漢方薬を基礎から学びたい！”とお考えの方
はオープン参加も可能（1日参加費3,000円・漢
方薬、生薬認定薬剤師シール3点・予約不要）で
す。ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。詳
細は広島漢方研究会ホームページ、広島県薬剤師
会ホームページ研修会カレンダー、または事務局
までお問い合わせください。

広島漢方研究会事務局：薬王堂漢方薬局

TEL：082-285-3395

広島県医薬品卸協同組合
<日本医薬品卸勤務薬剤師会広島県支部>

医療用医薬品の新バーコードについて



株式会社サンキ 田中 信也

最近、医療用医薬品の外箱やPTP
包装にJANコードとは別のバーコー

ドが追加して表示されているのを見かけます。こ
れは平成18年9月に厚生労働省から「医療用医薬
品へのバーコード表示の実施について」医薬品製
造販売業者に対して通知があり、新しいバーコー
ドが表示されるようになったためです。

その目的は医療用医薬品の調剤包装単位ごと
(PTPシート1枚や注射アンプル1本単位等)に
新バーコードを表示してバーコードリーダー等で
読み取ることにより製品を識別し、取り違えによ

る医療事故の防止を図ること。製造・流通から患
者さんまでの流れを記録することにより、トレー
サビリティ（流通経路の追跡が可能な状態）を確
保することです。

調剤包装単位の新バーコードは品名・規格・10
錠シートやウイークリーシートであるか等を識別
でき、特定生物由来製品ではロットと有効期限も
表示されます。また販売包装単位(外箱)の新バ
ーコードは特定生物由来製品に加えて生物由来製品
のロットと有効期限の内容も表示されることにな
ります。新バーコード表示の状況は、注射薬の調
剤包装単位の表示率はほぼ100%となっており、
内服薬及び外用薬の表示も進められています。平
成27年7月以降に製造販売業者から出荷される
ものには全て新バーコードが表示されます。販売包
装単位に表示してある従来のJANコードは平成
27年7月以降に出荷されるものには表示してはい
けないことになっています。

一部の医療機関では注射薬の監査やピッキング
マシン返納時のチェックに新バーコードを利用し
ているところもあるようです。今後、内服薬と外
用薬にも表示が整えば、新バーコードによる調剤
過誤防止への利用が広がるかもしれません。

卸会社にとっても新バーコードにより特定生物
由来・生物由来製品のロット・期限の管理がし
やすくなるかもしれません。ただし、流通分野にお
けるIT化・コード形式の標準化が進められても、
最後は人間が行う部分が重要であることは変わ
りありません。誤納品がないように、正しいロット
管理が行えるようにより一層努めていかなければ
なりません。

広島県警察本部 安全安心推進課発行

平成25年10月7日

犯罪情報官 速報

テレビ局の取材を装う 不審電話に注意

愛知県において、実在するテレビ局に似通った名称の会社を名乗り、過去に詐欺の被害に遭ったことのある方に対して

特別番組を制作するので取材に協力してほしいと電話をかけたり、

取材に協力すれば、被害回復ができるという内容のパンフレットを送りつけたりする事案が発生しています。

☆☆被害を防ぐために☆☆

- テレビ局が被害回復の仲介をすることはありません。
- 一人で判断せず、家族や知り合いに相談しましょう。
- もしも上記のような電話がかかってきたり、パンフレットが送りつけられてきたときは、最寄りの警察署への通報をお願いします。

平成23年-平成27年
「なくそう犯罪」
ひろしま 新 アクション・プラン
～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標 日本一安全・安心な広島県の実現
行動目標 これまで最も被害の少ないまちを目指す
子ども・女性を犯罪から守る

メールマガジンで会員の皆さんにいち早く犯罪発生情報等をお知らせします。
携帯電話のバーコード読み取機能を使って右のQRコードを読み取ってください。

27警察署のうち、特定の警察署のメールだけを受信するように設定することができます。
また、情報種別については、「子ども・女性対象の事件、不審者情報」「防犯情報」「県警からのお知らせ」の3つから、受信するメールを自由に選択できます。



メールマガジン
会員登録

研修だより

薬剤師を・対象とした各種研修会の開催情報をまとめました。

他支部や他団体、薬事情報センターの研修会については、準備の都合もありますので事前にお問い合わせください。詳しくは研修会カレンダー (<http://www.hiroyaku.or.jp/sche/schedule.cgi>) をご覧ください。

広島県の研修認定薬剤師申請状況

平成25年9月末日現在 1,221名(内更新867名)

開催日時	開催場所	主催者	認定	その他 (参加費等)
研修内容・講 師	問い合わせ先			
11月 6 日(水)19:15~21:00 尾道国際ホテル 2 階「瑞宝の間」 尾道市医師会学術講演会 【一般演題】19:15~19:30 座長:医療法人社団神田会木曾病院 理事長 木曾昭彦先生 『骨粗鬆症治療薬テリパラチドの当院での使用経験』 演者:尾道市立市民病院整形外科診療科長兼技術科長 廣岡孝彦先生 【特別講演】19:30~21:00 座長:尾道市立市民病院整形外科診療科長兼技術科長 廣岡孝彦先生 『骨粗鬆症地域連携バスー済生会吹田病院の取り組みと成果と展望』 演者:社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院 院長補佐 黒川正夫先生 【JPALS研修会コード:34-2013-0147-101】	尾道薬剤師会 尾道市医師会 日本イーライリリー(株) 0848-44-7760	1	事前申込不要 会費:支部会員無料 非会員500円	
11月 7 日(木)19:00~21:00 サンピア・アキ 第1回漢方勉強会~なるほど、なっとく~ 演題:「漢方医学の基本ー虚実と寒熱ー」 講師:株式会社ツムラ広島支店医薬学部課 上田(あげた)雅之先生	(社)安芸薬剤師会 山中		会費1,000円	
11月 7 日(木)19:00~21:00 安田女子大学薬学部 9号館 第213-9回安佐薬剤師会研修会 1.安佐薬剤師会からのお知らせ 安佐薬剤師会会长長青野拓郎 2.広島県青年薬剤師会 演題:「外来化学療法(仮)」 講師:広島赤十字・原爆病院 上野千奈美先生	共催:広島県青年薬剤師会 安田女子大学薬学部 安佐薬剤師会 082-815-8111	1	一般参加費用:無料 申し込み:出来れば、 FAX・メールを下さい。 info@asa50.jp	
11月 8 日(金)19:30~21:00 福山大学宮地茂記念館 9 階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会~明日の治療に役立つ分かり易い漢方ー 演題:血の不足がもたらす病態(補血剤 I) 講師:小林宏先生(福山大学薬学部非常勤講師) テキスト:病態からみた漢方薬物ガイドライン(京都廣川書店) どの時期から参加しても非常に分かり易いユーモラスな研修会です。漢方を全く知らない人でも気軽にご参加下さい。	福山大学薬学部 084-936-2112(5165) 福山大学薬学部 岡村	1	受講料500円 ※事前予約不要 アクセス:福山駅北口徒歩 1 分※駐車場はございません。最寄りの駐車場をご利用下さい。	
11月 9 日(土)15:00~17:00 広島県薬剤師会館 4 階 第465回薬事情報センター定例研修会 1)薬事情報センターだより 2)特別講演「眼炎症性疾患および眼感染症」(仮)参天製薬株式会社	(社)広島県薬剤師会 薬事情報センター 082-243-6660	1	参加費:1,000円 できれば事前申し込みをお願いいたします。	
11月10日(日)9:30~16:00 広島県薬剤師会館 2 階 第579回広島漢方研究会月例会 9:30~11:00 『漢方入門以前~初步から始める漢方講座』(第 8 回) 血の不足がもたらす病態~西洋医学の貧血との違い(補血剤 I) 小林宏先生 11:00~12:30 『大塚敬節著・漢方診療30年』吉本悟先生 13:30~15:00 『勿誤薬室方函口訣』山崎正寿先生 15:00~16:00 『麦門冬湯』の処方解説と製剤実習 木原敦司先生 佐々木伸忠先生	広島漢方研究会 テツムラ漢方薬局 082-232-7756	3	広島漢方研究会会員無料、会員外の当日参加 3,000円(学生1,500円) 事前予約不要	

開催日時	開催場所	主催者	認定	その他 (参加費等)
研修内容・講 師	問い合わせ先			
11月10日(日)10:00～16:30 広島国際大学呉キャンパス6号館 第34回広島県薬剤師会学術大会開会 10:00～口頭発表 10:15～アイデアプレゼンテーション 12:06～昼食ポスター発表 12:30～特別講演 14:00～16:30 講演1 ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)と電子お薬手帳 社団法人広島県薬剤師会専務理事 豊見雅文 講演2 地域における薬剤師、保険薬局、地区薬剤師会の新たな役割 ～プライマリ・ケア医の期待～ 一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会理事 東久留米市医師会副会長 石橋幸滋先生	共催:広島国際大学 広島県薬剤師会 事務局 木下 082-246-4317	4	事前申し込み必要 参加費:予約2,000円 当日3,000円 学生(社会人を除く)は 無料	
11月13日(水)19:00～21:00 尾道国際ホテル2階「慶安の間」 尾道市医師会学術講演会 19:00～ 情報提供 『アポルプカブセル』グラクソ・スミスクライン株式会社 19:15～20:45 特別講演 座長:尾道市立市民病院泌尿器科診療科長 大枝忠史先生 演題:『前立腺肥大症における最新の知見(仮)』 講師:徳島大学泌尿器科 福森知治先生 【JPALS研修会コード:34-2013-0146-101】	尾道市医師会 グラクソ・スミスクライン(株) 尾道薬剤師会 0848-44-7760	1	事前申込不要 参加費:支部会員無料 非会員500円	
11月14日(木)19:00～21:00 三原赤十字病院エネルギー棟2階講堂 尾三地区緩和ケア薬学研究会 19:00～19:10 情報提供 『癌性疼痛治療の最近の話題』協和発酵キリン株式会社 座長:三原赤十字病院薬剤部 宇根精宏先生 三原薬剤師会センター薬局 森広亜紀先生 19:10～19:40 一般講演1 『症例発表1』 講師:尾道総合病院薬剤科 平井俊明先生 19:50～20:20 一般講演2 『症例発表2』 講師:公立みつぎ総合病院薬剤部 小畠地余子先生 20:30～21:00 一般講演3 『癌性疼痛の薬物療法について』 講師:尾道市立市民病院薬局 杉原弘記先生 【JPALS研修会コード:34-2013-0143-101】	尾道、三原、因島 薬剤師会 協和発酵キリン(株) 尾三地区緩和ケア 薬学研究会 尾道市立市民病院 薬局 杉原弘記 0848-47-1155	1	参加費100円	
11月14日(木)18:45～21:00 広島グランドインテリジェントホテル 広島県精神科病院協会看護部会・薬剤師部会合同研修会 18:45～19:15 講演:「リスパダールコンスタ導入と薬剤師業務」 講師:医療法人紘友会福山友愛病院薬局長 佐藤圭子先生 19:15～20:45 特別講演:「チーム医療で実践する副作用対策 …DIEPSSを中心に…」 講師:公益財団法人神経研究所附属晴和病院副院長 稲田俊也先生 20:45～ 研修レポート記入 ※当日はご参加確認の為、ご施設・ご芳名のご記帳をお願い致します。尚、ご記帳いただきました情報は、医薬品及び医学・薬学に関する情報提供の為に利用させていただく場合がございます。	広島県精神科病院協会 コメディカル委員会 薬剤師部会 広島県病院薬剤師会 ヤンセンファーマ(株) 医療法人社団共愛会 己斐ヶ丘病院薬局 橋本洋子 082-272-2126	1	※募集人数:50名(先着順:定員になり次第、締切り致します) ※参加費として500円 徴収させて頂きます	

開催日時 研修内容・講 師	開催場所	主催者 問い合わせ先	認定	その他 (参加費等)
11月16日(土)17:30~20:30 広島国際会議場大会議室「ダリア」 ひろしま桔梗研修会 講演1 『漢方薬の服薬指導・副作用』 講師:上田雅之先生(㈱ツムラ広島支店学術課) 講演2 『漢方との出会い~不定愁訴と漢方~』 講師:千福貞博先生(大阪府センブククリニック)	神戸薬科大学 広島生涯研修企画 委員会 090-7507-3902	2	参加費:1,000円 申込み:下記メールアドレスへ氏名、連絡先、出身校を記載して下さい。 d-hiro@kobepharma.ac.jp	
11月20日(水)19:00~21:00 三原医薬分業支援センター三原薬剤師会館 平成25年度第8回三原支部研修会 1.「院内感染対策の統編」 キヨーリン製薬グループキヨーリンリメディオ株式会社 2.高血圧症治療薬「イルトラ配合錠LD/HDについて」 シオノギ製薬	一般社団法人 三原薬剤師会 0848-61-5571	1	会費:非会員1,000円	
11月27日(水)19:00~21:00 尾道国際ホテル2階「慶安の間」 尾道生活習慣病関連講演会 19:00~【情報提供】 「選択的DPP4阻害剤オングリザ錠について」協和発酵キリン中国支店 座長:村上記念病院副院長 山辺瑞穂先生 19:15~【特別講演】 「糖尿病治療における新たな潮流~糖尿病治療薬における "The Longer the Better?" ~」 講師:岡山済生会総合病院内科主任医長糖尿病センター長 中塔辰明先生 【JPALS研修会コード:34-2013-0144-101】	尾道市医師会 協和発酵 キリン株式会社 尾道薬剤師会 0848-44-7760	1	事前申込不要 会費:支部会員無料 非会員500円	
11月27日(水)19:20~21:00 佐伯区民文化センター 第153回広島佐伯支部集合研修会 19:20~19:30 薬剤師会から報告事項 会長 樽谷嘉久 19:30~20:15 演題:「佐伯区HMネット電子版お薬手帳モデル事業」 講師:日本薬剤師会理事 豊見雅文先生 20:15~21:00 演題:「医薬分業の見える化~薬剤師を巡る動き~」 講師:広島佐伯薬剤師会理事八幡アゼリア薬局 池田和彦先生 【JPALS研修会コード:34-2013-0148-101】	広島佐伯薬剤師会 事務局 TEL・FAX 082-924-5957	1		
11月28日(木)19:00~ ピューポートくれ2階大会議室 第13回薬一薬連携勉強会 乳がんでの薬物治療について 19:00~19:05 挨拶司会者 19:05~19:25 演題:内服抗癌剤の服薬指導のポイントについて 講師:沢井製薬株式会社オンコロジー推進室 佐伯浩一 19:25~19:55 演題:(仮)乳がんでの薬物治療について 講師:国立病院機構呉医療センター副薬剤科長 小川喜通先生 19:55~20:25 演題:調剤過誤報告について 講師:社団法人呉市薬剤師会会長 大塚幸三先生 20:25~20:30 質疑応答および次回のお知らせ 【JPALS研修会コード:34-2013-0151-101】	国立病院機構呉医療 センター薬剤科 沢井製薬㈱ (社)呉市薬剤師会 0823-21-4695	1	参加費:呉市薬剤師会会員・学生無料、呉市薬剤師会非会員1,000円	

開催日時	開催場所 研修内容・講 師	主催者 問い合わせ先	認定	その他 (参加費等)
11月29日(金)18:45~20:45 広島市まちづくり市民交流プラザ北棟 5階研修室A,B 広島県病院薬剤師会精神科病院対策委員会研修会のご案内 18:45~19:00 「当社の精神科における活動と製品紹介」 共和薬品工業株式会社 19:00~20:30 『薬剤師業務の新たな展開』 愛知県桶狭間病院藤田こころケアセンター薬剤部長 宇野準二先生 20:30~20:45 研修レポート記入	広島県病院薬剤師会中小病院・療養病床・精神科病院対策委員会 広島県精神科病院協会コメディカル委員会薬剤師部会 共和薬品工業(株) 医療法人社団共愛会 己斐ヶ丘病院薬局 橋本洋子 082-272-2126	1		※ 参加費として500円頂きます。なお、当日は軽食を準備しております。
12月8日(日)13:00~16:00 広島県薬剤師会館 4階 第138回生涯教育研修会 1)DVD「エクア錠について」 2)講演「ウルティプロ吸入用カプセルについて」 講師:ノバルティスファーマ株式会社 金谷伸司 3)特別講演「COPDの薬物治療」 講師:マツダ病院呼吸器内科部長 大成洋二郎先生 【JPALSコード34-2013-0149-101】	ノバルティスファーマ(株) 一般社団法人 広島市薬剤師会 082-244-4899	2		受講料:県薬会員1,000円、非会員2,000円 申込:開催の3日前までに「氏名・勤務先・会員登録の有無」を電話かFAXにてご連絡ください。 FAX:082-244-4901
12月13日(金)19:30~21:00 福山大学宮地茂記念館 9階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会ー明日の治療に役立つ分かり易い漢方ー 演題:体液不足からくる諸症状(滋陰剤) 講師:小林宏先生(福山大学薬学部非常勤講師) テキスト:病態からみた漢方薬物ガイドライン(京都廣川書店) どの時期から参加しても非常に分かり易いユーモラスな研修会です。漢方を全く知らない人でも気軽にご参加下さい。	福山大学薬学部 084-936-2112(5165) 福山大学薬学部 岡村	1		受講料500円 ※事前予約は不要です アクセス:福山駅北口徒歩1分※駐車場はございません。最寄りの駐車場をご利用下さい。
12月14日(土)15:00~17:00 広島県薬剤師会館 4階 第466回薬事情報センター定例研修会 1)薬事情報センターだより 2)情報提供「ビデュリオンの使い方について」 アストラゼネカ株式会社 3)特別講演「糖尿病薬物療法の考え方」 講師:久安医院 大久保雅通先生	(社)広島県薬剤師会 薬事情報センター 082-243-6660	1		参加費:1,000円 できれば事前申し込みをお願いいたします。
12月18日(水)19:00~21:00 三原医薬分業支援センター三原薬剤師会館 平成25年度第9回三原支部研修会 1.「EPAの最近の話題」持田製薬 2.「ジェネリック医薬品についての情報」大原製薬	一般社団法人 三原薬剤師会 0848-61-5571	1		会費:非会員1,000円
1月10日(金)19:30~21:00 福山大学宮地茂記念館 9階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会ー明日の治療に役立つ分かり易い漢方ー 演題:当帰と柴胡を含む処方の適応(補血剤Ⅱ) 講師:小林宏先生(福山大学薬学部非常勤講師) テキスト:病態からみた漢方薬物ガイドライン(京都廣川書店) どの時期から参加しても非常に分かり易いユーモラスな研修会です。漢方を全く知らない人でも気軽にご参加下さい。	福山大学薬学部 084-936-2112(5165) 福山大学薬学部 岡村	1		受講料500円 ※事前予約は不要です アクセス:福山駅北口徒歩1分※駐車場はございません。最寄りの駐車場をご利用下さい。

広島国際大学薬学部10周年記念行事 第6回卒後教育研修会

日時:2013年11月3日(日) 13:00~17:00

場所:広島国際大学呉キャンパス6号館3階 6301教室

薬学部10周年記念講演会 「感染症の脅威とその対策」

- 1 アジアで発生し続いている鳥インフルエンザ
の脅威 14:30~16:00

京都産業大学教授
鳥インフルエンザ研究センター長 大槻 公一 先生
鳥取大学特任教授

座長 宇根 瑞穂 (広島国際大学薬学部教授・薬学部長)

- 2 プラクティカル医療関連感染対策
—本邦における手術部位感染の発生状況を中心に—
16:00~17:00

広島国際大学 準教授 佐和 章弘 先生
座長 塚本 豊久 (広島国際大学薬学部教授)

受講資格:薬剤師(出身校一切不問)、

広島国際大学 教職員および学生(全学部)

参加費:無料

参加申込方法:当日申込(予約不要) 受付開始13:30より

主催:広島国際大学薬学部

共催:(社)広島県薬剤師会・広島県薬剤師研修協議会
(公財)日本薬剤師研修センター

広島国際大学薬学部同窓会

後援:(公社)日本薬学会

*研修センターより2単位取得できます。

(単位取得は薬剤師免許保有者に限る)

「スモンの集い」のご案内

拝啓 秋らしい日が続いておりますが、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「スモンの集い」は、スモンの風化を防ぐためにスモンに関する調査研究班が主催し、全国で開催している講演ですが、今年度は11月4日（月・振替休日）に岡山市で開催する運びとなりました。岡山では平成18年度以来7年ぶりの開催となります。日頃スモンの研究にご協力いただく方々も是非ご参加下さい。

会期 平成25年11月4日 [月] 10:00-15:00
 会場 岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）2F レセプションホール
 〒700-0024 岡山市北区駅元町14-1 TEL: 086-214-1000
 主催 厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業））
 スモンに関する調査研究班 研究代表者 小長谷正明
 後援 岡山県、岡山市、岡山県医師会、岡山市医師会
 事務局 厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業））
 スモンに関する調査研究班 中国・四国地区リーダー
 国立病院機構 南岡山医療センター神経内科 坂井 研一
 （連絡先） 〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
 TEL: 086-482-1121 FAX: 086-483-2586
 関係者以外で参加をご希望される方は事務局までご連絡ください。

プログラム

開会

10:00

スモンに関する調査研究班 中国四国地区リーダー（国立病院機構南岡山医療センター神経内科医長）**坂井 研一**

I.挨拶

10:00-10:15

スモンに関する調査研究班 研究代表者（国立病院機構鈴鹿病院院長） **小長谷正明**
 厚生労働省健康局疾病対策課
 厚生労働省医薬食品局総務課医薬品副作用被害対策室

II.講演

10:15-10:45

座長：国立病院機構南岡山医療センター神経内科医長 **坂井 研一**
 1 スモンの歴史と現況（30分）
 国立病院機構鈴鹿病院院長 **小長谷正明**

III.講演

10:45-11:15

座長：国立病院機構徳島病院臨床研究部長 **三ツ井貴夫**
 2 スモンから学んだこと（30分）
 キナシ大林病院顧問 **早原 敏之**

IV.講演

11:15-12:15

座長：山口大学大学院医学系研究科神経内科准教授 **川井 元晴**
 3 中四国のスモン患者の現況（30分）
 国立病院機構南岡山医療センター神経内科医長 **坂井 研一**
 4 スモン患者への医療ソーシャルワーカーの関わりについて（30分）
 国立病院機構南岡山医療センター地域医療連携室 **川端 宏輝**

昼 食

12:15-13:00

V.講 演

13:00-14:00

座長：国立病院機構鳥取医療センター院長 下田光太郎

- 1 スモン患者の体験談 1 (15分)
- 2 スモン患者の体験談 2 (15分)
- 3 スモン患者の体験談 3 (15分)
- 4 討論 (15分)

VI.講 演

14:00-15:00

座長：香川大学医学部看護学科健康科学教授 峰 哲男

- 1 スモン患者さんのための嚥下リハビリテーション (30分)
川崎医療福祉大学学長 椿原 彰夫
- 2 高齢者における認知症とスモン (30分)
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学教授 阿部 康二

閉 会

15:00

国立病院機構鈴鹿病院院長 小長谷正明

会 場

岡山コンベンションセンター
(ママカリフォーラム)
2F レセプションホール
〒700-0024
岡山市北区駅元町14-1
TEL:086-214-1000

[JRでお越しの方]
JR岡山駅中央改札口から
徒歩約3分
[お車でお越しの方]
岡山空港から約30分
岡山I.Cより約30分



第37回 福山大学薬学部卒後教育研修会

主催：福山大学薬学部・福山大学薬友会

共催：(社) 広島県薬剤師会、広島県薬剤師研修協議会、広島県病院薬剤師会、
(公財) 日本薬剤師研修センター

協賛：(公社) 日本薬学会、日本薬学会中国四国支部

日時：平成25年11月9日(土) 午後2時30分より

場所：福山大学・宮地茂記念館 (JR福山駅北口)

〒720-0061 福山市丸之内1丁目2番40号

Tel: 084-932-6300

プログラム

14:00～受付開始

14:25～14:30 開会の辞

『これからの薬剤師に求められる真の役割とは？

—職能開拓と法律面の裏付け—』

座長 福山大学薬学部

塩見 浩人 先生

1) 14:30～16:00

フィジカル・アセスメントよりヘルス・アセスメント
—在宅医療より地域医療—

くろしお薬局グループ副社長

川添 哲嗣 先生

2) 16:00～17:30

薬剤師の職能開拓を法律面から支える
—どこまで可能で、どこから違法か—

三輪亮寿法律事務所所長

三輪 亮寿 先生

17:30～17:35 閉会の辞

- 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度による認定研修会(2単位)
- 広島県病院薬剤師会の認定研修会

- 受付開始時間：14:00
- 参加方法：当日受付(予約不要) 一般 1000円、福山大学卒業生 500円
- 問い合わせ先：福山大学薬学部卒後教育委員会委員長 塩見 浩人
TEL: 084-936-2112(内5216)、FAX: 084-936-2024
E-mail: shiom@fupharm.fukuyama-u.ac.jp
- ホームページ：<http://www.fukuyama-u.ac.jp/pharm/htmls/banner/sotsugo.html>



ひろしま桔梗研修会のご案内

漢方定例研修会

3年ぶりの千福先生の講演です。

漢方薬には、西洋薬にない驚く効果があることに、皆さんもお気づきのはずです。

今回は、患者さんの訴えに少しでも寄り添い、応えられるような漢方の使い方について、お話を聞きたいと思います。

全国でも人気の先生の第3弾の講演に、是非薬局のみなさんでご参加ください。

日 時： 平成25年11月16日（土）17:30～20:30

受付 17:00～（認定2単位）

場 所： 広島国際会議場 大会議室「ダリア」

広島市中区中島町1-5 TEL 082-242-7777

テーマ： 講演1. 『漢方薬の服薬指導・副作用』 17:30～18:20

（株）ツムラ広島支店 学術課 上田 雅之先生

講演2. 『漢方との出会い

～不定愁訴と漢方～』

18:30～20:30

大阪府 センプククリニック 千福 貞博先生

参加費： 1,000円

申込み： 下記のメールアドレスへ、氏名、連絡先、出身校を記載して下さい。

d-hiro@kobepharma-u.ac.jp （締切 10月31日）

※当日若干名は受付可能です。

主 催： 神戸薬科大学 広島生涯研修企画委員会

株式会社 ツムラ

問合せ： 倉田 薫 090-7507-3902

森川薬局対厳山店 0829-56-1913

次回2月研修会のおしらせ！

『在宅における緩和ケア（仮）』

講師：田中 良子先生

日時：平成26年2月23日（日）13:00～

場所：広島県薬剤師会館



一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会(広島)のご案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(P02)を取得いたしております。】

受講者の熱い要望にお応えし、これまで広島市、福山市で開催してきましたプライマリ・ケア認定薬剤師研修会。今秋は広島市の広島大学病院を会場に開催いたします。

今回は中国地方のプライマリ・ケア色の深い企画を、広島県・山口県・島根県・岡山県の講師とSPさんにご講演頂きます。2日間で8単位の認定単位取得が可能です。

またとない2日間です。全国から奮ってご参加ください。

要 項

1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
	共 催	広島県病院薬剤師会、社団法人広島県薬剤師会
2	研修期間	平成25年11月23日(土・勤労感謝の日)、24日(日)
3	研修会場	広島大学病院 臨床管理棟 3階 大会議室 〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3 アクセス: http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/hiroshimadaigakubyoin/index.html 構内図: http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/hiroshimadaigakubyoin/p_228005.html
4	認定単位	2日間で8単位 (薬剤師はプライマリ・ケア認定薬剤師の研修単位のみ付与)
5	受講資格	薬剤師、医師、医療職、医療関係者
6	定員	60名
7	受講申込	締切り: 11月14日(木)午後5時 専用FAX申込書による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、メールによる申込は受付けておりません。 FAX申込書: http://www.primary-care.or.jp/paramedic/pdf_ph/20131123_info02.pdf ※「受講申込書」の通信欄にある広病薬会員・広薬会員のどちらかに○をしてください。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	1日間参加 10000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は8000円 2日間参加 19000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は15000円 ※ 受講票送付後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
10	受講票送付	受講料の振込が確認された受講者には順次、受講票(ハガキ)を送付いたします。 ※ 受講票(ハガキ)を必ず当日ご持参ください。

※受講までの流れ

FAX 送信申込 → 受講案内送付(振込) → 入金確認済み → 受講票送付 → 受講票を当日お持ち下さい

この研修会は公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

* 申込先 * プライマリ・ケア認定薬剤師短期集中研修会事務局

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-5-904 株式会社ヘルストラスト内

TEL(03)3409-4037

FAX(03)3409-4075

プログラム(広島会場)

2013年11月23日(土・勤労感謝の日)

9:00~	受付
9:20~10:50	<p>①プライマリ・ケアと精神科診療について 講師:高橋輝道(医師)</p> <p>精神科は「特殊だ」「わからない」という意見をよく聞きますが、その一方でプライマリ・ケアを受診する患者の一割はうつ病との報告や、うつ病患者の八割以上は精神科以外を受診しているという報告があります。実際には、プライマリ・ケアにおいて精神的な問題を持つ患者は想像以上に多いと思われます。統合失調症や気分障害をはじめとした主な精神疾患の診断および向精神薬による薬物療法の実際を知りたいと思います。</p> <p>(細則による必須領域:A,F,J)</p>
11:00~12:30	<p>②知っておきたい精神科処方の読み方 講師:桑原秀徳(薬剤師)</p> <p>精神科の処方は個別性が高く適応外処方も多いため、「処方せんを読む」のもある程度の知識と訓練が必要です。そこで精神科で比較的よく見られるいくつかのケースを題材にそこからプライマリ・ケア薬剤師がどのようにしてどのような情報を得ることができるかグループディスカッションを通して学んでみましょう。また、精神科医をはじめとした他職種との上手なコミュニケーションについても考えてみましょう。</p> <p>(細則による必須領域:A,C,F,J)</p>
12:30~13:20	昼食(各自でご持参ください)
13:20~14:50	<p>③明日から使える医療面接・行動変容 講師:原田唯成(医師)・前田純子、中川一郎、池田寿生、坂田真砂子(SP:模擬患者)</p> <p>日常診療の中では、“よくない生活習慣が続いている”“たくさん薬が余っている”といった場面に出会うことがあります。正しい情報を説明し、折り合いをつけていくことが求められますが、「困ったなあ」と感じたことはありませんか? ちょっとしたコツや工夫を学ぶことで、私たちの苦手意識はきっと和らぐはずです。このセッションではSP(模擬患者)さんと一緒に、ロールプレイを通して楽しみながら学んでいきたいと思います。</p> <p>(細則による必須領域:A,B,E,J)</p>
15:00~16:30	<p>④総合診療・家庭医療について知ろう 講師:原田唯成(医師)</p> <p>これからの中高齢化社会、プライマリ・ケアを担う医師として、総合診療医・家庭医の活躍が期待されています。総合診療、プライマリ・ケア、家庭医療といった用語を目にすることが多くなっていますが、その違いやそれぞれの役割はどのようなものでしょうか。これからの中高齢化社会の医師育成の制度の変化とあわせてご紹介したいと思います。</p> <p>(細則による必須領域:A, J)</p>

2013年11月24日(日)

9:00~	受付
9:20~10:50	<p>⑤在宅医療における多職種連携 講師:小西太(医師)</p> <p>病院での医療、在宅での医療、施設での医療における、それぞれの医療の特徴、医師、患者、家族、コメディカル等の関係等について考えてみます。</p> <p>最近の医療はチーム医療が中心になってきています。在宅医療においても一人の患者さんに対していろいろな職種の方がチームとなって取り組んでいきます。そのチームの構成やそれぞれの構成員の役割、考え方について学びましょう。特に薬剤師さんに求められることを考えてみましょう。</p> <p>(細則による必須領域:A,G,J)</p>
11:00~12:30	<p>⑥在宅緩和ケアの実践(仮) 講師:小西太(医師)</p> <p>緩和ケアの基礎について学びましょう。世界や我が国における緩和ケアの歴史や考え方、ターミナルステージにおける症状緩和について考えてみましょう。使用される薬剤や起こりうる副作用、その対処法について学びましょう。</p>

	また、実際の症例を基に在宅における緩和ケアの実践についてお話しします。グループワークを通して自分たちにできることを話し合ってみましょう。 (細則による必須領域: A,D,G,J)
12:30～13:20	昼食（各自でご持参ください）
13:20～14:50	⑦糖尿病の基礎と食事療法のポイント 講師:松本祐二(医師) 石川香織(管理栄養士) 糖尿病治療において薬物療法や運動療法とともに食事療法を継続することは血糖コントロールを良好に保ち、適正体重を維持するためのツールとして糖尿病の食品交換表があります。食品交換表の食品分類について、実際の食品を見て、食べて、体験していただきます。患者様が誤解しやすい食品など日ごろの患者指導で役立ていただきたいポイントをご紹介します。 (細則による必須領域: A,E,J)
15:00～16:30	⑧インスリン療法の実際 講師:松本祐二(医師) 山田志美江(糖尿病認定看護師) みなさんはインスリン治療中の患者さんと、自宅でどんなふうに自己注射をしているか話をしていますか。白内障が進行したり老眼鏡が合わず単位確認に難渋したり、ダイアルを押し切れずインスリン内に血液が逆流したり、低血糖が不安で指示量を注射しないなどトラブルは多くあります。 今回の研修会では、実際に自分の体に針を刺すことや高齢者や白内障患者の視覚体験も行います。研修後には今まで以上に患者さんの立場に立った指導ができることが間違いないです。 (細則による必須領域: A,D,E,J)

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

高橋輝道(医師)	たかはしメンタルクリニック院長（広島県三原市）
桑原秀徳(薬剤師)	瀬野川病院（広島県広島市）日本病院薬剤師会認定精神科専門薬剤師
原田唯成(医師)	いしいケア・クリニック（山口県岩国市）
前田純子(SP)	NPO法人 韶き会いネットワーク・岡山SP研究会（岡山県岡山市）
中川一郎(SP)	NPO法人 韶き会いネットワーク・岡山SP研究会（岡山県岡山市）
池田寿生(SP)	NPO法人 韶き会いネットワーク・岡山SP研究会（岡山県岡山市）
坂田真砂子(SP)	NPO法人 韶き会いネットワーク・岡山SP研究会（岡山県岡山市）
小西 太(医師)	広島在宅クリニック（広島県広島市）
松本祐二(医師)	松本医院院長、NPO 法人島根糖尿病療養支援機構理事長(島根県益田市)
石川香織(管理栄養士)	松本医院(島根県益田市)
山田志美江(糖尿病認定看護師)	松本医院(島根県益田市)

(以上敬称略)

プライマリ・ケア認定薬剤師短期集中研修会(広島)

受講申込書 FAX 送信用紙

FAX 番号 03-3409-4075

宛先:プライマリ・ケア認定薬剤師短期集中研修会事務局

申込月日	平成 年 月 日 () 下記の当てはまる□に✓を入れてください		
会 員 研修届出	日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修開始届出 プライマリ・ケア認定薬剤師	□会員(会員番号)	□非会員 □届出済 □認定取得済
フリガナ 氏 名	【受講該當に○を付ける】 -23 日のみ・24 日のみ -23-24 両日		
所 属	施設名称	所属	
	郵便番号	〒 -	
	住 所		
	電話番号	- -	FAX 番号
※ 受講案内(振り替用紙)・受講票等を自宅宛に郵送希望の方は、上記の所属欄を記入の上 併せて下記欄もご記入ください。			
自 宅	郵便番号	〒 -	
	住 所		
	電話番号	- -	FAX 番号
→ 通 信 欄	-広病薬会員 -広薬会員		
事 務 局 記 入 欄	受 付	月 日	
	受講案内郵送	月 日	
	受講料納入	月 日	
	受講票送付	月 日	
	キャンセル	月 日	
	(備考)		

※ 申込書は必ず1名様ずつ明瞭にご記入をお願いいたします。

通信欄にある広病薬会員・広薬会員のどちらかに○をしてください。

治験に関する勉強会の開催について

広島県は、医薬品・医療機器等の臨床試験・治験など様々な段階での企業活動のサポートを実施しています。その一環として、治験業務に興味のある方々に対して、治験業務等について学べる場を設けることとしました。

医薬品等の承認審査が迅速化されている現在、薬局等においても、市販後の医薬品にかかる安全性の確認は重要であり、医薬品の臨床試験等について知ることは、非常に有意義であると考えます。

日常業務で治験に携わっておられない方々も、ぜひご参加ください。

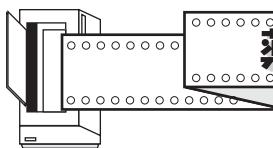
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 1 とき | 平成25年12月1日（日）13時～16時15分（開場12時30分） |
| 2 ところ | 広島県庁本館6階講堂（広島市中区基町10番52号） |
| 3 対象者 | 医師、薬剤師、看護師及び臨床検査技師その他治験業務に関心がある方 |
| 4 定員 | 70名程度 |
| 5 参加費 | 無料 |
| 6 主催 | 広島県 |

【プログラム】

時 間	内 容
13:00～13:05	開会挨拶
13:05～13:20	広島県治験体制整備事業について 広島県健康福祉局薬務課
13:20～14:20	医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令（GCP省令）について ※ 国立がんセンター中央病院 臨床試験支援室 治験事務局長 後澤乃扶子氏
14:20～14:30	休憩（10分）
14:30～15:00	治験業務の実際について（仮題） (SMOとの関係等) 広島厚生事業協会府中みくまり病院 胡田正彦氏
15:00～16:00	CRCの実務について 広島大学病院・臨床研究部 (1) FDA基準で有害事象の因果関係の判断を行う問題点(仮) 小島美樹子氏 看護師 CRC (2) 「緊急の危険回避を除く併用禁止薬の逸脱」経験調査 と その要因解析(仮) 宮中桃子氏 薬剤師 CRC
16:00～16:15	質疑応答

- 参加は、できるだけ事前申込みをお願いします。（当日申し込みも可）

問合せ先：広島県健康福祉局薬務課 TEL 082-513-3223



薬事情報センターのページ



原田 修江

小児急性中耳炎の治療（抗菌薬の使用について）

小児の急性中耳炎においては、近年、難治性の中耳炎が増加しています。その要因としては、免疫能の未発達や集団保育の増加に加えて、薬剤耐性菌の著しい増加が挙げられています。

小児急性中耳炎の起炎菌としては、肺炎球菌とインフルエンザ菌が合わせて約60%を占めており、肺炎球菌ではペニシリン耐性菌が半数近く、インフルエンザ菌ではアンピシリン耐性菌が6割以上を占め、特に低年齢ほど耐性菌の比率が高いことが報告されています。

従来は、小児に使用できる経口抗菌薬の選択肢が少なく、難治化した場合には注射用抗菌薬に頼らざるを得ない状況でしたが、関連学会からの要望を受けて2010年にニューキノロン系経口抗菌薬「トスプロキサシン（TFLX）」の小児用製剤が発売されました。TFLXは、特に肺炎球菌とインフルエンザ菌に対して優れた抗菌力を有し、難治性の小児急性中耳炎の治療薬として有用であることが臨床試験の結果で示されています。2013年7月に改訂された「小児急性中耳炎診療ガイドライン2013年版」（日本耳科学会、日本小児耳鼻咽喉科学会、日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会）においては、中等症および重症の治療薬として推奨され、期待されています。

◆「小児急性中耳炎診療ガイドライン2013年版」における治療アルゴリズム

本ガイドラインは、2006年、2009年に続く第3版となります。治療アルゴリズムは、診療スコアに基づき軽症（スコア5点以下）、中等症（スコア6～11点）、重症（スコア12点以上）に分けて示されています（図1～図3）。いずれも抗菌薬の有効性についての判定期間を5日後から3日後に短縮し、改善がみられた場合は同じ抗菌薬をさらに2日間投与、十分な効果が期待できない場合は早めに次の治疗方法を選択するよう変更しています。

中等症では、2次治療においてアモキシシリン（AMPC）高用量投与を除外し、鼓膜切開とAMPC高用量投与の併用に変更、3次治療において鼓膜切開とセフジトレニピボキシル（CDTR-PI）高用量の併用投与5日間と、鼓膜切開を行わない抗菌薬のみの治療として注射用抗菌薬に代わりテビペネムピボキシル（TBPM-PI）またはTFLXの常用量5日間投与を追加しています。

重症では、2次治療において鼓膜切開を行わない抗菌薬のみの治療としてTBPM-PIまたはTFLXの常用量投与を追加、さらに、鼓膜切開とAMPC高用量の併用投与が除外され、鼓膜切開に併用のクラブラン酸／アモキシシリン（CVA/AMPC）（1:14製剤）が高用量でなくなりました。3次治療においては、鼓膜（再）切開にTBPM-PIまたはTFLX常用量の併用投与を追加し、セフトリアキソン（CTRX）60mg/kg/日の分2または分1投与において未熟児を除外しています。

図1 小児急性中耳炎の治療アルゴリズム(軽症:スコア5点以下)

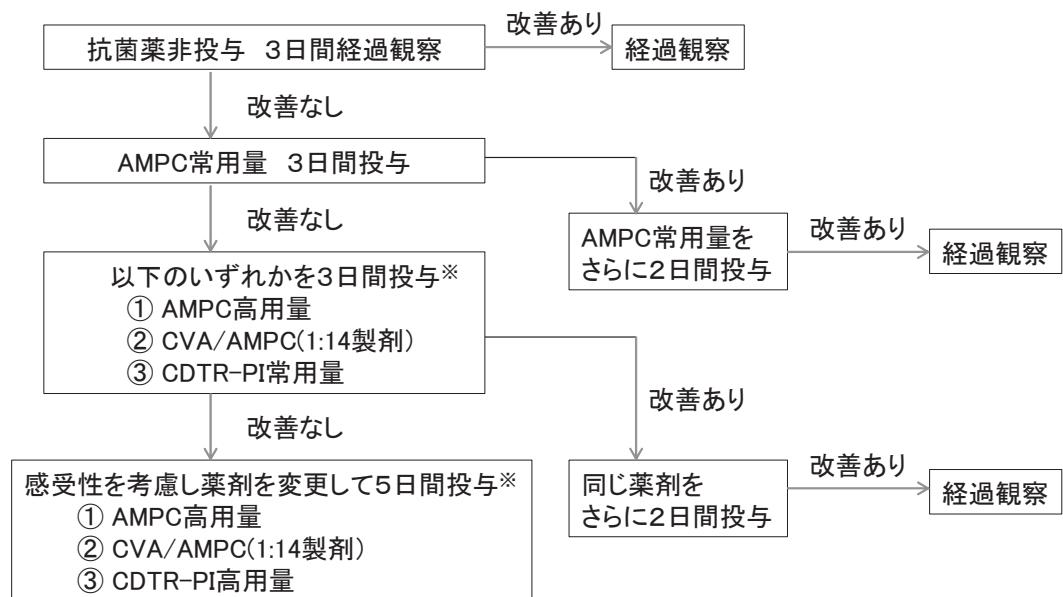


図2 小児急性中耳炎の治療アルゴリズム(中等症:スコア6～11点)

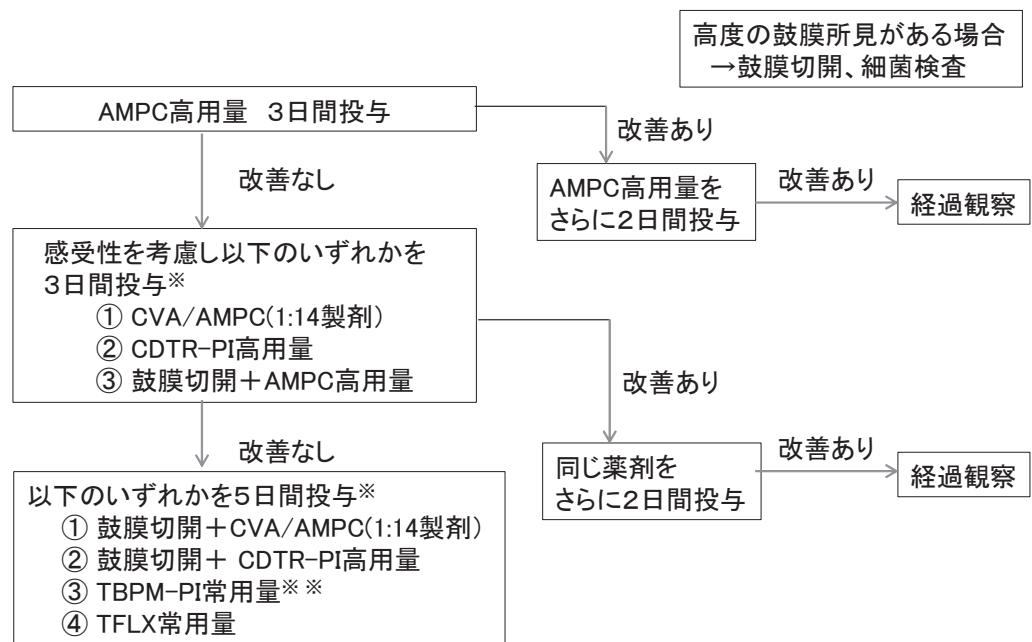
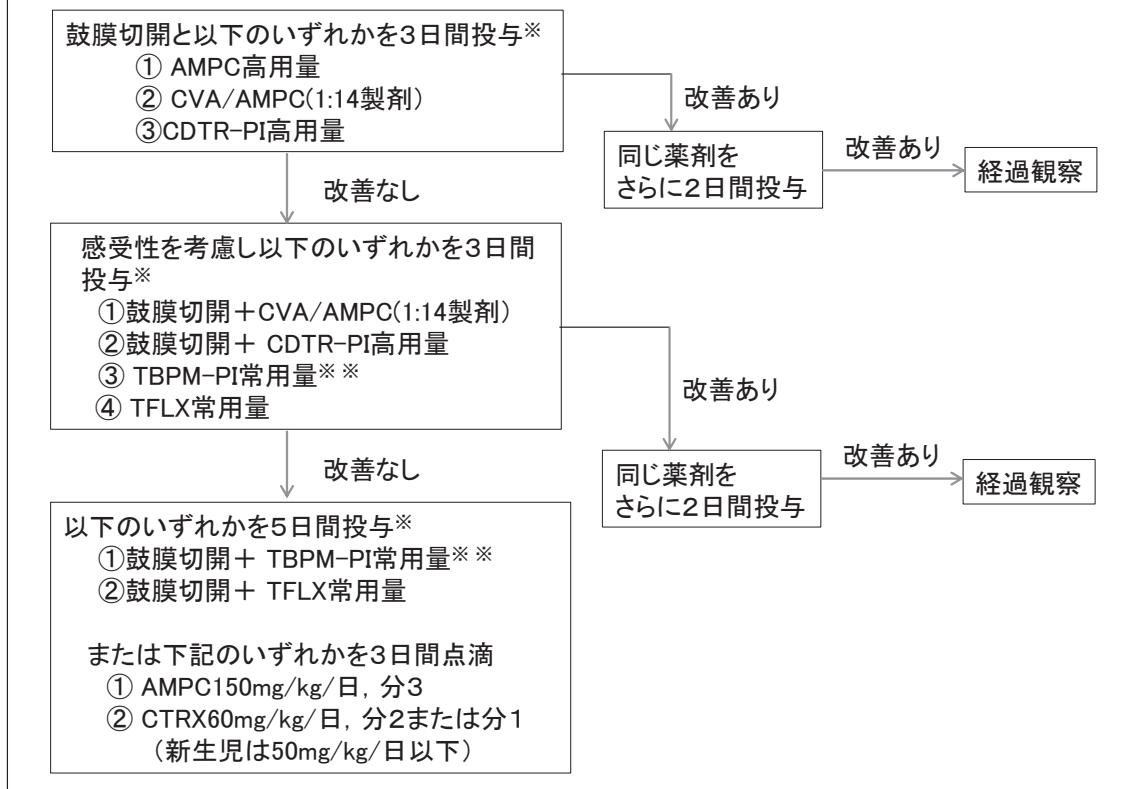


図3 小児急性中耳炎の治療アルゴリズム(重症:スコア12点以上)



(軽症～重症まで共通の注意事項)

- 1) 耳痛、発熱(38.5℃以上)ではアセトアミノフェン10～15mg/kg(喉用)使用可。
- 2) 鼻所見がある場合には鼻処理も併用する。
- 3) 上咽頭(鼻咽腔)あるいは耳漏の細菌検査を行う。
- 4) 抗菌薬投与時の下痢には耐性乳酸菌や酵酸菌製剤が有効な場合がある。
- 5) ※で経過が思わしくない場合には肺炎球菌迅速検査なども参考のうえ抗菌薬の変更を考慮する。
- 6) ピボキシル基を有する抗菌薬の長期連続投与については、二次性低カルニチン欠乏症の発症に十分注意すること。
- 7) ※※保険診療上の投与期間は7日間である。
- 8) 抗菌薬投与量は下記の用量を越えない。
 AMPC : 1回500mg, 1日3回1,500mg
 TBPM-PI : 1回300mg, 1日600mg
 CTRX : 1回180mg, 1日360mg
- 9) 経過観察は初診時より3週までとする。

<参考資料>

・Pharma Medica, 31(9), 93, 2013

お薬相談電話 事例集 No.85

難治性の口内炎で困っています

口腔粘膜病変には、口腔だけにみられる病変、皮膚疾患と関連のある病変、全身性疾患の1つの症状として現れる病変、先天性形態異常で特に生理的障害を示さないもの、悪性腫瘍などがあります。主な疾患をあげると表のようになります。

表. 主な口腔粘膜疾患

(ウイルス性口内炎)	(アフタ性口内炎)	(水疱性口内炎、びらん性口内炎、カタル性口内炎)
単純疱疹	ベーチェット病	尋常性天疱瘡
帯状疱疹	Sweet病	類天疱瘡
ヘルパンギーナ	クローン病	扁平苔癬
手足口病	周期性好中球減少症 (潰瘍性口内炎)	移植片対宿主病 (GVHD)
麻疹	急性壊死性潰瘍性歯肉炎	多形滲出性紅斑
風疹	全身性エリテマトーデス (SLE)	
(カンジダ性口内炎)	白血病	
口腔カンジダ症		

歯垢、歯石、齲歎、歯周病、不潔な義歯は口内炎の原因あるいは増悪因子となりますので、まずこれらの局所的因子の治療や除去が必要です。

次いで、確実な診断を得るために必要な検査をし、口内炎の原因に応じて抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬などによる治療を行います。また場合によっては免疫能、抵抗力を低下させている全身的背景の改善を図る必要があります。口腔粘膜疾患が感染によるものではないとわかったら、ステロイド軟膏を使用することが多いですが、難治性の口内炎の治療として漫然と長期継続すると、口腔カンジダ症の発症や増悪を来す要因となるので、その使用を中止する必要があります。局所の痛みに対して対症療法として鎮痛薬、表面麻酔薬の使用や、2次感染の予防として含漱や抗菌薬の投与が行われる場合もあります。グルタミン含有製剤の外用が難治性口内炎に著効を示した症例も報告されています。好中球の活性酸素産生が、アフタや種々の口内炎を増悪することが明らかとなっており、この作用を抑制する目的でレバミピド、アゼラスチン塩酸塩、イルソグラジンマレイン酸塩などの経口使用も試みられています。また、ある種の口腔粘膜疾患は低出力のレーザー治療で、痛みが和らぎ、再発を防げることがあります。

がん治療中では時に、直接またはフリーラジカルにより粘膜障害が惹起されたり、白血球減少に伴う感染に起因して口内炎ができます。現在、がん化学療法および放射線療法時の口内炎発症予防を目的として、口腔内冷却法の他、真水、アロプリノール、カモスタッフメシル酸塩、レバミピド、ポラプレジンなどによる含漱などが行われています。

【参考資料】医薬ジャーナル48(1)2012, 48(6)2012, 月刊薬事54(1)2012, がん治療副作用対策マニュアル(南江堂), <http://medical.nikkeibp.co.jp>, <http://merckmanuals.jp/>

医薬品・医療機器等 安全性情報

Pharmaceuticals
and
Medical Devices
Safety Information
No.304・305

厚生労働省医薬食品局

No.304 目次

1. 医療機関・薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査について	3
2. 重要な副作用等に関する情報	14
1 ゴリムマブ（遺伝子組換え）	14
3. 使用上の注意の改訂について（その248） パリペリドン他（5件）	16
4. 市販直後調査の対象品目一覧	18

No.305 目次

1. ヒドロキシエチルデンプン含有製剤による腎機能障害等について	3
2. 妊娠と薬情報センター事業について	7
3. 重要な副作用等に関する情報	12
1 アログリップチン安息香酸塩含有製剤	12
2 バルサルタン含有製剤	14
3 ビルダグリップチン	17
4 黄連解毒湯、加味逍遙散、辛夷清肺湯	18
4. 使用上の注意の改訂について（その249） イソフルラン他（13件）	21
5. 市販直後調査の対象品目一覧	26

この医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省において収集された副作用等の情報をもとに、医薬品・医療機器等のより安全な使用に役立てていただくために、医療関係者に対して情報提供されるものです。
医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能です。

平成25年(2013年) 8・9月 厚生労働省医薬食品局

◎連絡先

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省医薬食品局安全対策課

電話 { 03-3595-2435 (直通)
 { 03-5253-1111 (内線) 2755、2753、2751
 { (Fax) 03-3508-4364

検査センターだより



～レジオネラ～

後藤 佳恵

最近、全国的にレジオネラ症患者の発生が相次いで報告されています。特に大型公衆浴場での循環式浴槽水が感染源とみられる集団発生が多発しています。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌の感染によって起こる感染症で、肺炎を中心とする「レジオネラ肺炎」と、肺炎にならない自然治癒型の「ポンティアック熱」の2つの病型があります。数日で軽快するポンティアック熱に比べ、特に問題となるのが、レジオネラ肺炎で、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛、意識障害などの症状があり病勢の進行が早く致死率の高い感染症で医療機関への受診が遅れ、有効な抗生素療法が間に合わないと、腎不全や多臓器不全を起こして死亡する場合もあります。

感染源としては、冷却塔、循環式浴槽、給湯設備、加湿器、噴水等修景用水などの水しぶきができる設備が報告されています。感染は汚染水のエアロゾルの吸入のほか、汚染水の吸引、嚥下・経口感染等が考えられますが、健康な人の発症はまれです。ただし乳幼児や高齢者、免疫力の低下した人などは感染する危険性が高くなる傾向にあります。また男女別では男性が圧倒的に多く(8割以上)報告されています。人から人へは感染しませんが、共通の感染源から複数の人が集団感染するのが特徴です。感染する菌量については、人により感受性が異なり一概に決めることはできません。

レジオネラ症は症状のみから診断することは困難ですので、レジオネラ症のような症状がある場合は、すぐに医療機関を受診することをお勧めします。医師にその症状を伝える時に、渡航歴の有無や入浴施設の利用歴等も伝えれば診断の参考となります。早期に診断されれば抗生素による治療が可能です。

また感染症法における取り扱いは、全数報告対象(4類感染症)であり、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出なければなりません。患者の年間報告数は増加傾向にありますが、これは近年、患者の尿中に排泄されるレジオネラ菌の抗原を検出するキットが市販されるようになり、今まで診断が難しかった肺炎の原因が、レジオネラ菌による肺炎と診断されるようになったため、報告数が増加している可能性が考えられますが、このことについては、現在国で解析が進められています。

レジオネラ属菌は、自然界の土壌と淡水に生息するグラム陰性の桿菌で、ほとんどの菌種が極鞭毛を持ちます。増殖因子としてL-시스チンと鉄を要求し、ほとんどの糖を酸化も発酵もせず、エネルギー源としてアミノ酸を利用しています。一般に20～50℃で増殖し至適発育温度は36℃です。アメーバなどの原生動物の体内で増殖するため、これらの生物が生息する生物膜(バイオフィルム)の内部にレジオネラ属菌が保護されています。ゆえにレジオネラ属菌を身の回りから完全に除くことは困難です。温水環境では、アメーバとの共存により急速に菌が増殖します。予防としては、感染源となる設備や器具の衛生管理によって菌の増殖を防ぐことが重要です。

広島県では条例により公衆浴場等での水質検査の強化が図られており、レジオネラ属菌は10cfu/100mL未満という基準が設定されています。当検査センターでも、公衆浴場の浴槽水等のレジオネラ属菌検査(定性)を実施しています。一般的な細菌検査用培地には生えず、発育に時間がかかるため専用培地で36℃、5日以上の培養が必要で、最終判定は10日ぐらいが目安ですが、気になった時はお問い合わせください。

参考文献：広島県立総合技術研究所保健環境センター HP/広島市感染症情報センター HP/国立感染症研究所HP/厚生労働省HP/広島県薬剤師会誌No.172, No.226

Pharmacist's Holiday ~薬剤師の休日~

青春のポケツ

羅 焚 屋

万年筆研究会に所属して数年経つが、万年筆を所持したいと希望する方が、年々増加傾向（微々たるものですが）にあるように思える。

所望されるタイプで圧倒的に多いのが、菱形ペン先（オープンニブとも言う）で大柄なボディのもの（40年くらい前は、クラシックタイプとも言われた）。

モンブラン149・146及びペリカン400・600・800等の所謂文豪タイプ（夏目漱石愛用の大正時代のオノト等）である。

また、依然として、有名メーカーの高級ラインナップもこのタイプである。

定価も、最低2万円台から天井知らずである。

現在、全盛のこのタイプも実は50年代半ばから70年代後半にあっては、ペン先のの小さいフーテッドニブ（パーカー21・ラミー2000等）・細身円筒形ボディの小型オープンニブ（アウロラ・アステイル等）に淘汰されかねない時期でもあった。80年代の前後、温故知新で149・146等を発端として、クラシックタイプの開発が精力的になり、今に至る。

それまでは、国内でニーズのあったのは、プラチナポケツに代表されるショートタイプと言われるものだった。中学生から普通のサラリーマンまで万年筆といえば、この時期はこのタイプが大多数であった。ショートタイプは、当時の国産メーカーの中心的ラインナップだった。

理由としては、同モデルのフルサイズよりショートサイズの方が、安価であること及び携帯により適していることが挙げられる。そして、当時の国内メーカーの販売スタイルが、薄利多売であったこと。

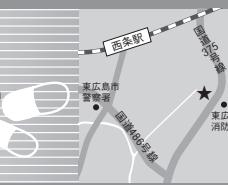
例えば、今だと5万以上するであろうスペックのものが、1万円前後であった。というわけで、今回は、プラチナプラチナシリーズのポケツ版のご紹介です。

ボディは*950-SILVER、ペン先はプラチナ合金で、当時の定価は1万円。因みにパイロットエリートショートは、925-SILVERキャップ・18金ホワイトゴールドで6千円だったと思う。

*950は銀の含有量が95%、925は92.5%



シリーズ 薬局紹介③



かなえ薬局
東広島市西条町助実
1182-4

かなえ薬局は東広島市西条町にある375号バイパス沿いの薬局です。スタッフは若い人中心で整形外科、内科の処方を主に受けています。特徴はドライブスルーで（西条には色々なドライブスルーがあります。クリーニング、おむすび、弁当etc 〈車がないと生活しにくい地域〉）当初の目的は歩行が困難な患者さんや子供連れのお母さんのためと思っていましたが、使用が多かったのは若い人で見事にもくろみは外れました。現在は3割程の患者さんの利用で喜ばれていると感じております。無菌調剤室もありますが、最近になって少し稼働する状況、無菌調剤を始めるとトイレにも行けないと嘆きが入ることもありますが、何とか地域のためにと頑張っている状況です。



次回は、呉支部 マエダ方術薬局さんです。

書籍等の紹介

「薬剤師による症候からの薬学判断」

著者: Brian Addison, Alyson Brown, Ruth Edwards, Gwen Gray
 監訳: 望月 真弓、山村 重雄、岡崎 光洋、
 岩月 進
 発行: 株式会社 じほう
 型: B5判、350頁
 価格: 定価 4,830円
 会員価格 4,350円
 送料: 1部 500円

「新一般用漢方処方の手引き」

監修: 合田 幸広・袴塚 高志
 編集: 日本漢方生薬製剤協会
 発行: 株式会社 じほう
 型: B5判、380頁
 価格: 定価 9,450円
 会員価格 8,400円
 送料: 1部 500円

「ハイリスク薬チェックシート 第2版」

監修: 荒木 博陽
 発行: 株式会社 じほう
 型: B5判、300頁
 価格: 定価 3,990円
 会員価格 3,570円
 送料: 1部 500円

「在宅医療Q&A 平成25年版」

監修: 日本薬剤師会
 発行: 株式会社 じほう
 型: A5判、197頁
 価格: 定価 2,415円
 会員価格 2,100円
 送料: 1部 500円

「OTC薬ガイドブック 第3版」

監修: 堀 美智子／福生 吉裕
 編集: 医薬情報研究所／株エス・アイ・シー
 発行: 株式会社 じほう
 型: A5判、950頁
 価格: 定価 4,200円
 会員価格 3,780円
 送料: 1部 500円

※価格はすべて税込みです。

斡旋書籍について「お知らせ・お願ひ」

日薬斡旋図書の新刊書籍につきましては、県薬会誌でお知らせしておりますが、日薬雑誌の「日薬刊行物等のご案内」ページにつきましても、随時、会員価格にて斡旋しておりますのでご参照ください。

また、書籍は受注後の発注となりますので、キャンセルされると不用在庫になって困ります。ご注文の場合は、書籍名（出版社名）・冊数等ご注意くださいようお願い申し上げます。

申込先: 広島県薬剤師会事務局

TEL (082) 246-4317 FAX (082) 249-4589

担当: 吉田 E-mail: yoshida@hiroyaku.or.jp

告 知 板

県薬事務局の年末・年始の休業のお知らせ

12月27日（金） 仕事納め
 12月28日（土）～1月5日（日） 休業
 1月6日（月） 仕事始め

訂正とお詫び

平成25年9月1日発行の本誌2013 Vol.38 No.5に以下のような不備がありました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

●P.4 「第34回広島県薬剤師会学術大会に参加を」 のタイトルが抜け落ちておりました。



薬剤師国家試験 正答・解説



7頁 問330

解説

- 1 処方医の氏名は記載しなくてよい。
- 2 処方せん発行日は記載しなくてよい。
- 3 薬剤の使用期限は記載しなくてよい。
- 4 調剤した薬局の所在地は記載しなければならない。
- 5 調剤日は記載する。

Ans. 4、5

14頁 問343

解説

- 1 第一類医薬品を販売できるのは薬剤師の常駐する店舗販売業や薬局のみである。薬剤師が、情報提供を購入者に積極的に説明する義務がある。
- 2 情報提供は、書面を用いて行う。
- 3 第二類医薬品は、薬剤師又は登録販売者が常駐する店舗のみで販売でき、極力購入者へ内容、成分、その他注意事項の簡明な説明が求められる（努力義務）。
- 4 必ずしも、書面である必要はない。

Ans. 3、4

44頁 問345

解説

200 ppm は $200/1,000,000 \times 100 = 0.02\%$ $\rightarrow 0.02/100 \times 3,000 = 0.6$
 すなわち 0.6 g の次亜塩素酸に相当する。
 一方、6 w/v% 次亜塩素酸ナトリウム消毒液は $6/100 = 0.06\text{ g/mL}$ であるから、0.6 g とるためには 10 mL をとればよい。

Ans. 3



本通商店街（広島市中区）に残る被爆建物の取り壊しを検討しているという記事を読んだ。

10年ほど前、旧山口銀行本通支店も解体されている。

コストはかかるかもしれないが、歴史的建造物はなるべく維持して欲しい。

<K-Z>

今年は台風の被害も各地でありましたが、広島は幸いにまぬがれました。

しかし、薬局はその代わりに台風並に忙しく夏バテになる暇？もなく、フル回転です。

涼しくなれば熱もさめるでしょうか？？？

<T²>

食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋…様々な秋があります。

今年の私は「自分磨きの秋」外見だけでなく、内面も。

スポーツで体型維持に心がけ、読書で知識・心を刺激し、食欲でお腹も心も満たし…

あつ(ーー)!! 要するに全部の秋だ～欲張りだった。 <AKN46>

今年の暑～い夏は身体へのダメージもなかなかのものでしたが、我が家の中も天井の布が垂れ下がり、ドアの内張りもベロ～ンと外れ、おまけにカーナビも熱でお艶過になってしまい、とどめにタイヤも急激な劣化でパンクしてしまいました。散々です…永く乗る気でしたが、もう治す気力もなくなり乗り換えることに～。剥がれたところはガムテープで貧乏臭く応急処置！残りのタイヤもいつパンクするか信用できず、ロシアンルーレットのようにビクビクしながら運転し、納車を待つ毎日です。

<B級コレクター>

9月は大阪で第46回の日薬学術大会、岡山で第17回の政令指定都市薬剤師会総会。10月は19日（土）の県民公開講座。20日（日）の薬草に親しむ会。26日（土）27日（日）はひろしまフードフェスティバル。11月10日（日）は県薬の学術大会と安芸区民祭。28日（木）は第30回広島県薬事衛生大会。12月1日（日）は安芸医学会。今年も行事に追われて来年を迎えるそうです。 (ま)

ほのかな金木犀の香りに誘われて、いつもの垣根に黄色い花を見つけた。小さな幸せを感じる…

<のりか>

温度の変化にのどが痛くなったり、服装に困ったりの日々が続いた今年の秋でした。

<ターボ>

一編集委員

野村 祐仁	青野 拓郎	二川 勝	松村 智子
吉田亜賀子	奥本 啓	池田 和彦	藤山 りさ
村上 孝枝	原田 修江	後藤 佳恵	

保険薬局ニュース

平成 25年 11月 1日

広島県薬剤師会保険薬局部会

Vol.21 No. 6 (No.118)

薬価基準収載医薬品（平成25年8月27日付）

(12成分25品目)

[内用薬]

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
イーケプラドライシロップ 50% (ユーシービージャパン)	レベチラセタム 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する抗てんかん薬との併用療法	50% 1g	253.90	<ul style="list-style-type: none"> 既存の製剤（錠剤）に新剤形（ドライシロップ剤）を追加。
イルトラ配合錠LD (塩野義製薬)  141 : 100/1	イルベサルタン／トリクロルメチアジド 高血圧症	1錠	130.50	<ul style="list-style-type: none"> アンジオテンシンII受容体拮抗薬（ARB）とチアジド系降圧利尿薬の配合剤。 ARB/降圧利尿薬配合薬では唯一のトリクロルメチアジド配合薬。 トリクロルメチアジドの先発医薬品であるフルイトラン錠は、1日2～8mgを1～2回に分割経口投与。 イルベサルタン単剤はアバプロ錠およびイルベタン錠であり、50～100mgを1日1回経口投与。1日最大投与量は200mg。 本剤LD錠はイルベサルタン／トリクロルメチアジドを100mg／1mg、HD錠は200mg／1mgを含有。1日1回1錠投与。
ルナベル配合錠ULD (ノーベルファーマ) NPC32	ノルエチスチロン／エチニルエストラジオール 月経困難症	1錠	327.90	<ul style="list-style-type: none"> 既存のルナベル配合錠LDと同様に月経困難症治療薬であるが、本剤はエチニルエストラジオール含有量が国内で最低用量の製剤。 卵胞ホルモン剤の低用量化は副作用低減が目的。 ルナベル配合錠LDと同様に、一相性製剤。 黄体ホルモンは、長期臨床使用経験のある第一世代のノルエチスチロン。

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
トピロリック錠20mg (富士薬品) 表: FY311 裏: 20	トピロキソスタッツ 痛風、高尿酸血症	20mg1錠	20.60	<ul style="list-style-type: none"> 非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害薬。 軽度～中等度の腎機能障害患者においても通常用量で使用可能。 1日2回経口投与。
トピロリック錠40mg (富士薬品) 表: FY312 裏: 40		40mg1錠	38.90	
トピロリック錠60mg (富士薬品) 表: FY313 裏: 60		60mg1錠	56.40	
ウリアデック錠20mg (三和化学研究所) 表: Sc341 裏: 20		20mg1錠	20.60	
ウリアデック錠40mg (三和化学研究所) 表: Sc342 裏: 40		40mg1錠	38.90	
ウリアデック錠60mg (三和化学研究所) 表: Sc343 裏: 60		60mg1錠	56.40	
アラベル内用剤1.5g (ノーベルファーマ)	アミノレブリン酸塩酸塩	1.5g1瓶	8,7867.30	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍組織を特異的に可視化する体内診断薬。 有効成分アミノレブリン酸は生体内物質。 アミノレブリン酸からヘムが合成される過程でプロトポルフィリンIX (PPIX) に代謝され、腫瘍組織に選択的に蓄積する。 従来法の白色光下による腫瘍切除術での残存注用を切除可能であり、腫瘍摘出率の向上が期待できる。
アラグリオ内用剤1.5g (SBIファーマ)	悪性神経膠腫の腫瘍摘出術中における腫瘍組織の可視化	1.5g1瓶	8,7867.30	
イーフェンバッカル錠50μg (帝國製薬) 表: [C] 裏: 0.5	フェンタニルクエン酸塩 強オピオイド鎮痛剤を定期投与中の癌患者における突出痛の鎮痛	50μg1錠	507.50	<ul style="list-style-type: none"> フェンタニルのレスキュー薬。 国内初のフェンタニルを有効成分とするバッカル錠。
イーフェンバッカル錠100μg (帝國製薬) 表: [C] 裏: 1		100μg1錠	708.10	
イーフェンバッカル錠200μg (帝國製薬) 表: [C] 裏: 2		200μg1錠	988.00	
イーフェンバッカル錠400μg (帝國製薬) 表: [C] 裏: 4		400μg1錠	1,378.60	
イーフェンバッカル錠600μg (帝國製薬) 表: [C] 裏: 6		600μg1錠	1,675.20	
イーフェンバッカル錠800μg (帝國製薬) 表: [C] 裏: 8		800μg1錠	1,923.60	

[注射薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
アセリオ静注液1000mg (テルモ)	アセトアミノフェン 経口製剤及び坐剤の投与が困難な場合における疼痛及び発熱	1,000mg 100mL1瓶	332	<ul style="list-style-type: none"> ・国内初のアセトアミノフェン点滴静注製剤。 ・投与速度を厳守（15分以上かけて静脈内投与）。
リキスミア皮下注300μg (サノフィ)	リキシセナチド 2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 ①食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤（ビグアナイド系薬剤との併用を含む）を使用 ②食事療法、運動療法に加えて持効型溶解インスリンまたは中間型インスリン製剤（スルホニルウレア剤との併用を含む）を使用	300μg 3 mL 1 キット	6,972	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で3番目のGLP-1受容体作動薬。 ・3製品のうち唯一、基礎インスリンとの併用が認められている。基礎インスリンと同じタイミングで投与可能。 ・ランタスと同じソロスタータイプのペンを使用。
オレンシア皮下注125mg シリンジ1mL (プリストル・マイヤーズ)	アバタセプト（遺伝子組換え） 関節リウマチ（既存治療で効果不十分な場合に限る）	125mg 1 mL 1 筒	27,171	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の製剤（点滴静注用製剤）に新投与経路製剤（皮下注製剤）を追加。 ・在宅自己注射が可能。
ポンビバ静注1mgシリンジ (中外製薬)	イバンドロン酸ナトリウム水和物 骨粗鬆症	1 mg 1 mL 1 筒	4,918	<ul style="list-style-type: none"> ・新有効成分のビスホスホネート系骨粗鬆治療薬。 ・月1回、1mLをワンショット静注する。
パージェタ点滴静注 420mg/14mL (中外製薬)	ペルツズマブ（遺伝子組換え） HER2陽性の手術不能又は再発乳癌	420mg 14mL 1 瓶	231,866	<ul style="list-style-type: none"> ・抗HER2ヒト化モノクローナル抗体。 ・トラスツズマブ（ハーセプチニン）と併用する。 ・トラスツズマブ以外の抗悪性腫瘍剤との併用は、臨床成績（添付文書記載）を熟知のうえで選択すること。 ・単独投与時の有効性・安全性は未確立。 ・調整時は日局生理食塩液以外は使用しない。他剤と混注しないこと。

[外用薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
ビソノテープ4mg (トーアエイヨー)	ビソプロロール	4 mg1枚	89.30	<ul style="list-style-type: none"> ・世界初の経皮吸収型β遮断薬。 ・1日1回貼付により安定した血中濃度を維持する。 ・ビソプロロールフルマロ酸塩はメインテート錠（先発品）。
ビソノテープ8mg (トーアエイヨー)	本態性高血圧症（軽症～中等症）	8 mg1枚	123.00	

国会レポート

「平成26年度政府予算の概算要求」



参議院議員
薬学博士 藤井もとゆき

昨年に続き、記録的な猛暑、豪雨に襲われた夏が過ぎ、秋風の季節を迎えました。地球温暖化が叫ばれており、農作物等への影響が心配されています。

さて、来年度の政府予算案を編成するための概算要求が、各省庁から出そろいました。厚生労働省の医薬関係予算の概算要求額は、約107億円となり、平成25年度予算額約90億円から18%増の要求となっています。

薬局・薬剤師関係についてみると、二つの新規項目が掲げられています。「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」と「一般用医薬品新販売制度の適正な運用の確保事業」です。ともに、6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」を受けての予算要求となっています。

「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業」の要求額は、約2.9億円となっており、セルフメディケーション推進のために、薬局・薬剤師を活用した健康情報の拠点の推進や在宅医療に関するモデル事業を実施すると説明されています。厚生労働省の説明資料によると、薬局を「地域に密着した総合的な健康情報拠点」と位置付け、市民がここに来れば関連知識をもった薬剤師から次のような情報を入手し、相談できるようにするというものです。

- ① 地域住民の健康支援・相談対応として、食生活、禁煙、心の健康、介護ケア、サプリメント、健康食品についての情報
- ② 一般用医薬品の適正使用に関する情報
- ③ 在宅医療に関する情報

そのため、各都道府県に協議会を設置し、医師・薬剤師・看護師・介護士等と連携を図り、地域の実情に沿ったセルフメディケーション推進事業や在宅医療の方策を検討するとしています。

「一般用医薬品新販売制度の適正な運用の確保事業」の要求額は、厚生労働科学研究費の5千万円を含め約2億円となっており、次の4事業が掲げられています。

- ① 一般用医薬品を対象とした新たな販売制度の普及と適正な運用を図るため、優良サイトの認定・認証の規格・基準を作成し、認証等を行うためのシステムを構築し、運用する。(約1千万円)
- ② 乱用等の恐れのある品目がネットで購入しやすくなる懸念があることから、多量・頻回購入等を防止する取り組みを検討し、データベースの構築と運用を図る。(約6千6百万円)
- ③ 偽造医薬品等を含む違法な広告・販売を行う国内外のインターネットサイトを発見・警告する取り組みを強化するとともに、インターネット接続事業者等に対する情報の削除要請の取り組みを強化する。(約7千7百万円)
- ④ 一般医薬品の販売における効率的で効果的な情報提供の在り方に関する調査研究等を行う。(厚生労働科学研究費:約5千万円)

厚生労働省は今後、年末の政府予算案の編成に向けて、財務省と折衝に入ることになります。政府予算によるこのような事業を活用し、全国展開を図り、全国の市民に対して、かかりつけ薬局としての機能を発揮していただきたいと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

国会レポート

「インドネシア、西アフリカ、台湾を訪問」

参議院議員
薬学博士 藤井もとゆき

7月の参議院議員選挙を受けて召集された第184回臨時国会において、新たに「原子力問題特別委員会」が設置され、初代の委員長に就任することとなりました。大変重たい役割をいただき、身の引き締まる思いです。

ところで、来年4月から消費税を予定通り8%に引き上げることが決定されました。これを受けて、来年度の診療報酬・調剤報酬改定、薬価改定において3%の増加分への対応を行うべく中医協で検討がなされることになります。また、日本薬剤師会から、保険調剤を課税対象として、税率をゼロ税率か軽減税率にとの要望を受け止めています。

さて、8月8日以降国会は閉会となっていますが、8月の下旬にインドネシア、9月の中旬に西アフリカ、10月初旬に台湾と、相次ぐ海外での仕事をこなすことになりました。

インドネシアには3日間の訪問でした。途上国の子どもたちの命を救うため、予防接種へのアクセスを拡大することを使命としているGAVIアライアンスという世界同盟からの要請を受けての訪問です。視察の目的は、インドネシアにおけるGAVIの活動を直に見ることと、同国が感染症対策の一環として、5種混合ワクチン（破傷風・百日咳・ジフテリア・インフルエンザ菌b型・B型肝炎）を導入することとなり、その記念式典に出席することでした。式典への出席の前に、ワクチン製造企業である「ビオファルマ社」を訪問し、日本の無償資金協力によるポリオ、麻しんワクチンの製造施設等を見学しました。式典は、西部ジャワ州知事、CAVI次長等の祝辞に続き、保健大臣より州知事へ5種混合ワクチンが贈呈されました。

西アフリカ訪問は10日間であり、技術協力、無償資金協力等、我が国のODA活動の状況を視察し、今後により効果的なODA活動につなげようということを目的とし、視察団の団長をつとめました。訪問したのは、ガーナとブルキナファソで、周辺国が社会的に不安定な状況にある中、両国は政治的・社会的にも安定を保っている国です。

ガーナに対しては、農業（稲作）、経済インフラ（電力、運輸交通）、教育、行財政運営機能の強化の4分野を重点として支援しています。約8箇所の支援事業の現場や青年海外協力隊の活動状況等を視察しました。また、ブルキナファソに対しては、農業、教育、西アフリカ経済通貨同盟域内の統合促進に資する支援を行っています。約5箇所の支援事業現場と青年海外協力隊の活動状況等を視察しました。

台湾訪問は3日間で、台湾のFDA(TFDA)からのお誘いに応えるものでした。TFDA、厚生省、医師会、国立防衛医科大学の関係者との意見交換に加えて、台湾へ進出している日本企業の皆さんとの意見交換も行うことが出来ました。

最後に、10月2日の「藤井もとゆき君と語る会」には、多数の薬剤師会関係者の皆さんに参加していただき、楽しい会となりました。また、当日開催された日本薬剤師連盟の評議員会において、3年後の参議院選挙の組織内候補とすることを決定していただきました。改めましてお礼申し上げます。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

広島県知事選挙

平成25年11月10日執行予定の広島県知事選挙において、本連盟は現職の湯崎英彦氏（ゆざき ひでひこ）を推薦いたしましたことをご報告します。

日本薬剤師連盟 平成25年度「臨時評議員会」開催

日 時：平成25年10月2日（水）13:30～16:00
場 所：東京都（東京会館）

2016年参議院議員通常選挙、 藤井基之氏を組織内候補に決定!!

去る平成25年10月2日（水）、東京会館（東京）において、日本薬剤師連盟平成25年度臨時評議員会が開催された。

会議は、児玉会長の挨拶に続き、松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員の両薬剤師議員からの祝辞があり、引き続き今夏の参議院選挙の際に推薦候補者として支援を行った、衛藤晟一参議院議員と木村隆次氏より御礼の挨拶があった。

次に、小林議長（鳥取）、竹内副議長（北海道）が登壇し、会議成立の宣言がされた後、服部山形県薬剤師連盟会長・田代宮崎県薬剤師連盟会長が議事録署名人として指名された。

執行部より、組織強化委員会の報告がされた後、議題として提出された、報告第1号：平成24年度会務並びに事業報告、第2号：平成24年度収入支出決算報告、第3号：参議院議員通常選挙総括報告がそれぞれ担当役員より報告され、質疑応答の後、報告議題は賛成多数により承認・採択された。

次に、議案第1号：「会員区分及び負担金に関する規則」の一部改正の件、議案第2号：平成25年度収入支出補正予算の件、議案第3号：次期参議院議員通常選挙対応の件がそれぞれ提出され、質疑応答が行われ、執行部提出の通り可決された。

議案第3号について、今夏の参議院選挙の総括・反省を踏まえて約3年後のことではあるが、本日、現職の藤井基之氏を組織内候補として決定いただき選挙に臨むこととされたいと説明され、賛成多数で採決された。

最後に、小田幹事長より重要活動報告と今後の政治課題の件が報告され、評議員全員が薬剤師の抱える重要課題についての認識を共有した。

（日本薬剤師連盟HPより）

第二回(公財)広島がんセミナー

先端的がん薬物療法研究会



開催日時: 平成26年1月11日 土曜日 10:00~18:30

開催場所: グランドプリンスホテル広島

1.講演

「5-FU製剤の歴史」(10:10-10:40)

座長: 茶山 一彰(広島大学病院)

演者: 市川 度(防衛医科大学校病院)

2.シンポジウム

「5-FU製剤のエビデンス」

座長: 篠崎 勝則(県立広島病院)

1) 消化器がん(10:40-11:05)

演者: 篠崎 勝則(県立広島病院)

2) 膣がん(11:05-11:30)

演者: 福富 晃(静岡県立静岡がんセンター)

3) 乳がん(11:30-11:55)

演者: 土井 美帆子(県立広島病院)

4) 頭頸部がん(11:55-12:20)

演者: 田原 信(国立がん研究センター東病院)

ランチョンセミナー(12:30-13:00)

座長: 大谷 彰一郎(広島市立広島市民病院)

演者: 松井 礼子(国立がん研究センター東病院)

演題: 薬薬連携

申込方法: はがき・FAX・TEL・E-mail・HP

※事前申込要

参加費: 5,000円

締切日: 平成25年12月10日迄

申込先: 公益財団法人広島がんセミナー

「第二回先端的がん薬物療法研究会」事務局

〒730-0052 広島市中区千田町3-8-6

広島市医師会臨床検査センター内

Tel: 082-247-1716 Fax: 082-247-0864

E-mail: kenkyukai@h-gan.com

HP: <http://www.convention.co.jp/hcs/>

3.講演

「5-FUの薬物動態」(13:20-13:50)

座長: 遠藤 一司(明治薬科大学)

演者: 萩原 朋果(国立がん研究センター東病院)

4.シンポジウム

「5-FUの毒性・毒性管理」

A) 5-FU

座長: 市川 度(防衛医科大学校病院)

① 毒性(13:50-14:15)

演者: 板垣 麻衣(国立がん研究センター東病院)

② 病棟での管理(14:15-14:50)

演者: 組橋 由記(徳島赤十字病院)

③ 減量・使い分け・注意点(14:50-15:15)

演者: 北口 聰一(広島市立安佐市民病院)

B) TS-1

座長: 北口 聰一(広島市立安佐市民病院)

① 毒性(15:35-16:00)

演者: 牧野 好倫(国立がん研究センター中央病院)

② 外来通院での管理(16:00-16:25)

演者: 飯原 大穂(岐阜大学医学部附属病院)

③ 減量・注意点(16:25-16:50)

演者: 田原 信(国立がん研究センター東病院)

C) ゼローダ

座長: 大谷 彰一郎(広島市立広島市民病院)

① 毒性(17:00-17:25)

演者: 池末 裕明(九州大学病院)

② 外来通院での管理(17:25-17:50)

演者: 宮本 康敬(浜松オンコロジーセンター)

③ 減量・注意点(17:50-18:15)

演者: 土井 美帆子(県立広島病院)

講習会認定単位

* 平成25年度日本医師会生涯教育講座認定(5単位)

* 日本薬剤師研修センター(4単位)

* 広島県病院薬剤師会認定研修(3.5単位)

* 日本病院薬剤師会・がん薬物療法認定薬剤師講習会受講証(2.75単位)

主催: 公益財団法人広島がんセミナー 共催: 広島県薬剤師会、広島県病院薬剤師会

後援: 広島県、広島市、広島県医師会、広島市医師会、広島県看護協会、広島県訪問看護ステーション協議会、中国新聞社



社団法人 広島県薬剤師会

〒730-8601 広島市中区富士見町11番42号

電話 (082) 246-4317 (代) FAX (082) 249-4589

ホームページ <http://www.hiroyaku.or.jp>

E-mail アドレス yakujimu@hiroyaku.or.jp



E-mail QR

定価
300円